

トリニトロン® カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FD Trinitron
WEGA



**KV-28DRX9/KV-32DRX9/
KV-36DRX9**

見る

テレビ/BS放送を見る	4
画質を選ぶ(お好み画質).....	6
映像に合ったリアル高画質で見る(DRC-MFモード切換)...	7
節電しながら見る(消費電力).....	8
ワイド画面を楽しむ.....	9
自動でワイド画面にする(オートワイド).....	9
手動でワイド画面に切り換える(ワイド切換).....	10
2画面で見る(2画面).....	11
画面サイズを変える(左拡大/右拡大).....	11
操作する画面を選ぶ(左操作/右操作).....	12
チャンネルを一覧表示する(インデックス).....	14
メモするために画面を静止させる(メモ).....	15
文字放送を見る	16
「カテゴリ目次」を使って見る(モジネット).....	16
好きな文字番組を登録して見る(登録番組).....	20
字幕放送を見る(字幕).....	22
テレビにつないだ機器の画像を見る	23

調整する/設定する

オートワイドの設定を変える	24
オートワイドの設定について	24
オートワイドを設定する/切る	26
画質を調整する	27
音質を調整する	29
音声を切り換える(二重音声).....	30
ハイビジョンの音声について	31
画面の上下位置/縦サイズを調整する	32
BS放送やハイビジョン放送を録画/予約録画する(BS固定).....	33
自動で電源を切る(オフタイマー).....	35
時刻を設定し表示する	35

テレビの接続と準備

付属品を確かめる	37
接続と準備の早わかり	38
手順1：テレビアンテナをつなぐ	40
手順2：BSアンテナをつなぐ	42
手順3：チャンネルを設定する	43
自動設定する	43
手動設定する	44
手順4：BS受信の設定をする	46
BSアンテナ電源を設定する	46
BSアンテナの向きを調整する	47
数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ(10キー選局).....	48
ゴーストの少ない画像にする(ゴースト・リダクション).....	49
画像の傾きを補正する	51

他機との接続

接続端子の名前とはたらき	52
ビデオをつなぐ	55
BSデコーダー(WOWOW)をつなぐ	59
デジタルCSチューナーをつなぐ	62
テレビゲームをつなぐ	63
DVDプレーヤーをつなぐ	64
ハイビジョン機器をつなぐ	65
オーディオ機器をつなぐ	67

その他

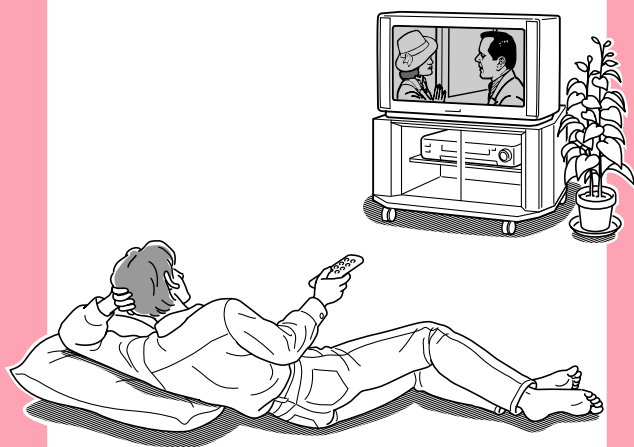
故障かな?と思ったら	68
自己診断表示—画面が消え、スタンバイ/オフタイマーランプが点滅したら ...	68
本機の症状と対処のしかた	69
ブラウン管表面のお手入れについて	73
保証書とアフターサービス	73
主な仕様	74
用語集	75
各部の名前/Identifying parts and controls	77
メニュー一覧	79
索引	表4

見る

ここでは、通常のテレビやBS放送をはじめ、ビデオやテレビゲームなどテレビにつないだ機器の映像を見るときに操作を説明しています。

画質を選んだり、節電しながら見たり、ワイド画面や2画面・多画面で見たりするなど、多彩な機能の操作も説明しています。

文字放送や字幕放送を見るときの操作も説明しています。



テレビ / BS放送 を見る



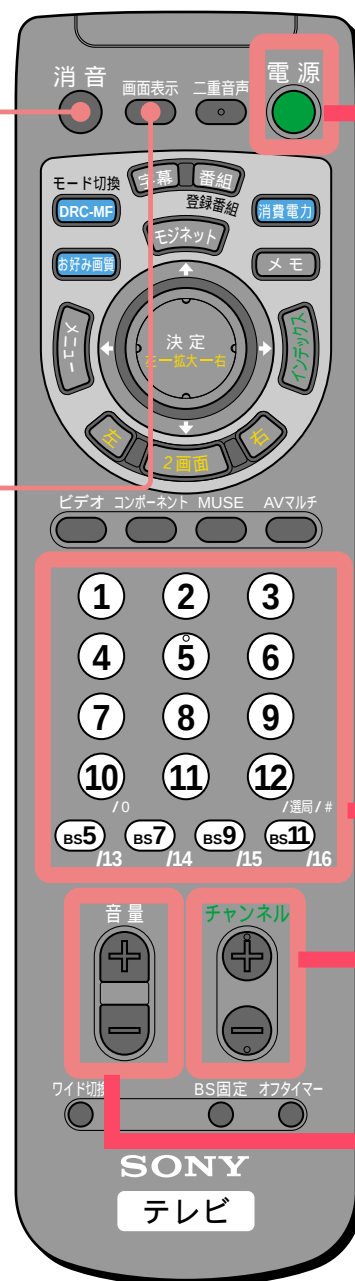
消音ボタン

一時的に音を消すときに押します。もう1度押すか、音量+ボタンを押すと音が出ます。

画面表示ボタン

チャンネル表示を出すときに押します。もう1度押すと表示は消えます。

チャンネル数字ボタンには、暗い場所でも操作しやすいように、ほのかに青白く光る蓄光材が入っています。そのため、太陽光や明るい照明の下などに約10分間以上置くと光が蓄えられ、暗くなると数時間光り続けます。暗い場所に放置したときは、光りません。



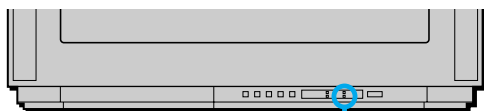
ちょっと一言

- スタンバイ/オフタイマーランプが点灯しているときは、リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネル+/- ボタン、インデックスボタンを押すと自動的にテレビの電源も入ります(チャンネルポン機能/インデックスポン機能)。

- 省電力のため、放送が終了して(または放送のないチャンネルにしたまま)約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。

1

テレビの電源を入れる。



スタンバイ/オフタイマー

スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは
リモコンの電源スイッチを押す。

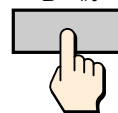
電源



スタンバイ/オフタイマー

スタンバイ/オフタイマーランプが消えているときは
テレビ本体の電源スイッチを押す。

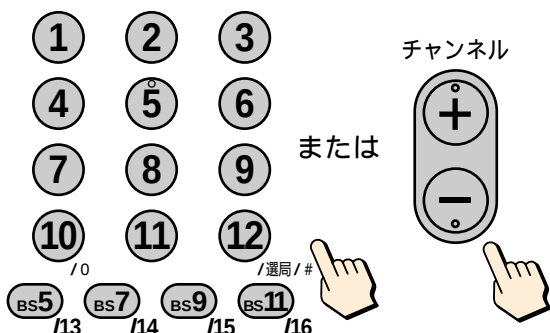
電源



2

チャンネル数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

チャンネル+/- ボタンでもチャンネルを選べます。



BS放送は以下のチャンネルになります。

見たい放送	押すボタン
WOWOW(BS5) ^{*1}	BS5 /13
NHK衛星第一(BS7)	BS7 /14
ハイビジョン放送(BS9) ^{*2}	BS9 /15
NHK衛星第二(BS11)	BS11 /16

^{*1} BSデコーダー(WOWOW)の電源を入れてください。なお、WOWOWは、別途WOWOWと受信契約し、専用のBSデコーダー(WOWOW)が必要です。

^{*2} 本機内蔵のMUSE-NTSCコンバーターを通して通常のテレビ放送(NTSC)と同じ画質で、見ることができます。1999年6月現在、BS9チャンネルで実用化試験局によるハイビジョン放送が行われています。

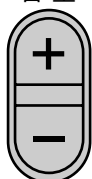
3

音量 +/- ボタンで音量を調節する。

ちょっと一言

音量表示の横にある数値も調節の目安になります。

音量



画質を選ぶ

(お好み画質)

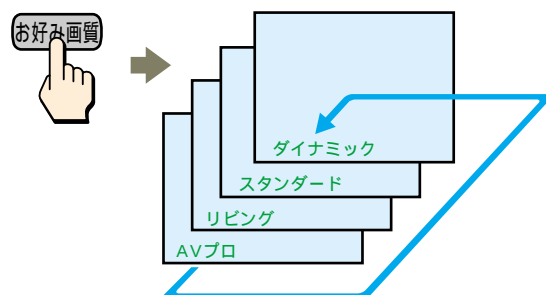
お好み画質ボタンを押すだけで、部屋の明るさや映像の内容に合わせた画質設定を選べます。また、「リビング」や「AVプロ」を選ぶと、画質をより細かく調整できます(㊦27ページ)。ご家庭で通常ご覧になるときは、「リビング」を選ぶことをおすすめします。

お好み画質
ボタン



お好み画質ボタンをくり返し押す。

1回押すと、現在の画質設定が表示されます。その後、押すたびに、次のように変わります。



ダイナミック

映像の輪郭とコントラストを最大限に上げたメリハリの非常に強い画質になります。

スタンダード

明るめの部屋に合わせたコントラスト感のある画質になります。

リビング

明るさや色あい、色の濃さなど基本的な調整ができます(㊦27ページ)。「標準」では、標準的な部屋の明るさに合わせた適度なコントラストのある画質になります。

AVプロ

色温度や黒補正など、よりきめ細かな調整ができます(㊦27ページ)。「標準」では、コントラストと輪郭強調を抑えて、オリジナルにできるかぎり忠実な、DRC(㊦7ページ)の性能をより引き出した画質になります。

映像に合ったリアル高画質で見る (DRC-MFモード切換)

本機搭載の高画質回路「DRC-MF」(デジタル・リアリティー・クリエーション:マルチファンクション)で、大画面で気になる画像の粗さをなくし、きめ細かくて質感のあるリアルな画像を楽しめます。

通常ご覧になるときは、お買い上げ時の設定であるDRC4倍密(標準)モードのまま、お楽しみください。よりきめ細かく自然な映像をお楽しみいただけます。静止画の文字などのチラツキが気になるときは、DRCプログレッシブモードに切り換えてください。

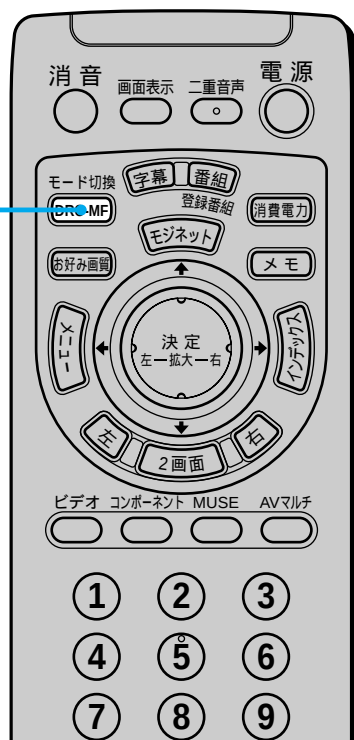
DRC4倍密(標準)モード

通常のNTSC映像を4倍の情報量で映し出し、きめ細かく自然な映像にします。

DRCプログレッシブモード

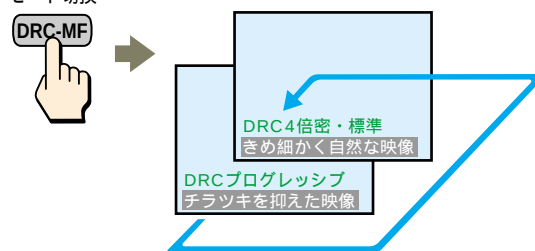
順次走査(プログレッシブ)を行い、チラツキを抑えた映像にします。

DRC-MF
モード切換
ボタン



DRC-MFモード切換ボタンをくり返し押す。

モード切換



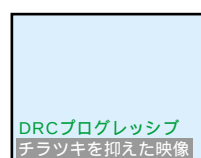
この画像のときは

この画面表示を選ぶ

テレビやBS放送、ビデオなどの一般的な映像を見るとき



静止画の文字やグラフィックス、細かい横線などが多い映像で、部分的な映像の揺れやチラツキが気になるとき



ちょっと一言

メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「」(画質/音質)から、「DRC-MF」を選び、「DRC4倍密・標準」か「DRCプログレッシブ」を選んでください。

ご注意

以下のときは、DRC-MFモード切換ボタンは動きません。

- 2画面
- インデックス画面
- メモ画面
- モジネット画面
- コンポーネント1~3入力端子につないだ機器から525p(525プログレッシブ)や1125i(1125インターレース)の信号を受信しているとき
- AVマルチ入力端子につないだ機器の映像*

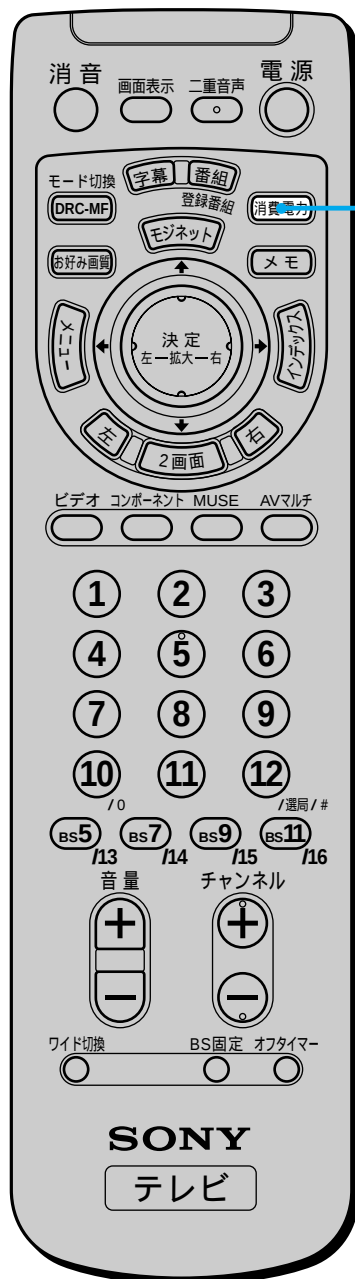
* 働く映像もあります(㊞63ページ)。

映像がざらついて見えるときは

受信信号の状態が良くないときに、ざらついて見ることがあります。お好み画質ボタンを押して「リビング」または「AVプロ」を選んでから、画質調整のメニュー画面で「シャープネス」を弱めてください(㊞27ページ)。

節電しながら見る (消費電力)

画面の明るさを下げて、節電しながら見るができます。



消費電力
ボタン

消費電力ボタンを押す。
節電中になります。



節電をやめるには

もう1度、消費電力ボタンを押す。
「消費電力:標準」と表示されます。

ちょっと一言

- 「消費電力:減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも「消費電力:減」のままになります。
- メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「」（各種切替）から、「消費電力」を選び、「標準」か「減」を選んでください。
- お好み画質で「リビング」または「AVプロ」を選んでいるときは、「消費電力:減」でも、画質を調整できます（ 27ページ）。ただし、「ピクチャー」や「明るさ」を上げると節電にならなくなる場合があるため、おすすめしません。

ワイド画面を楽しむ

自動でワイド画面にする (オートワイド)

通常のテレビ放送も、ワイドクリアビジョン放送や映画など横長サイズの映像も、下のイラストのように、本機が最適な画面モードを選び、横縦比16:9のワイド画面いっぱいに自動的に拡大します。これをオートワイド機能と言います。下の例では、お買い上げ時の設定*を示しています。

* お買い上げ時は、オートワイドの「2」で、「4:3映像」が「ワイドズーム」に設定されています(㊦24ページ)。

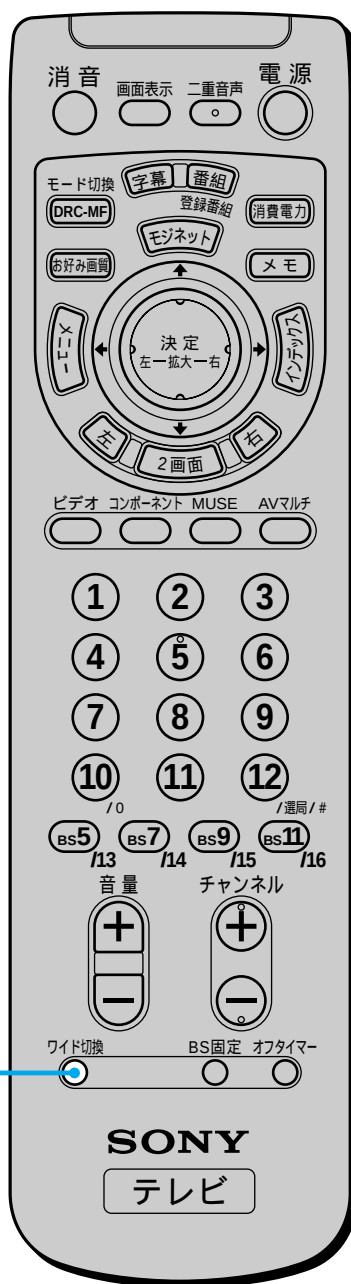
オリジナルの映像(映像の種類)	画面モード	オートワイドの映像
通常のテレビやBS放送 (画面横縦比4:3)	ワイドズームになる	違和感少なく画面いっぱいに拡大します。
- ワイドクリアビジョン放送 (横縦比16:9) - ビスタビジョンなど映像中に字幕が入った横長の映画 (横縦比1.85:1) - 横縦比情報の入ったDVDソフトの映像(ID-1方式)	ズームになる	画面の左右に合わせていっぱいに拡大します。(映像の種類によって、上下に黒い帯が残ることがあります。)
シネマビジョンなど映像の外に字幕のある横長の映画 (横縦比2.35:1)	字幕入になる	画面の左右に合わせていっぱいに拡大しながら、字幕部分だけを圧縮して画面に入れます。
横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像(ID-1方式やS1方式)	フルになる	天地はそのまま、左右を画面いっぱいに引き伸ばします。
オートワイドの「2」で、「4:3映像」を「ノーマル」(お買い上げ時は「ワイドズーム」)に設定したとき(㊦24～26ページ)	ノーマルになる	拡大せずに、横縦比4:3のままの映像になります。

ワイド画面を楽しむ (つづき)

手動でワイド画面に切り換える (ワイド切換)

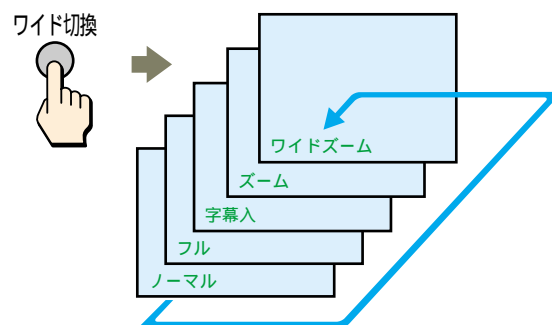
オートワイド機能とは別に好きな画面モードを手動でも選べます。また、電波の受信状態が悪いときや暗い映像のときは、オートワイドが正しく働かないことがあります。このときも、手動で画面モードを切り換えてください。

ワイド切換
ボタン



ワイド切換ボタンをくり返し押す。

1回押すと、映像のサイズや種類に応じて、本機が最適な画面モードをすばやく選んで表示します*。その後、押すたびに、次のように画面モードが変わります。画面モードの詳しい説明については、⑨9ページをご覧ください。



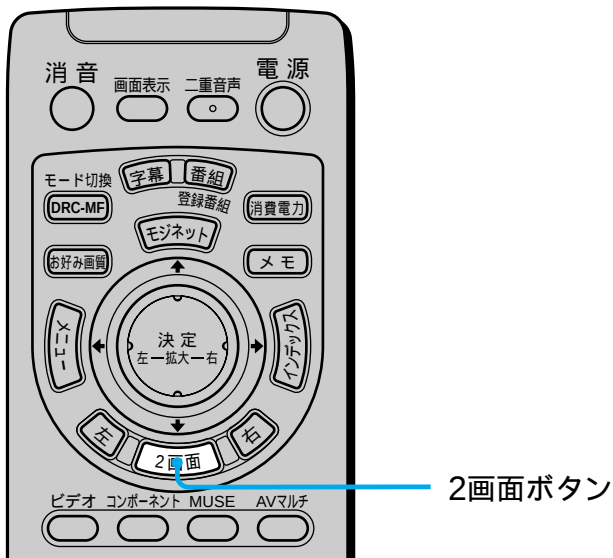
* オートワイド「2」で、「4:3映像」を「ノーマル」に設定しているとき(⑨26ページ)は、ワイド画面にならないで、画面横縦比4:3の映像のまま(「ノーマル」のまま)になります。

ちょっと一言

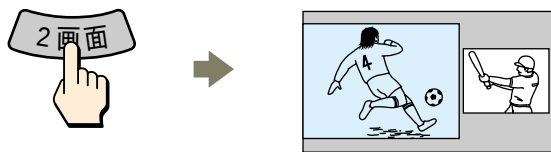
手動でワイド画面を楽しむときは、あらかじめ、オートワイドを切っておいてください(⑨26ページ)。

2画面で見る(2画面)

左右の画面サイズを変えて、2つのチャンネルを同時に見ることができます。また、通常のテレビやBS放送と、テレビにつないだビデオなどの画像も同時に見ることができます。



2画面ボタンを押す。
もう1度押すと、1画面に戻ります。

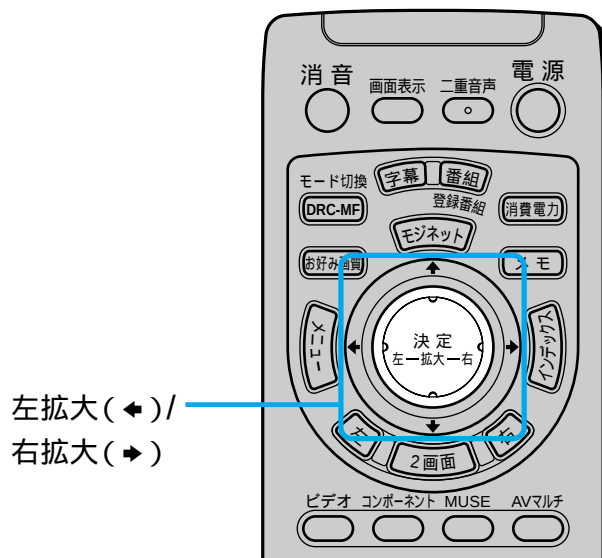


ご注意

- 次の画像は、2画面で同時に見るできません。
 - 同じテレビ(VHF/UHF)チャンネル
 - 同じまたは別々のBSチャンネル(BSチューナー内蔵ビデオでBS放送を受信し、その画像を本機のビデオ入力に選べば、表示できます。)
 - 同じ入力の画像(ビデオ1とビデオ1など)
 - ハイビジョン放送とMUSE入力の画像の組み合わせ
 - コンポーネント入力同士の画像の組み合わせ
 - コンポーネント入力とAVマルチ入力の画像の組み合わせ
- コンポーネント入力端子とAVマルチ入力端子からの映像は左画面にのみ表示されます。

画面サイズを変える(左拡大/右拡大)

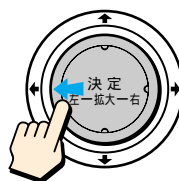
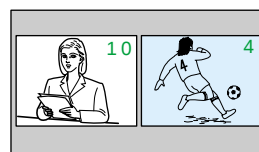
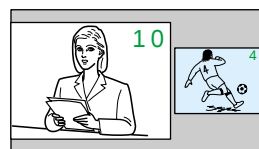
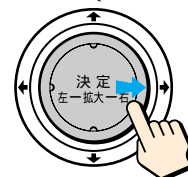
見る



左拡大(←)/
右拡大(→)

大きくする側に←/→を押し続け、希望のサイズになったら指を離す。

右画面拡大(左画面縮小)



左画面拡大(右画面縮小)

2画面で見る (つづき)

ご注意

- 2画面の映像は録画できません。BS/ビデオ出力端子からは、通常は左画面の映像/音声を出力します。BS固定時(㊦33ページ)は、固定したBSチャンネルの映像/音声を出力します。ただし、コンポーネント入力端子につないだ機器の映像は、常に出力しません。また、お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の映像は、出力しない設定になっています(㊦56ページ)。
- 操作画面(ヘッドホンモード「1」のとき)またはスピーカーから音声がでている画面(ヘッドホンモード「2」のとき)で放送が終了すると、両画面とも自動的に消音します。1画面に戻してから、終了していないチャンネルを選ぶと音が出ます。また、省電力のため、操作画面で放送が終了して(または放送のないチャンネルにしたまま)約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。
- 2画面のまま電源を切り、再び電源を入れると1画面に戻ります。
- 2画面では、オートワイド機能は働きません。ただし識別制御信号のある映像は判別してワイド映像のまま表示されます。

識別制御信号
のある映像



- 2画面は、左右それぞれ別々の回路で信号処理しています。そのため、映像や音質など左右画面の間に多少の差があります。
- 画面サイズを変更中、左右が同じ大きさになったときに、画像が一瞬またたくことがあります。

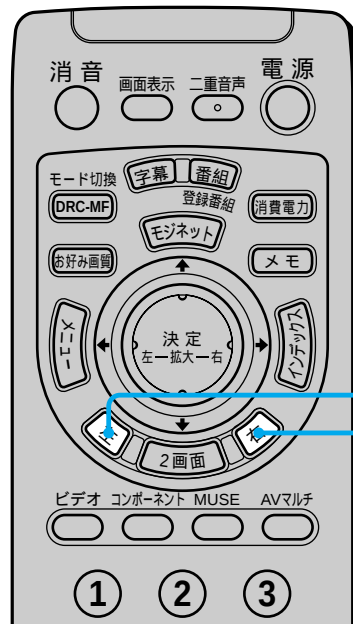
ちょっと一言

左右の画面サイズを変えたときは、その大きさを本体が記憶するため、再び2画面にしたときに、その大きさで表示します。

操作する画面を選ぶ(左操作/右操作)

チャンネルや入力を選んだり、音量を調節できる画面(操作画面)を選びます。

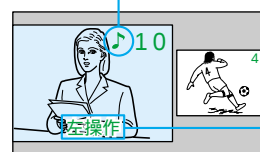
2画面を表示した直後は、左画面が操作画面になっています。また、操作画面の音声がスピーカーから出ます(ヘッドホンの音声は㊦13ページ)。



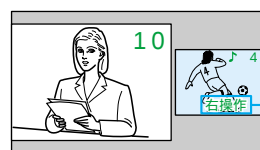
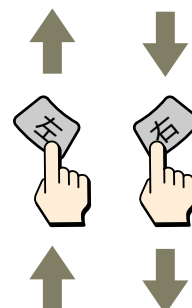
左・右ボタン

操作したい側のボタン(左・右ボタン)を押す。

スピーカーから音声が
出る画面に表示される



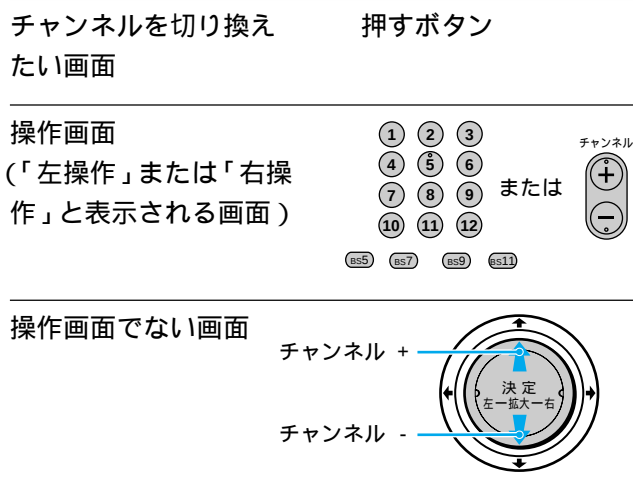
左画面を操作できる



右画面を操作できる

2画面でチャンネルを選ぶには

どちらの画面もそれぞれ別々にチャンネルを選べます。



ちょっと一言

メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「 (2画面)」から、「操作入替」を選び、「左操作」か「右操作」を選んでください。

ヘッドホンの音声を選ぶには

スピーカーから音声を出さずにヘッドホンで聞いたり、ヘッドホンとスピーカーで左右画面の音声を別々に出したりできます。ヘッドホンモードを設定してください。

ヘッドホンモード「1」にすると
操作画面の音声がヘッドホンから聞こえます。
スピーカーからは音声は出ません。
左・右ボタンを押すと、ヘッドホンの音声も切り換わります。

ヘッドホンモード「2」にすると
ヘッドホンとスピーカーから左右それぞれの画面の音声が別々に出ます。
設定後は、左・右ボタンを押して操作画面を切り換えても、ヘッドホンの音声は切り換わりません。

- 1 ヘッドホンモードを「2」に設定するとき
は、左・右ボタンを押して、スピーカーで音声を聞く画面を選ぶ。
(「1」に設定するときには、この操作は不要です。)
- 2 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 3 (2画面) を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 4 で「ヘッドホンモード」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 5 で「1」または「2」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
「2」を選んだときは、ヘッドホンからはスピーカーとは逆の画面の音声が出ます。
- 6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

ヘッドホン을 抜くと、「ヘッドホンモード」の設定によって、次の音声がスピーカーから出ます。

- 「1」のとき:ヘッドホンで聞いていた音声
- 「2」のとき:そのままのスピーカーの音声

チャンネルを一覧表示する(インデックス)

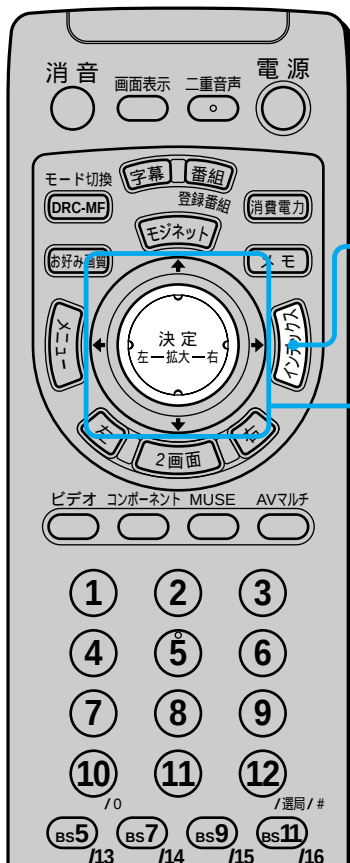
見ているチャンネルを高画質で大きく表示したまま、あらかじめ受信設定したすべてのチャンネルが下から上へ(または上から下へ)順々にゆっくり動いて表示されます(スクロール表示)。スクロールしている小さい画面から、見たいチャンネルを選べます。番組内容のチェックやチャンネル選びが、よりスムーズに楽しくできます。

ご注意

インデックスボタンを押す前に、チャンネルを設定しておいてください(④43ページ)。受信設定されたチャンネルのみがインデックス画面に出るためです。

ちょっと一言

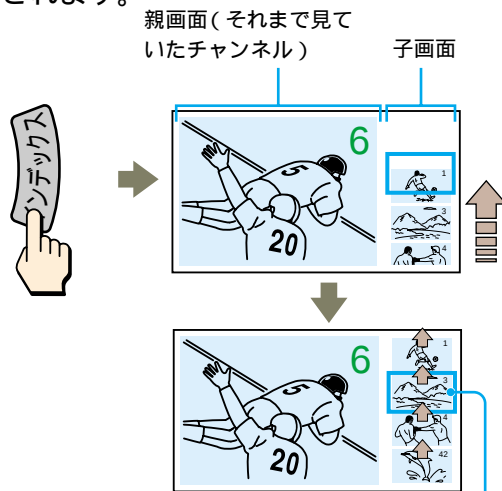
スタンバイ/オフタイマーランプ点灯中にインデックスボタンを押すと、電源が入り、インデックス画面が表示されます(インデックスポン機能)。見たい番組が決まっていなとき便利です。



1

インデックスボタンを押す。

見ていたチャンネルが左側に表示され、右側に受信設定されているチャンネルが自動的に下から上にスクロールして表示されます。



子画面ウィンドウ(水色)
ここに入ると、いったん動画になり、その後、再び静止画になってスクロールします。

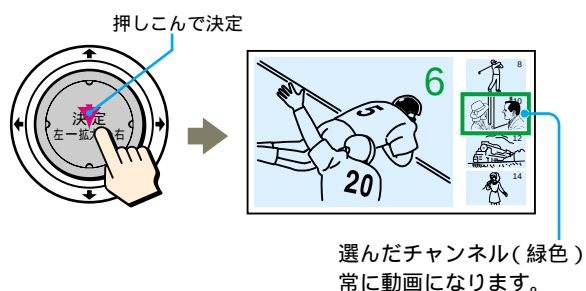
スクロールの向きを上から下に変えるには
▼を押します。

すばやくスクロールするには
▲/▼を押したままにします。

2

見たいチャンネルが子画面ウィンドウに入ったら、真ん中を押しこんで決定する。

子画面ウィンドウの枠が水色から緑色に変わり、スクロールが止まります。



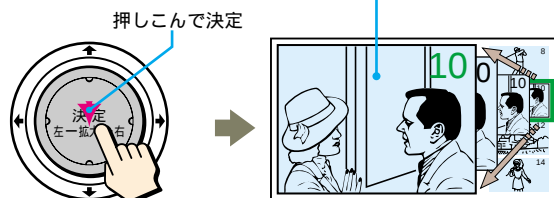
再びスクロールしたいときは、▲/▼を押します。

3

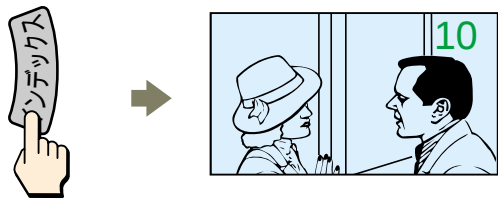
真ん中を押しこんで決定する。

選んだチャンネルがズームアップして、親画面になります。

音声も切り換わります。選んだチャンネルが親画面になる



4 インデックスボタンを押す。 1画面になります。



途中でインデックス画面を消すときは
インデックスボタンを押すと、そのとき親画面
で見ていたチャンネルの1画面になります。

ご注意

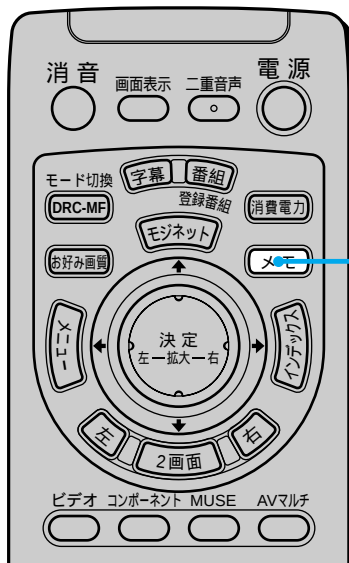
- 子画面ウィンドウの枠の色(水色・緑色)は、「色あい」や「ピクチャー」を調節すると、色が変わって見えます。
- モジネット画面(㊟16ページ)を見ているときは、インデックス画面を表示できません。
- インデックス画面は録画できません。BS/ビデオ出力端子からは親画面の映像/音声のみ出力されます。
- インデックス画面表示中に、チャンネルを選んだり、入力を切り換えたりすると、親画面がそのチャンネルまたは入力になります。
- 子画面ウィンドウが緑色のときは、子画面ウィンドウに入っているチャンネル以外は、更新されません。
- 2画面のときにインデックスボタンを押すと、操作画面が親画面になります。ただし、「ヘッドホンモード」が「2」で(㊟13ページ)ヘッドホンをつないでいると、スピーカーから音声がでている画面が親画面になります。また、途中でインデックスボタンを押すと、2画面に再び戻ります。
- 親画面で放送が終了すると、省電力のため、約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。

BSチャンネルについてのご注意

- BS固定時(㊟33ページ)は固定されたBSチャンネルのみインデックス画面に表示されます。BS固定しておかないと、BS/ビデオ出力端子からの信号を録画中に、インデックス画面の操作をすると、出力される信号が切り換わることがあります。
- 親画面にBSチャンネルが映っているときは、BSチャンネルはそのチャンネルのみが、子画面にスクロール表示されます。
- 子画面ウィンドウが緑色で子画面ウィンドウにBSチャンネルが入っているときは、チャンネル+/-ボタンやチャンネル数字ボタンで他のBSチャンネルを選ぼうとしても、親画面は選ぼうとしたBSチャンネルには切り換わりません。
- 子画面ウィンドウが水色で子画面にBSチャンネルが映っているときに、他のBSチャンネルを選んで親画面にすると、子画面に残ったBSチャンネルは子画面ウィンドウに入っても、静止画のままになります。
- WOWOWはスクランブルがかかったまま表示されることがあります。

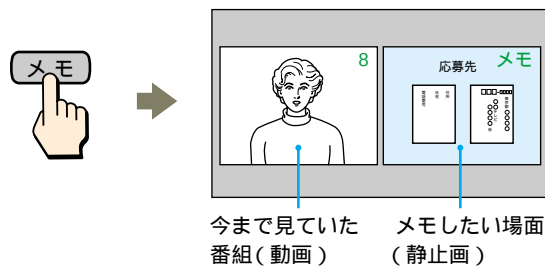
メモするために 画面を静止させる (メモ)

視聴者プレゼントの応募先や料理の材料など、メモしたい場面を静止画で確認できます。同時に今まで見ていた番組もお楽しみいただけます。



メモしたい場面で、メモボタンを押す。

2画面になり、メモしたい場面が右に出ます。もう1度押すと、1画面に戻ります。



ご注意

- 次のときは、メモはできません。
 - 2画面やインデックス画面を見ているとき
 - モジネット画面(㊟16ページ)を見ているとき
- メモ中に、チャンネルや入力を切り換えると、1画面に戻ります。
- 省電力のため、左の通常画面で放送が終了して(または放送のないチャンネルにしたまま)約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。

文字放送を見る

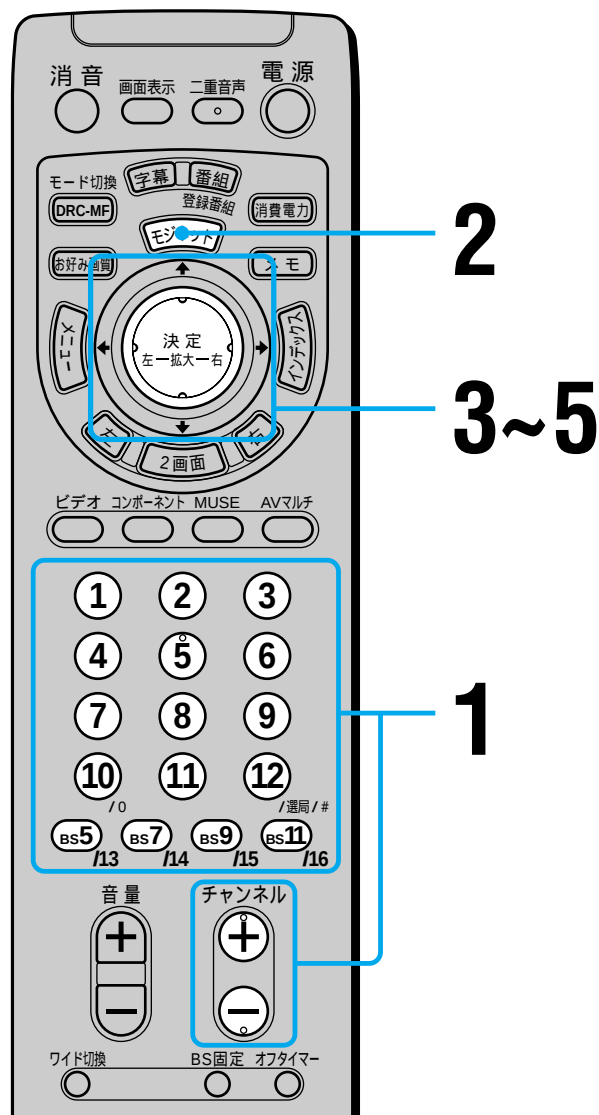
文字放送(モジネット)は、一般のテレビ放送の画面と画面のすき間を利用して送られる静止画像による放送で、加入手続きもなく、受信料なしで、ニュースや天気などの最新情報を各局の放送時間中いつでもお楽しみいただけます。各チャンネルごとに、別々の文字放送を行っています。

「カテゴリ目次」を使って見る方法と、あらかじめ登録した番組を見る方法(㊦20ページ)があります。

文字放送画面の見かたについては、㊦18ページをご覧ください。

「カテゴリ目次」を使って見る(モジネット)

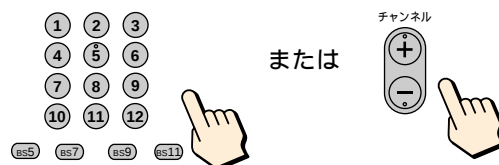
見たい文字放送が簡単に選べる「カテゴリ目次」を使って番組を選ぶ操作を説明します。「カテゴリ目次」とは、文字放送をニュース、スポーツといったカテゴリに分類して、各放送局が送信している目次画面です。



- 1 チャンネル数字ボタンで、見たい文字放送を行っているチャンネル*を選ぶ。

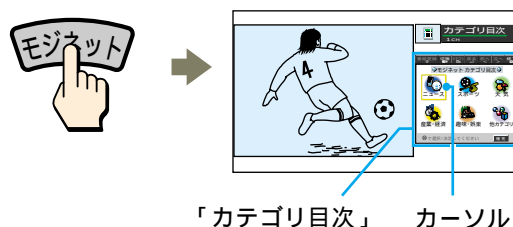
チャンネル+/- ボタンでも選べます。

* 地域ごとに異なります。



- 2 モジネットボタンを押す。
手順1で選んだチャンネルのテレビ番組が左側に、そのチャンネルの文字放送の「カテゴリ目次」が右側に表示されます*。

* 放送されていないカテゴリは薄く表示されます。



「カテゴリ目次」が表示されないときは放送局によっては「カテゴリ目次」を送信していないためです。このときは、各放送局独自の目次画面(000# 目次)が表示されます。その目次画面で $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ を使って選ぶか、「番組番号で番組を選ぶには」(④19ページ)をご覧ください。

「しばらくお待ちください」と表示されたときは次のときは、文字情報を新たに取得するため、「カテゴリ目次」を表示するのに、しばらく時間がかかります。

- 本体の電源スイッチで電源を入れた直後に、モジネットボタンを押したとき
- 「文字メモリー」を「切」に設定した状態で(④19ページ) リモコンの電源スイッチで電源を入れた直後に、モジネットボタンを押したとき
- 文字放送中にチャンネルを切り換えたとき

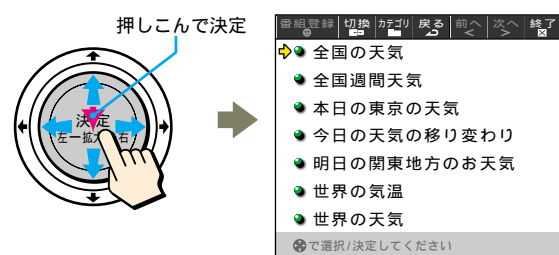
3 文字放送画面を左側に大きく映したいときは、 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で「切換()」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

手順2の画面位置のまま見たいときは、この手順をとばしてください。



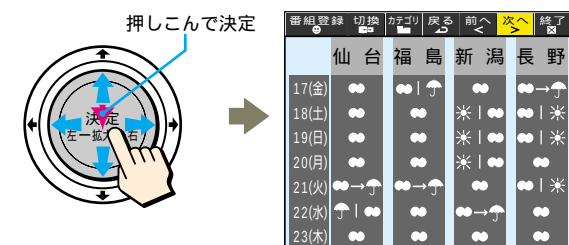
4 $\blacktriangleup/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ でカテゴリを選び、真ん中を押しこんで決定する。

選んだカテゴリの番組一覧が表示されます。



5 $\blacktriangleup/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で文字番組を選び、真ん中を押しこんで決定する。

選んだ文字番組が映ります。



文字放送をやめるには

モジネットボタンを押す。または、 $\blacktriangleup/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で文字放送画面上部(操作パネルの右端④18ページ)の「終了()」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

テレビ画面に戻ります。

文字放送中にチャンネル数字ボタンやチャンネル+/- ボタンを押すと

切り換えた先の番組とそのチャンネルの「カテゴリ目次」が表示されます*。

* そのチャンネルの文字情報を新たに取得するため、表示するまで、しばらく時間がかかります。また、登録番組(④20ページ)のときは、チャンネルを切り換えても、文字放送画面は切り換わりません。

ご注意

- 次の端子につないだ機器の映像を見ているときは、文字放送(モジネット)を受信できません。
 - BSデコーダー/ビデオ5入力端子
 - コンポーネント1~3入力端子
 - MUSE入力端子
 - AVマルチ入力端子
- ビデオの再生画像やCATV放送などをビデオ入力で見ているときにモジネットボタンを押すと、文字画面情報(④18ページ)の「チャンネル」部分には入力端子名(「ビデオ1」など)が灰色で表示されます。このとき、正しく文字情報を取り込めないことがあります。
- 文字放送画面を左側に大きく映しているときは、文字番組のページが変わるたびに、操作パネル(④18ページ)が上に動いて、一時的に文字放送局の名前などが表示されます。
- 文字放送がないときは、「現在、文字放送は送られていません」と表示されます。モジネットボタンを押すか、操作パネル(④18ページ)の「終了()」を選んで、テレビ画面に戻ってください。
- モジネットの映像は録画できません。

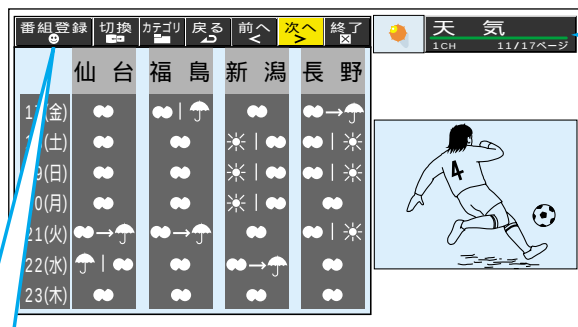
ちょっと一言

- 手順4で、 $\blacktriangleup/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ でカテゴリを選んでいるときに、テレビ画面右上の文字画面情報(④18ページ)に番組番号(例:121#や854#など)が表示されたときは、そのまま押しこんで決定すると、直接、その文字番組になります。
- 手順4で「他カテゴリ」を選んだときは、「ニュース」「スポーツ」「天気」「産業・経済」「趣味・娯楽」は選ばせません。これらを選ぶときは、操作パネル(④18ページ)の「カテゴリ()」か「戻る()」を選んで「カテゴリ目次」に戻ってください。
- 文字放送画面を左側に大きく表示したまま文字放送をやめたときは、再びモジネットボタンを押したときも「カテゴリ目次」は左に大きく表示されます。

次のページにつづく

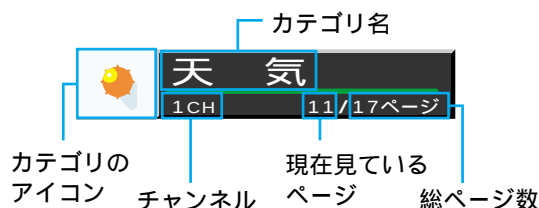
文字放送を見る (つづき)

文字放送画面の見かた



文字画面情報

選んだ文字番組の情報が、以下のように表示されます。

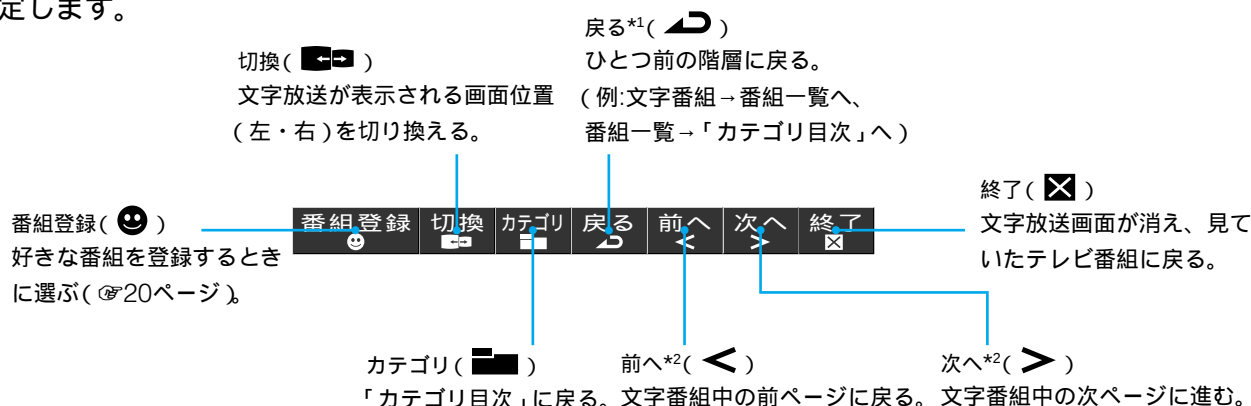


操作パネル

操作パネルが以下の項目で表示されます*。
表示されている画面によって、選べる項目は変わります。

◀/▶で各項目を選び、真ん中を押しこんで決定します。

* テレビ画面上に文字情報を重ねて表示する文字番組のときは、操作パネルは約3秒間表示されて消えますが、◀/▶/▶/▶を動かすと再び表示されます。



*1 次のときは、「戻る(↶)」を選ぶと「カテゴリ目次」の1枚目に戻ります。
- 「カテゴリ目次」の2枚目以降のとき
- カテゴリの番組一覧の2枚目以降のとき

*2 最新情報が送られてきた順にページが更新されるため、選んだときに、ページが飛ぶことがあります。

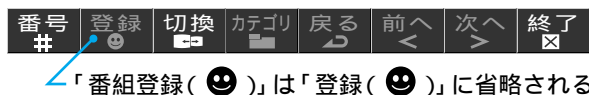
リンク番組について

見ている番組に関連した他の文字番組です。文字番組中に、番組番号が下線つきで表示されているときは、◀/▶/▶/▶で選んで真ん中を押しこむと、リンク番組を見ることができます(文字画面情報には「リンク番組」と表示されます)。
リンク番組で「戻る(↶)」は選べないため、「カテゴリー(☒)」を選んで「カテゴリ目次」に戻ってください。

番組番号で番組を選ぶには

各文字番組に割り振られている特定の番組番号で、見たい番組を選べます。

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 $\blacktriangle/\blacktriangledown$ で「 $\square$ 」(文字)を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 3 $\blacktriangle/\blacktriangledown$ で「番組番号入力」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 4 $\blacktriangle/\blacktriangledown$ で「入」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。
- 6 チャンネル数字ボタンで、見たい文字放送を行っているチャンネルを選ぶ。
- 7 モジネットボタンを押す。
操作パネルは次のように表示されます。



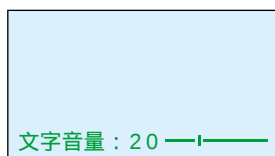
- 8 $\blacktriangle/\blacktriangledown$ で「番号(井)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 9 チャンネル数字ボタンで見たい文字番組の番号を入力し、 $\textcircled{12}$ (= #)ボタン*を押す。
例) 番組番号が106#のときは、 $\textcircled{1}$ 、 $\textcircled{10}$ (=0)、 $\textcircled{6}$ 、 $\textcircled{12}$ (= #)の順で押す。

* $\textcircled{12}$ (= #)ボタンの代りに、 $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangle/\blacktriangledown$ の真ん中を押しこんでも決定できます。

文字放送の音声を聞くには

カラオケの文字番組などでは音声を聞けます。

- 1 2画面で使う左・右ボタンを押して、文字放送画面に「♪」を表示させる。
- 2 音量+/- ボタンで文字番組の音量を調節する。



ご注意

- テレビ番組の音声を聞くとときは、左・右ボタンを押して、テレビ番組側に「♪」を表示させて、音量+/- ボタンで調節してください。また、チャンネルや入力を切り換えたときも、テレビ番組の音声になります。
このとき、文字音量は本体に記憶されないため、再び文字番組の音声に切り換えると、テレビ番組と同じ音量になるため、ご注意ください。
- 音声無しの文字番組は、「♪」が表示されていても音声は出ません。

文字放送の設定を変えるには

メニュー画面および設定メニュー画面で設定します。

メニュー画面で設定できる項目

項目	説明	選べる設定*1
番組番号入力	「入」にすると、文字番組の番組番号を数字ボタンで入力して選べる。	入/切
ページ送り*2	「自動」: 約20秒経つと自動的に次ページに切り換わる。 「手動」: 好きなときにページをめくる。	自動/手動
字幕放送	「自動」: 字幕放送(22ページ)が始まったときに自動的に字幕を表示させる。 「手動」: 字幕放送の字幕を手動で表示させる。	自動/手動
文字メモリ -	「入」: 電源スタンバイ時*3も、文字メモリーランプが緑に点灯し、自動的に最新の情報に更新する。 「切」: 電源スタンバイ時は、文字メモリーランプは消灯し、情報は更新しない。	入/切

*1 太文字がお買い上げ時の設定です。

*2 最新情報が送られてきた順にページが更新されるため、自動でページが切り換わったときに、ページが飛ぶことがあります。

*3 スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときです。

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 $\blacktriangle/\blacktriangledown$ で「 $\square$ 」(文字)を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 3 $\blacktriangle/\blacktriangledown$ で設定を変えたい項目を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 4 $\blacktriangle/\blacktriangledown$ で設定を変えて、真ん中を押しこんで決定する。
- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

文字放送を見る (つづき)

設定メニュー画面で設定できる項目

項目	説明	選べる設定 ^{*1}
文字番組登録初期化 (☺21ページ)	「実行」にすると、番組の登録をお買い上げ時の状態に戻す。	取消/ 実行
文字番組番号 ケタ数	番組番号を数字ボタンで入力して選ぶとき、入力するケタ数を選ぶ。	3ケタ/ 4ケタ ^{*2}

^{*1} 太文字がお買い上げ時の設定です。

^{*2} 将来、番組番号が3ケタを越えたときに選びます。このとき、先頭のケタは「マガジン」番号のケタとして表示されます。3ケタのとき「マガジン」は「0」になっています。

本体のボタンを使います。

- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択 $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ ボタンで「 (初期設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ ボタンで設定を変えたい項目を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ ボタンで設定を変えて、決定ボタンを押す。

補完番組を見るには

放送中のテレビ番組に関連した情報を伝える文字番組(補完番組)があるときは、その補完番組を見ることができます。

- 1 モジネットボタンを押す。
- 2 $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ でカテゴリ目次画面の右下にある「補完」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

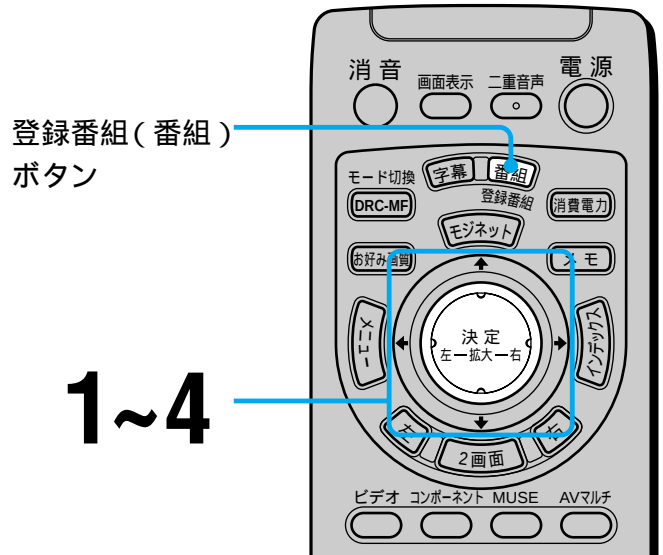
補完番組をやめるときは、モジネットボタンを押すか、操作パネルの「終了()」を選びます。

ちょっと一言

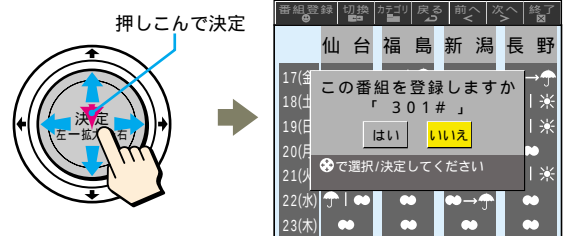
- 1つのテレビ番組につきいくつかの補完番組が送られてくるときは、 $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ で「補完番組(または補完)」を選び真ん中を押しこんで決定すると、次の補完番組を見ることができます。
- 補完番組によっては、元のテレビ画面の上に文字情報を重ねて表示することがあります。このとき、操作パネルは約3秒間表示されて消えますが、 $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ を動かすと再び表示されます。

好きな文字番組を登録して見る (登録番組)

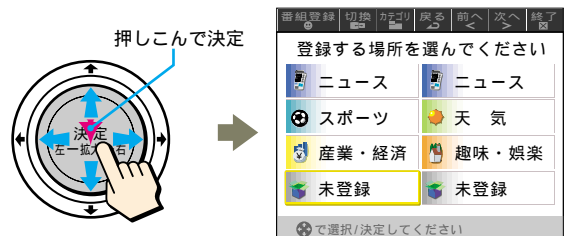
あらかじめ好きな文字番組を登録しておくと、見たいときにすばやく呼び出せます。最大8番組まで登録できます。



- 1 登録したい番組を見ているときに、 $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ で「番組登録()」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

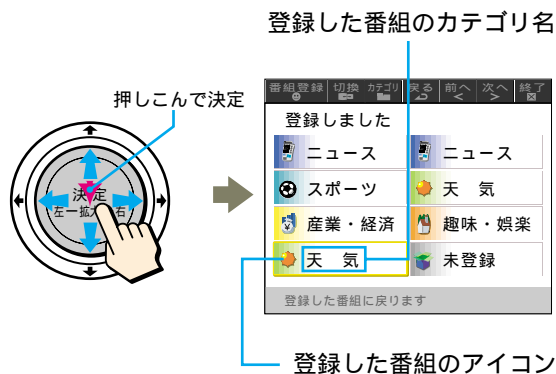


- 2 $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ で「はい」を選んで、真ん中を押しこんで決定する。



ここで「いいえ」を選ぶと、見ていた文字放送画面に戻ります。

- 3** **↑/↓/←/→**で登録する場所を選び、真ん中を押しこんで決定する。
初めは2カ所ある未登録から選んでいくことをおすすめします。
登録した場所には、「登録番組」のカテゴリ名とアイコンが表示され、しばらくすると元の番組に戻ります。



途中で登録をやめるときは
モジネットボタンを押す。
文字放送画面が消えて、テレビ画面に戻ります。

- 4** 他の文字番組を登録するとき
は、手順1～3をくり返す。

登録した文字番組を見るには

見ているチャンネルとは関係なく、登録番組を表示できます。また、登録番組を見ながら、テレビ番組を自由に切り換えられます。

- 1 登録番組(番組)ボタンを押す。
- 2 **↑/↓/←/→**で見たい番組を選び、真ん中を押しこんで決定する。



登録番組をやめるときは、登録番組(番組)ボタンを押すか、操作パネルの「終了(⌵)」を選びます。

ご注意

- 以下の番組は、登録できません。
 - カテゴリ目次画面
 - 番組一覧画面
 - BS放送の文字番組
 - ビデオテープに記録されている文字番組
 - ビデオ入力端子につないだ外部チューナーの文字番組
 - ビデオ入力端子につないだケーブルテレビチューナー(ホームターミナル)の文字番組
 - 登録した番組から選んだ「リンク番組」
 - 補完番組
 - 字幕放送(㊦22ページ)
- 登録番組を見ているときは
 - 操作パネルの「番号(井)」と「番組登録(☺)」、「カテゴリ(■)」は選べません。
 - テレビのチャンネルを切り換えても、文字放送画面は変わりません。

ちょっと一言

登録番組を見ているときに、「カテゴリ目次」を見たいときは、モジネットボタンを押してください。

お買い上げ時に登録されている番組

お買い上げ時には、以下の6つのNHK総合の文字番組を自動的に登録しています。お買い上げ時またはチャンネル設定(㊦43ページ)後、しばらくはNHK総合チャンネルの文字放送をご覧になることをおすすめします。2つの未登録枠に登録した後、好きな番組をあらたに登録すると、これらの番組に上書きされます。お買い上げ時の設定に戻したいときは、設定メニューの「㊦(初期設定)」で「文字番組登録初期化」を「実行」にします(㊦20ページ)。

カテゴリ	番組番号*	番組名
ニュース	002#	きょうのニュース
ニュース	003#	経済ニュース
スポーツ	007#	スポーツニュースハイライト
天気	301#	全国の天気
産業・経済	121#	東京外国為替市況
趣味・娯楽	803#	宝くじ情報

(1999年6月現在)

*すべてNHK総合チャンネルの文字番組です。

ご注意

モジネットの番組内容、番組番号は、予告なく変更になることがあります。

ちょっと一言

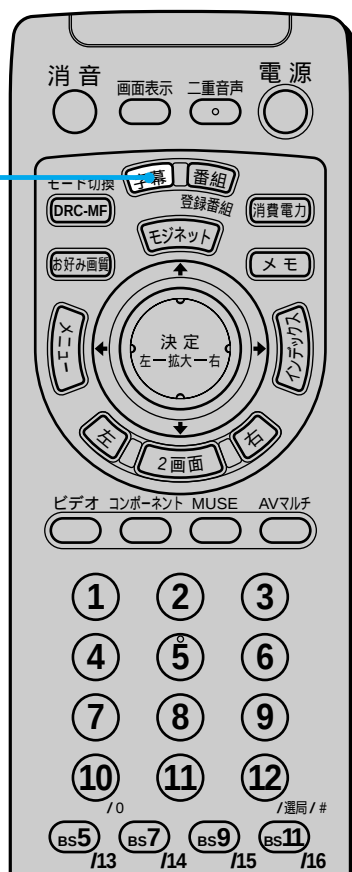
本機は、文字番組をすぐに呼び出せるように大容量メモリ(記憶素子)を内蔵しています(約2800ページ分)。ただし、記憶容量の空きが無くなったときは、自動的に古い情報を消去して、最新の情報を記憶します。

字幕放送を見る

(字幕)

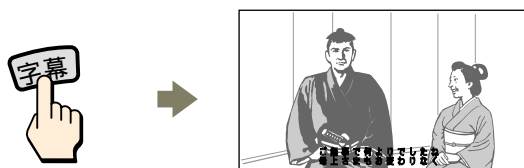
新聞などのテレビ欄で(字)などとマークが付いている文字多重放送(字幕放送)では、字幕を画面に表示できます。

字幕ボタン



字幕放送のある番組を見ているときに、字幕ボタンを押す。

字幕放送があるときは、字幕を表示します。



字幕放送が終了すると、字幕は消えます。

字幕放送で字幕を出したくないときは

字幕が表示されているときに、字幕ボタンを押す。

ご注意

次のものを見ているときは、字幕は表示されません。

- モジネット画面
- 2画面
- インデックス画面
- メモ画面

自動で字幕を出すには

お買い上げ時は、字幕放送の設定は「手動」になっています。

字幕放送が始まったときに、字幕ボタンを押さずに自動的に字幕を出したいときは、メニュー画面の「 (文字)」で「字幕放送」を「自動」にしてください(④19ページ)。

「自動」のときのご注意

- 字幕が出ているときに、字幕ボタンを押すと字幕は消えます。
- 字幕が出ていないときに、字幕ボタンを押すと「字幕放送:切」と表示され、字幕を自動表示しなくなります。再び、自動表示するには、字幕ボタンをもう1度押してください。(または、チャンネルや入力を切り換えたり、電源を切ってください。)
- 字幕放送中は、「文字メモリー」を「入」にしても(④19ページ)「文字メモリー」は働きません。電源スタンバイ時に働いて最新情報に更新します。

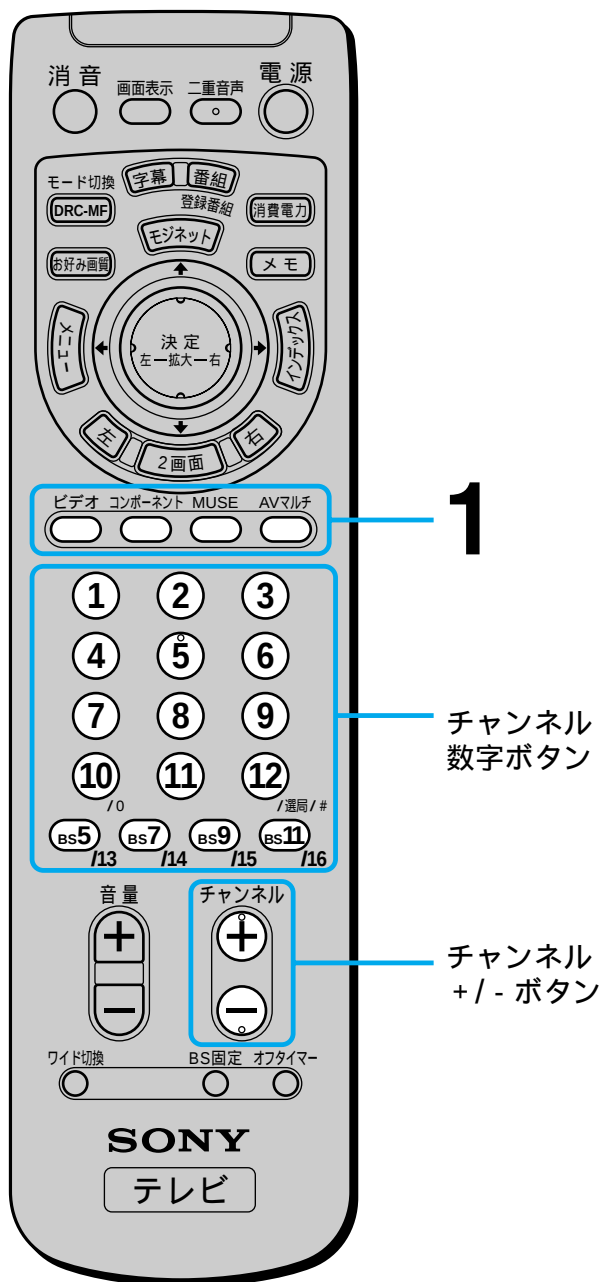
ちょっと一言

字幕放送中に、チャンネルや入力を切り換えたり、電源を切ると、メニュー画面の字幕放送の設定により、次のようになります。

- 「自動」のときは、そのまま「字幕放送:入」が維持されます。切り換えたチャンネルで字幕放送があるときは、自動的に字幕を表示します。
- 「手動」のときは、「字幕放送:切」となって、字幕は表示されなくなります。切り換えたチャンネルで字幕放送があるときは、もう1度字幕ボタンを押して、字幕を表示させてください。

テレビにつないだ機器の画像を見る

入力を切り換えて、テレビにつないだビデオ機器やテレビゲーム、デジタルCS放送などの画像を見ることができます。接続のしかたについては、55～67ページをご覧ください。



ちょっと一言

本体の入力切換ボタンをくり返し押して、入力を切り換えることもできます。

1

入力切換用のボタンを押して、見たい画面を選ぶ。

各ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだ機器の画像に切り換わります。

押すたびに	以下につないだ機器の画像になります。	画面表示も変わります。
ビデオ 	• ビデオ1入力端子	ビデオ1 ^{*2}
	• ビデオ2入力端子	ビデオ2 ^{*2}
	• ビデオ3入力端子	ビデオ3 ^{*2}
	• ビデオ4入力端子	ビデオ4 ^{*2}
	• BSデコーダー/ビデオ5入力端子 ^{*1}	ビデオ5
コンポーネント 	• コンポーネント1入力端子	Dコンポーネント1 ^{*3}
	• コンポーネント2入力端子	Dコンポーネント2 ^{*3}
	• コンポーネント3入力端子	コンポーネント3
MUSE 	• MUSE入力端子	MUSE
AVマルチ 	• AVマルチ入力端子	AVマルチ

^{*1} お買い上げ時は、ビデオ5入力は選べない設定になっています。BSデコーダー/ビデオ5入力端子にビデオ機器などをつなぎ、「デコーダー/ビデオ」の設定を「ビデオ5」に変えると選べます(55ページ)。

^{*2} S1映像端子につないでいるときは、「Sビデオ1」～「Sビデオ4」と表示されます。

^{*3} D3映像入力端子につないでいるため、先頭に「D」と付きます。

2

接続している機器を操作する。

詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻すときは

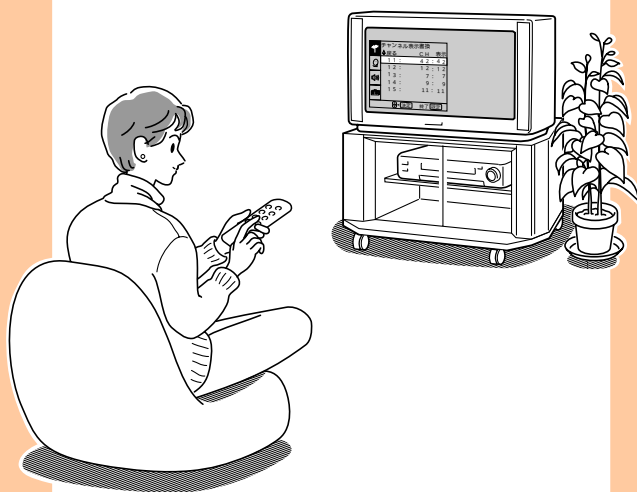
チャンネル数字ボタンまたはチャンネル+/-ボタンを押す。

調整する/ 設定する

ここでは、画質や音質、および画面の位置やサイズなどを調整する応用的な操作を説明しています。

BS放送やハイビジョン放送をビデオに録画したり、予約録画したりするときの操作も説明しています。

また、本機に内蔵されている時計を使って、自動的に電源を切ったり、時刻表示をしたりする操作も説明しています。



オートワイドの 設定を変える

オートワイドの設定について

オートワイドの設定には、「1」と「2」があります。

オートワイド「1」

テレビ放送では、ワイドクリアビジョン放送や一部の放送局の通常放送(4:3映像)には、映像を判別するための識別制御信号^{*1}が、映像信号に重なって送られています。また、ビデオカメラなど一部のビデオ機器でも同様の識別制御信号が出力されています。

このような識別制御信号を判断して、忠実に再現するのが、オートワイドの「1」です。ただし、識別制御信号がないときに、手動で選んだ画面モードによっては、画面の周囲が黒くなったり、映像の一部が欠けたりすることがあります。

オートワイド「2」

次ページのように、識別制御信号の有無に関係なく、最適な画面モードに切り換えるのが、オートワイドの「2」です。

お買い上げ時はオートワイドの「2」(「4:3映像」の設定も「ワイドズーム」)に設定されています。

^{*1} 識別制御信号とは、オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。

- ワイドクリアビジョン放送
- 横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像(ID-1方式やS1方式)
- 横縦比を4:3にする信号が入ったテレビ放送

映像の種類による「1」と「2」の画面モードの違い

映像の種類	画面モード	
	オートワイド「1」	オートワイド「2」
通常のテレビやBS放送	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2
横縦比を4:3(「ノーマル」)にする信号が入ったテレビ放送*3	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2
映像中に字幕が入った横長の映画	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「ズーム」
映像の外に字幕のある横長の映画	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「字幕入」
ワイドクリアビジョン放送*3	「ズーム」	
横縦比を16:9(「ズーム」または「フル」)にする信号が入ったビデオカメラやDVDプレーヤー - などの映像(ID-1方式やS1方式) *3	「ズーム」または「フル」	
横縦比を4:3(「ノーマル」)にする信号が入ったビデオカメラやDVDプレーヤーなどの映像(ID-1方式やS1方式) *3	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2

*2 メニューで設定します(㊦26ページ)。お買い上げ時は「ワイドズーム」になっています。

*3 識別制御信号(㊦24ページ)の入った映像です。

ちょっと一言

- ワイド切換ボタンで切り換えたあと(㊦10ページ)などは、表のようにならないことがあります。
- オートワイドが働いているときにワイド切換ボタンを1回押すと(㊦10ページ)、上記のオートワイド「1」、「2」にしたがって、オートワイドが働き続けます。その後、くり返し押すと、識別制御信号の有無により、次のようになります。
 - 識別制御信号のある映像を受信すると、信号に応じた画面モードに切り換わります。
 - 識別制御信号のない映像のときは、オートワイドを「2」に設定していても、オートワイドが働かなくなります。ただし、チャンネルや入力を変えたり電源を入/切したりすると、再び働きます。

オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わる時は

- 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになる(㊦9ページ)ためです。

- オートワイド「2」のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適なワイド画面を本機が判断している(㊦9ページ)ためです。

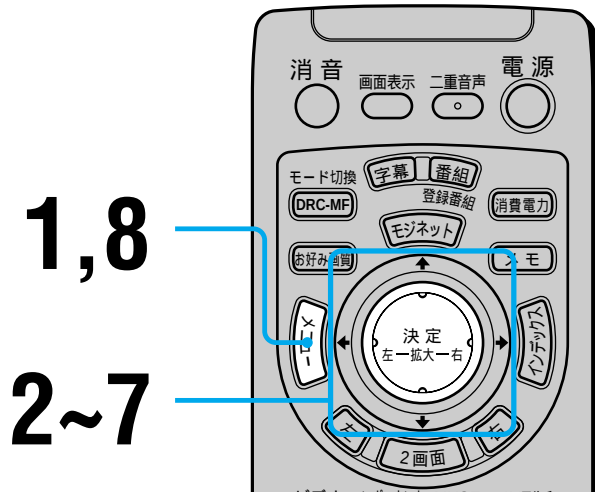
ワイド画面についてのご注意

- このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。
- オリジナル映像のサイズや種類によっては、画面の上下が欠けたり、字幕が入りきらないことがあります。このときは、上下位置や縦サイズを調整してください(㊦32ページ)。ただし、画面モードが「フル」と「ノーマル」のときは調整できません。

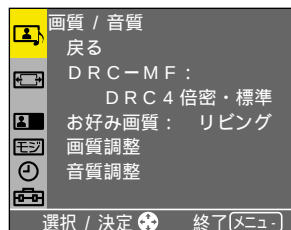
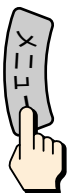
オートワイドの設定を変える (つづき)

オートワイドを設定する/切る

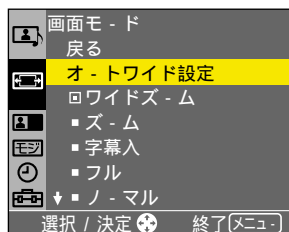
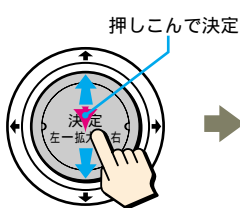
オートワイドについての詳しい説明は、 9ページをご覧ください。



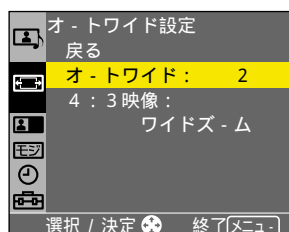
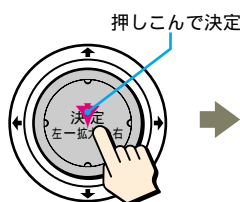
1 メニューボタンを押す。



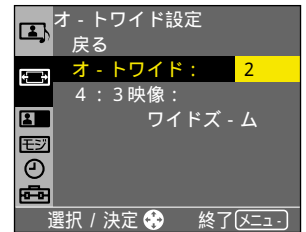
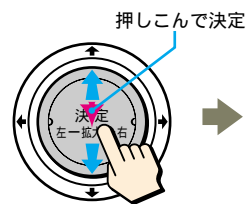
2  で「 (画面モード)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



3 「オートワイド設定」を選んでい
ることを確認して、真ん中を押
しこんで決定する。
選ばれていないときは、 で選び、真ん
中を押しこんで決定する。



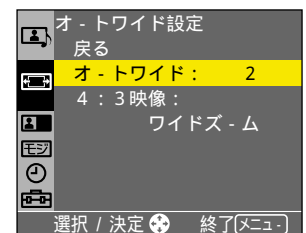
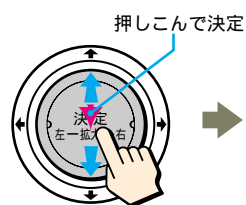
4  で「オートワイド」を選び、
真ん中を押しこんで決定する。



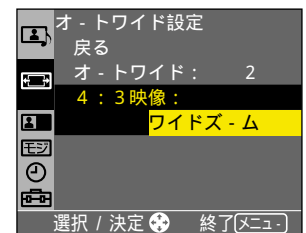
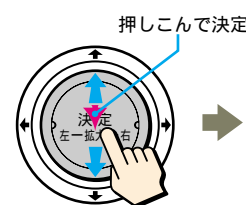
5 オートワイドを切るときは
 で「切」を選び、真ん中を押しこんで
決定する(手順8へ進んでください)。

オートワイドを「1」に設定するときは
 で「1」を選び、真ん中を押しこんで
決定する(手順8へ進んでください)。

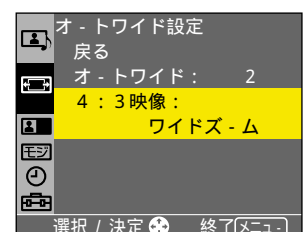
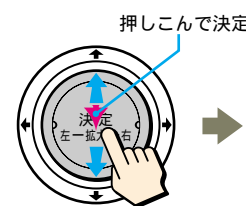
オートワイドを「2」に設定するときは
 で「2」を選び、真ん中を押しこんで
決定する。



6 オートワイド「2」のときは、
 で「4:3映像」を選び、真ん
中を押しこんで決定する。



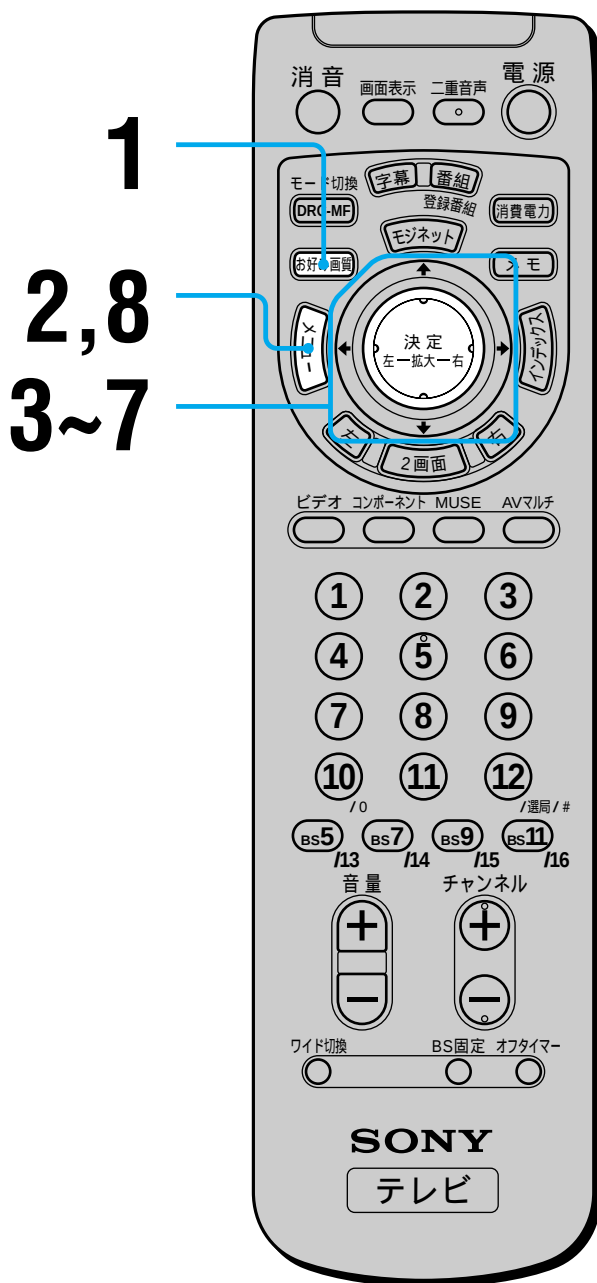
7  で「ノーマル」か「ワイド
ズーム」を選び、真ん中を押し
こんで決定する。



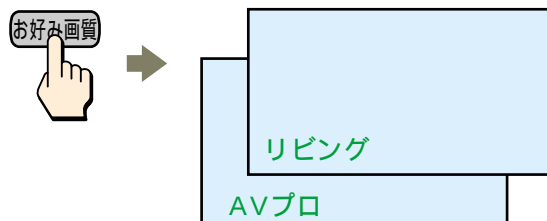
8 メニューボタンを押して、メ
ニューを消す。

画質を調整する

お好み画質ボタンで「リビング」や「AVプロ」を選ぶ(⑥6ページ)と、画質をより細かく調整できます。画質は、入力切替用のボタンで選べる各入力ごとに設定できます(ただし、通常のテレビ放送とBS放送、ハイビジョン放送は共通の設定になります)。



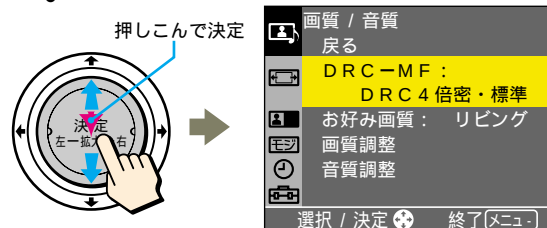
- 1 お好み画質ボタンをくり返し押して、「リビング」または「AVプロ」を選ぶ。



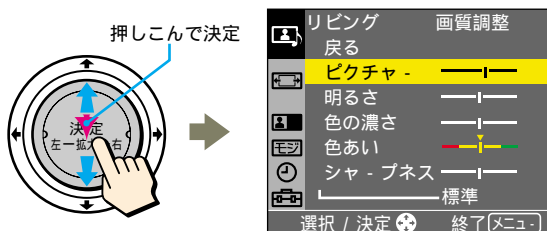
- 2 メニューボタンを押す。



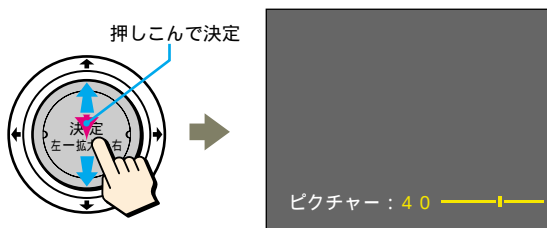
- 3 上下で「画質/音質」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



- 4 上下で「画質調整」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



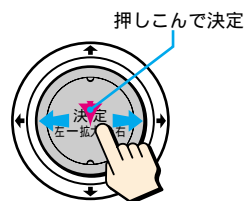
- 5 上下で調整したい項目を選び、真ん中を押しこんで決定する。



調整する / 設定する

画質を調整する(つづき)

6 ◀/▶で調整し、真ん中を押しこんで決定する。



「リビング」と「AVプロ」両方で調整できる項目



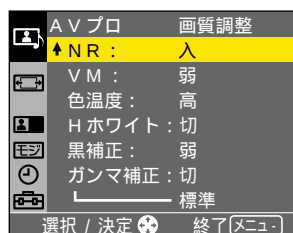
項目	◀を押すと	▶を押すと
ピクチャー	明暗の差が小さくなる	明暗の差が大きくなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	赤みがかかる	緑がかかる
シャープネス	映像の輪郭が柔らかくなる	映像の輪郭がくっきりする

ちょっと一言

調節バーの横に表示される数値も調節の目安になります。

「AVプロ」でのみ調整できる項目

▼を押し続けて「シャープネス」の下まで移動すると、以下の項目が調整できます。



項目	説明	選べる設定
ノイズリダクション NR*	通常は「入」にしておいてください。 「入」: 映像のざらつきや色ノイズを軽減する(ゴーストなど電波障害は軽減されない)。 「切」: テレビにつないだ機器の元の映像信号(処理していないオリジナル信号)の状態を確認するときなどに選ぶ。ただし、映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることもある。	入/切
ベロシティモジュレーション VM (速度変調)	映像の輪郭を強調する。	強/中/弱/切
色温度	「高」から「低」にしていくと赤みがかった暖かみのある色調になる。	高/中/低
ハイパー Hホワイト	白の鮮明さを強調する。	入/切
黒補正	黒を強調してコントラストを強くする。	強/中/弱/切
ガンマ補正	映像の明暗部分のバランスを調整する。	強/中/弱/切

* 通常のテレビ放送とBS放送、およびコンポーネント1~3入力端子、AVマルチ入力端子、MUSE入力端子につないだ機器の映像のときは、調整できません。
ビデオ1~4入力端子と、BSデコーダー/ビデオ5入力端子につないだ機器の映像のときは、調整できます。

7 他の項目を調整するときは、手順5と6をくり返す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

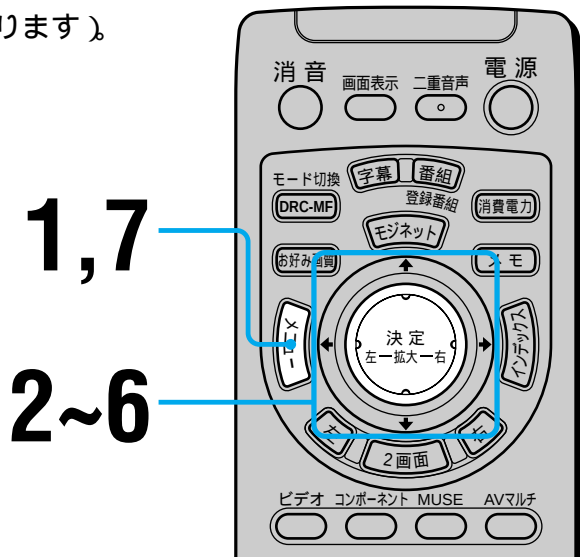
手順5で、「標準」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

ご注意

「ダイナミック」と「スタンダード」(⑥6ページ)では、画質調整できません。

音質を調整する

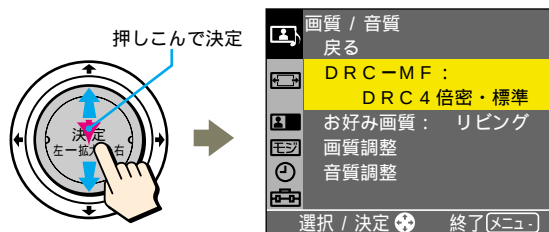
音質は、入力切替用のボタンで選べる各入力ごとに設定できます(ただし、通常のテレビ放送とBS放送、ハイビジョン放送は共通の設定になります)。



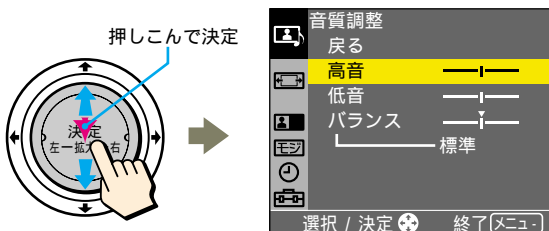
1 メニューボタンを押す。



2 ↑/↓で「画質/音質」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



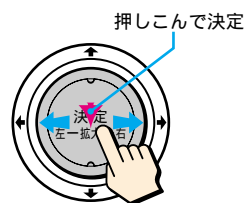
3 ↑/↓で「音質調整」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



4 ↑/↓で調整したい項目を選び、真ん中を押しこんで決定する。



5 ←/→で調整し、真ん中を押しこんで決定する。



項目	←を押すと	→を押すと
高音	弱くなる	強くなる
低音	弱くなる	強くなる
バランス	左スピーカーの音が強くなる	右スピーカーの音が強くなる

ちょっと一言

調節バーの横に表示される数値も調節の目安になります。

6 他の項目を調整するときは、手順4と5をくり返す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

手順4で、「標準」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

ご注意

ヘッドホンの音質調整はできません。ヘッドホンで聞いているときに音質調整をすると、ヘッドホンを抜いたときに出るスピーカーからの音が調整されます。

次のページにつづく

調整する / 設定する

音質を調整する (つづき)

それぞれの音を聞き取りやすくするには (音像定位エンハンサー機能)

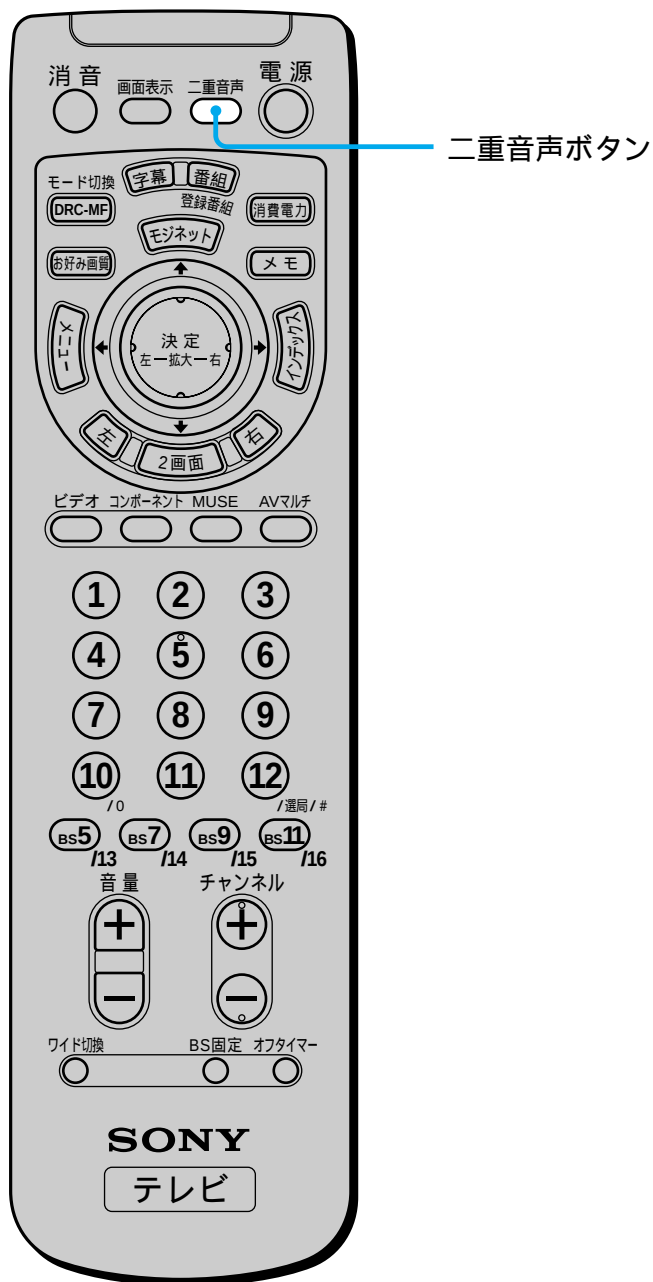
テレビの音源は左右2つずつのスピーカーですが、画像に映った人の声や楽器などの音のイメージ(音像)を、それぞれがそこにあるかのようにするのが「音像定位エンハンサー」です。

お買い上げ時は、「強」に設定されています。「弱」にして効果を少し弱めることもできますが、通常は「強」のままで使うことをおすすめします。

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2  (各種切替) を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 3  を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 4  または  を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

音声を切り換える (二重音声)

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。また、ハイビジョンの音声も切り換えられます。



二重音声ボタンをくり返し押す。

押すたびに下表のように切り換わります。



画面表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
主	主音声	主音声
副	副音声	副音声
主/副	主音声	副音声



ちょっと一言

2画面のときは、操作画面の音声切り換わります。

VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして、チャンネルごとに雑音を軽減できます。

本体のボタンを使います。

- 1 雑音の多いチャンネルを映した状態で、設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択 Δ / ∇ ボタンで「 $\langle \rangle$ 」(音声設定)を選び、決定ボタンを押す。
- 3 「オートステレオ」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。
- 4 選択 Δ / ∇ ボタンで「切」にして、決定ボタンを押す。
- 5 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ハイビジョンの音声について

本機はハイビジョンの多重音声モードとステレオ2系統で音声を切り換えられます。

ご注意

ハイビジョンの3chステレオモードと3-1方式4chステレオモードには対応していません。

多重音声モードのとき

二重音声ボタンをくり返し押す。

押すたびに、下表のように切り換わります。

画面表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
主	主音声	主音声
副	第1副音声	第1副音声
副2	第2副音声	第2副音声
副3	第3副音声	第3副音声
主/副	主音声	第1副音声
主/副2	主音声	第2副音声
主/副3	主音声	第3副音声



ステレオ2系統モードのとき

二重音声ボタンをくり返し押す。

押すたびに、「主ステレオ」または「副ステレオ」に切り換わります。

ちょっと一言

BS放送では放送内容により、以下の音質表示が画面右上に出ます。

- 「A」:Aモード (FM放送とほぼ同じ音質) を受信。
- 「B」:Bモード (Aモードより高音質でCDとほぼ同じ音質) を受信。
- 「独立」:BS5チャンネルのSt.GIGA (独立音声放送) を受信。
- 「ステレオ」:ステレオ放送を受信。(通常のテレビ放送でも表示)

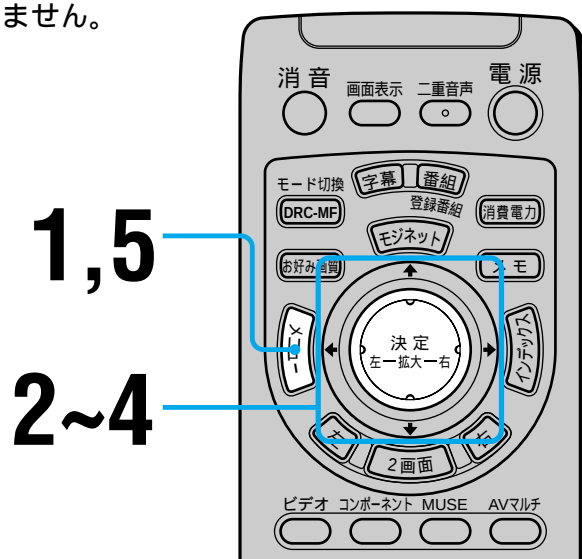
なお、AモードとBモードは、番組内容に応じて放送局側が使い分けて送信するものを、本機が自動的に判別して受信するため、二重音声ボタンなどで切り換えることはできません。

画面の上下位置/縦サイズを調整する

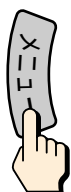
ワイド画像で次のようなときは、画面位置の上下や縦サイズを、画面モード(⑨9ページ)ごとに調整できます。

- 「ワイドズーム」や「ズーム」で画面を見やすい位置にしたいとき
- 「字幕入」で字幕が画面に入りきらないとき

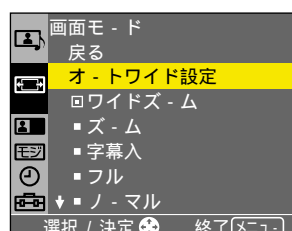
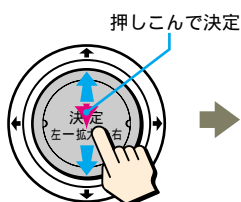
「フル」と「ノーマル」の画面モードでは調整できません。



1 調整したい画面を映した状態で、メニューボタンを押す。



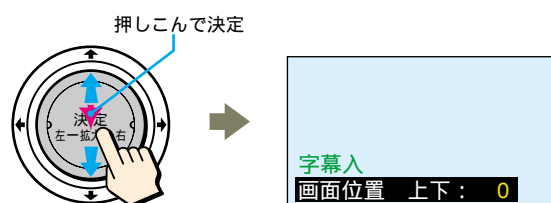
2 ▲/▼で「 (画面モード)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



3 ▲/▼で調整したい項目を選ぶ。

画面の上下位置を調整するときは ▲/▼で「画面位置 上下」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

「画面位置 上下」は、▼を押し続けると出てくる画面にあります。



サイズを調整するときは

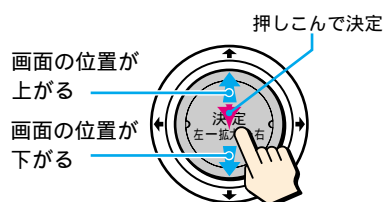
▲/▼で「縦サイズ」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

「縦サイズ」は、▼を押し続けると出てくる画面にあります。

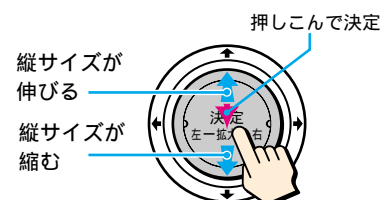


4 ▲/▼で調整して、真ん中を押しこんで決定する。

画面の上下位置を調整するときは



縦サイズを調整するときは

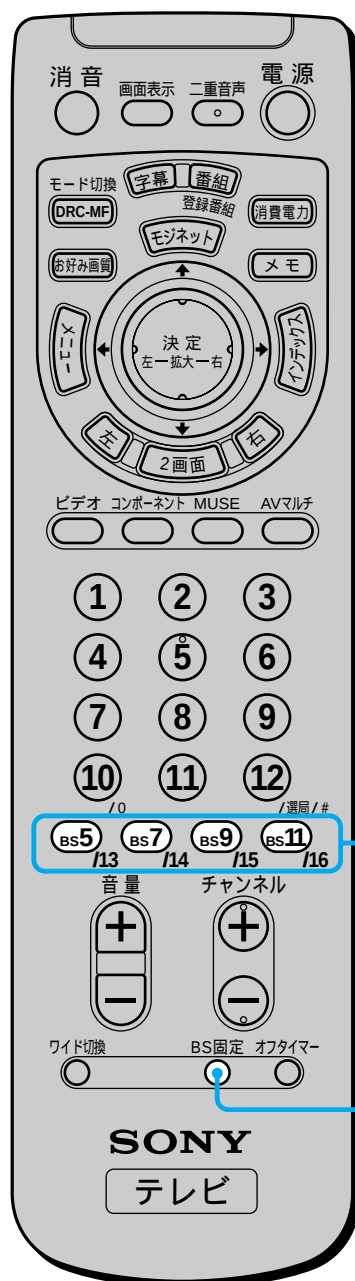


5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

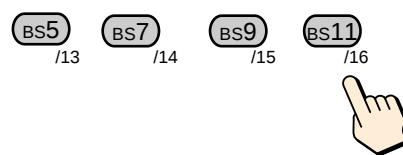
BS放送やハイビジョン放送を録画/予約録画する (BS固定)

本機内蔵のBSチューナーで、BS放送やハイビジョン放送*を本機につないでいるビデオに録画できます。また、録画するBSチャンネルを固定させて、裏録画や予約録画もできます。あらかじめ、「ビデオをつなぐ」(P55ページ)をしておいてください。

* ビデオには、本機内蔵のMUSE-NTSCコンバーターを通して現行の放送方式 (NTSC) と同じ画質で録画されます。



1 録画したいBSチャンネルを選ぶ。



2 BS固定ボタンを押す。
本機BSチューナー部のBSチャンネルとBS/ビデオ出力端子から出る信号が固定されて、他のBSチャンネルに切り換わらなくなります。



3 S映像入力端子付きビデオのときは、ビデオ側で映像入力端子の信号を優先する設定にする。
ハイビジョン放送 (BS9) を除くBS放送は、本機のBS/ビデオ出力の映像端子からのみ映像信号が出て、S映像端子から出ないためです。
そのため、ビデオ側でS映像入力端子の信号を優先する設定にしてあると、映像信号がビデオに入力されないため、録画できません。

ちょっと一言

ハイビジョン放送 (BS9) とMUSE入力の映像は、本機のBS/ビデオ出力の映像端子とS映像端子の両方から映像信号が出ます。そのため、ハイビジョン放送 (BS9) とMUSE入力を高画質で録画したいときは、ビデオ側でS映像入力端子の信号を優先する設定にしてください。

調整する / 設定する

次のページにつづく

BS放送やハイビジョン放送を録画/予約録画する(つづき)

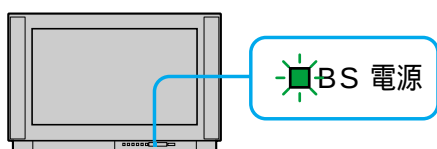
4 ビデオを「外部入力(ライン入力)」に切り換えて、録画を始める。

詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

予約録画するときは

ビデオで「外部入力(ライン入力)」を録画予約し、本機のリモコンでテレビの電源を切る。

テレビの電源はスタンバイ状態になりますが、BSチューナー部の電源は48時間電源が入ったままになります(BS電源ランプが点灯)。



見ながら録画するときは

BS固定したBSチャンネルで、そのままお楽しみください。他のBSチャンネルには、切り換わりません。

裏番組として録画するときは

BSを録画しながら、テレビ放送(BS放送は除く)やビデオを見ることができます。見たいチャンネルやビデオ入力などを選んでください。

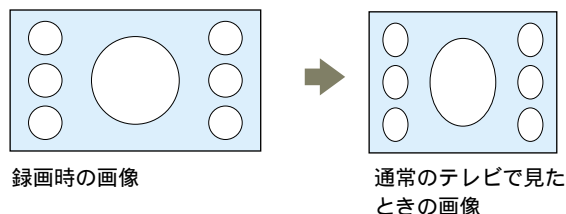
録画が終わったら/BS固定をやめるには

BS固定したチャンネルを選んでから、BS固定ボタンをもう1度押す。

BS固定が解除され、他のBSチャンネルを選べます。

ご注意

- テレビ本体の電源スイッチで電源を切ったり、電源コードを抜いたりすると、録画できなくなります。
- WOWOWなどスクランブル放送を録画するときは、BSデコーダー(WOWOW)の電源を入れたままにしてください。
- ハイビジョンを録画するときは、以下にご注意ください。
 - ビデオには、本機内蔵のMUSE-NTSCコンバーターで現行の放送方式(NTSC)に変換された画像が録画されます。
 - ハイビジョン放送(BS9チャンネル)をBS固定したときは、他のBSチャンネルとMUSE入力の画像を見ることができません。
 - MUSE入力の画像をBS固定したときは、ハイビジョン放送(BS9チャンネル)の画像を見ることができません。
- ビデオで録画したハイビジョンを再生するときは、以下にご注意ください。
 - 本機で見るときは、オートワイドを「1」または「2」にすると、録画時のワイド画面で見ることができます。
 - 他のワイドテレビで見るときは、「フル」モードにすると、録画時のワイド画面で見ることができます。
 - 通常のテレビで見るときは、下の図のように、16:9のワイド画面を4:3に圧縮した縦長の画像になります。

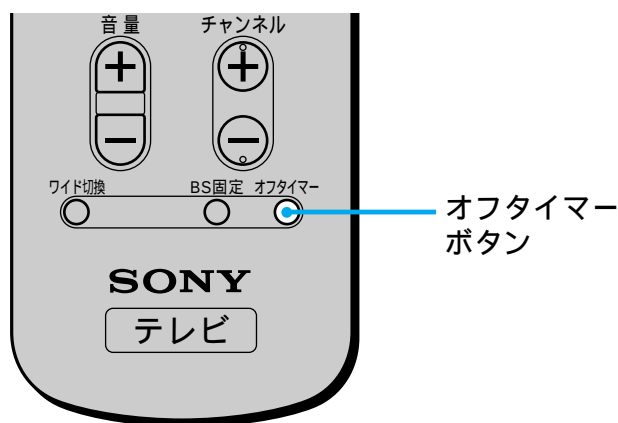


ちょっと一言

St. GIGAなど独立音声放送を録音するときは、メニューの「 (各種切換)」で、「TV/独立音声」を「独立」にしてください。また、BSデコーダー(WOWOW)でも独立音声を選んでください。

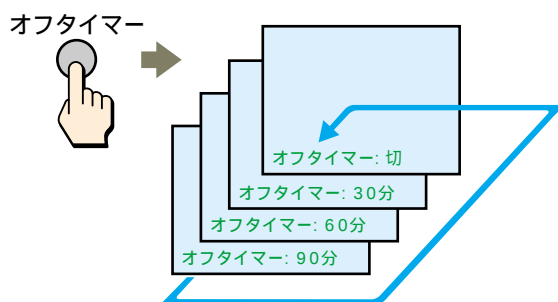
自動で電源を切る (オフタイマー)

テレビをつけたまま寝てしまっても、設定した時間(30分、60分または90分)が過ぎると、自動的に電源が切れます。



オフタイマーボタンをくり返し押す。

押すたびに、次のように時間が変わります。また、本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯します。



オフタイマーを途中でやめるには

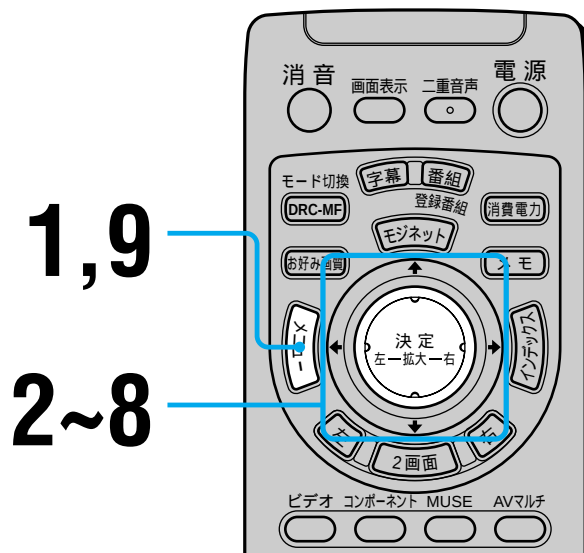
オフタイマーボタンをくり返し押して、「オフタイマー:切」を選ぶ。

ちょっと一言

- オフタイマーが働いているときに、オフタイマーボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間(例:「オフタイマー:あと17分」)が表示されて、数秒後に消えます。
- 電源を入れ直したときは、「オフタイマー:切」に戻ります。
- メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「⌚(タイマー)」から「オフタイマー」を選び、時間を選んでください。

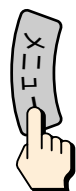
時刻を設定し表示 する

時刻を合わせて、画面に表示できます。

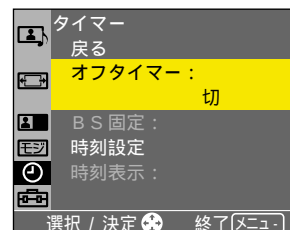
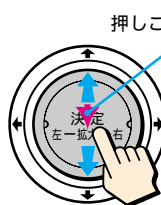


調整する/設定する

1 メニューボタンを押す。



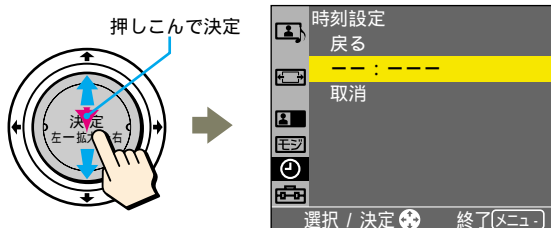
2 ⬆/⬆で「⌚(タイマー)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



次のページにつづく

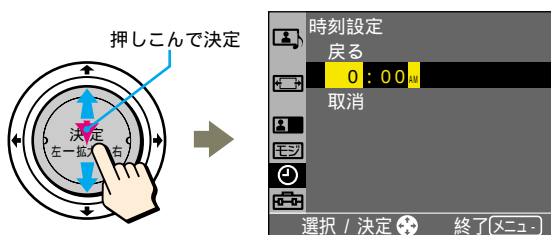
時刻を設定し表示する(つづき)

- 3** ▲/▼で「時刻設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

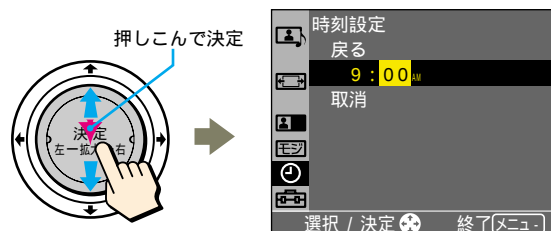


- 4** 「--:--」が選ばれていることを確認して、真ん中を押しこんで決定する。

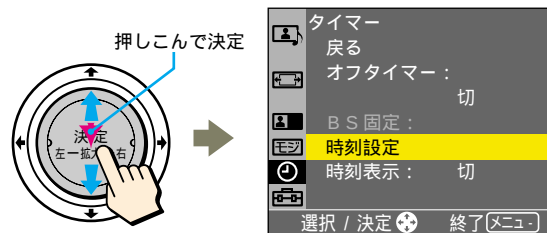
「--:--」が選ばれていないときは、▲/▼で選びます。



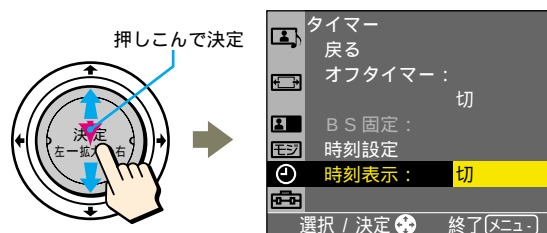
- 5** 「時」を設定する。
▲/▼で数字を選び、真ん中を押しこんで決定する。
昼の12時は「0:00PM」、夜の12時は「0:00AM」と表示されます。



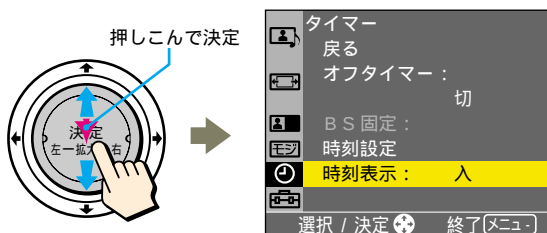
- 6** 「分」を設定する。
▲/▼で数字を選び、時計に合わせて真ん中を押しこんで決定する。



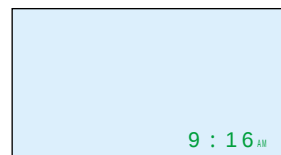
- 7** ▲/▼で「時刻表示」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



- 8** ▲/▼で「入」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



- 9** メニューボタンを押して、メニューを消す。
画面に時刻が表示されます。



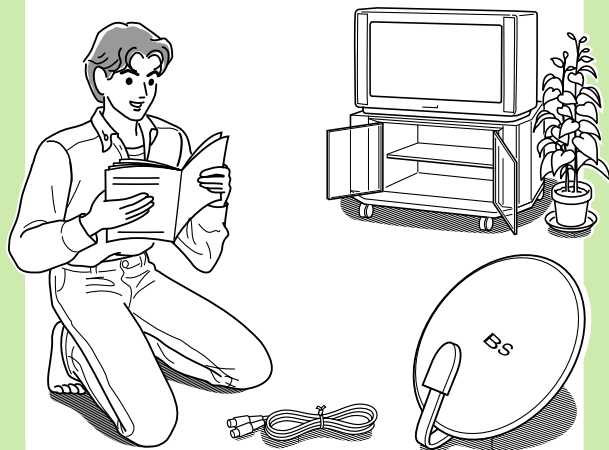
時刻の表示を消すには

「時刻を設定し表示する」(㊦35ページ)の手順1、2を行った後、手順3～6をとばして、手順8で「切」を選ぶ。

テレビの接続と準備

ここでは、テレビアンテナとBSアンテナのつながりかた、およびチャンネル設定や、BS放送を見るための設定を説明しています。

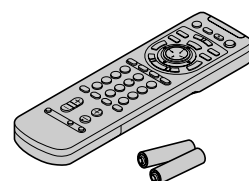
手順1～4(㊦40～47ページ)まで済ませれば、テレビを見ることができます。他の機器をつないでお使いになるときは、「他機との接続」(㊦52～67ページ)をご覧ください。



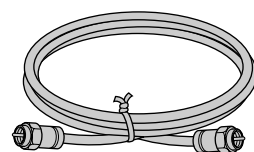
付属品を確認める

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

リモコン(1個)と
単3形乾電池(2個)



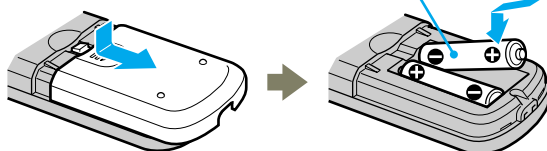
アンテナ接続ケーブル
(約1.5m:1本)



取扱説明書
安全のために
安全点検のおすすめ
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
(各1部)

リモコンに電池を入れるには

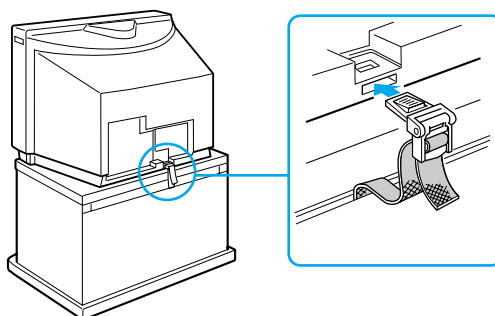
必ずイラストのように●極側から電池を入れてください。



テレビの転倒を防ぐために

お子様が、テレビスタンドに載せた本機に登ったり、本機を押したりすると、テレビスタンドから本機が落ちる恐れがあります。必ず下記を使って、転倒を防いでください。

- テレビスタンド固定ベルト(別売り)
BLT-R10
- 固定ベルト付属のテレビスタンド(別売り)
KV-28DRX9: SU-F200P、SU-F200、SU-28V
KV-32DRX9: SU-F300P、SU-F300、SU-32V
KV-36DRX9: SU-F300P、SU-F300



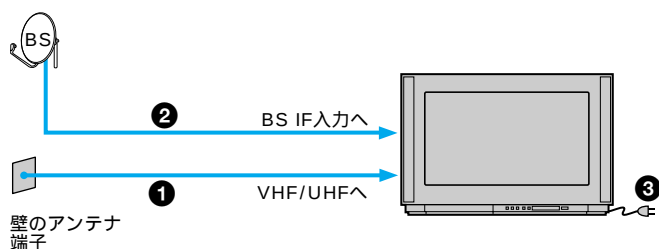
接続と準備の 早わかり

接続と準備のしかたは、放送の種類や接続する機器によって異なります。

ここでは代表的な組み合わせをあげていますので、参考にしてください。詳しくは()内のページ、および接続するビデオなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。

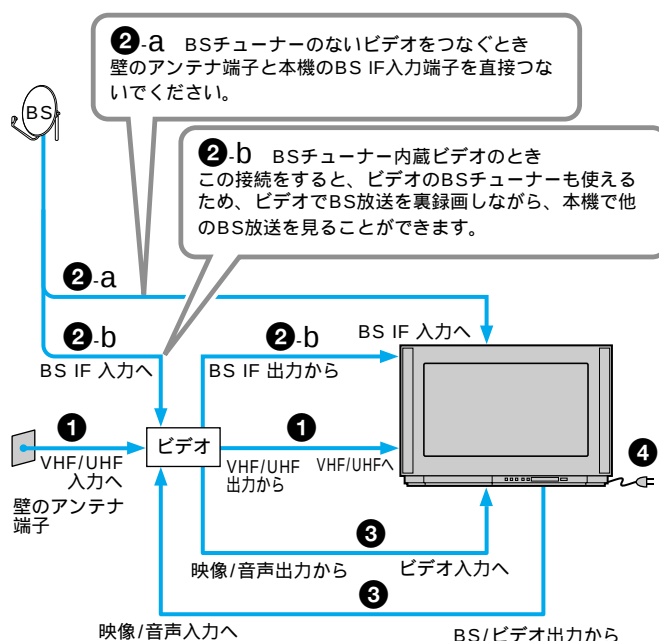
BSアンテナの接続およびBS受信の設定は、BS放送を受信しないときは不要です。

テレビ



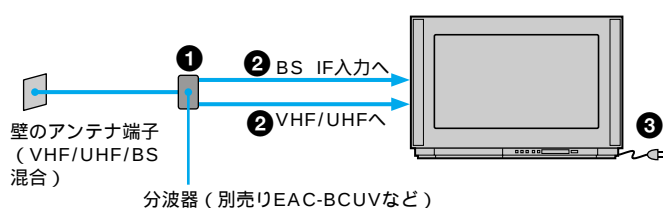
- ① テレビアンテナをつなぐ(④40ページ)
- ② BSアンテナをつなぐ(④42ページ)
- ③ 電源コードをつなぐ
- ④ テレビチャンネルを設定する(④43ページ)
- ⑤ BS受信の設定をする(④46ページ)

テレビ + ビデオ



- ① テレビアンテナを、ビデオを経由してテレビにつなぐ(④55～58ページ、およびビデオの取扱説明書)
- ② BSアンテナをつなぐ
 - ②-a BSチューナーのないビデオのとき:
BSアンテナをテレビにつなぐ(④42ページ)
 - ②-b BSチューナー内蔵ビデオのとき:
BSアンテナをビデオを経由してテレビにつなぐ(④42ページ、およびビデオの取扱説明書)
- ③ ビデオをつなぐ(④55～58ページ)
- ④ 電源コードをつなぐ
- ⑤ テレビチャンネルを設定する(④43ページ)
- ⑥ BS受信の設定をする(④46ページ)

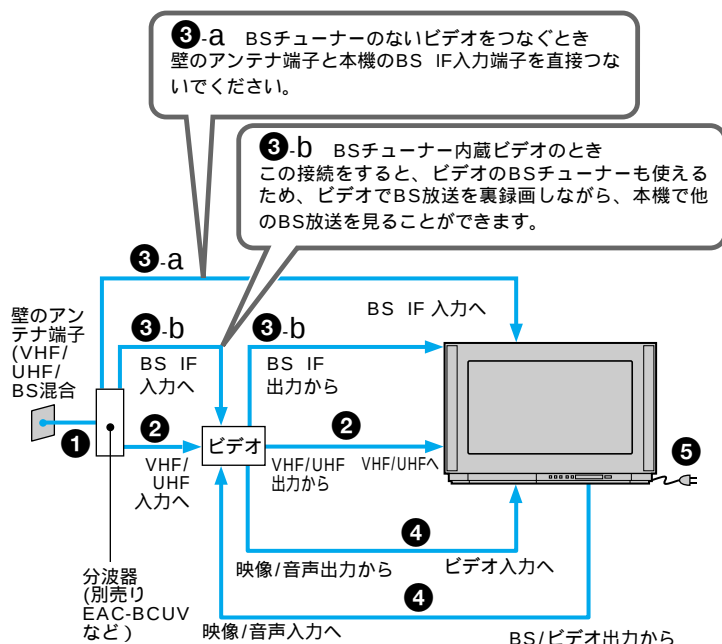
マンションなどの共同受信システム*1



*1 壁のアンテナ端子ひとつでVHF/UHFとBSの両方を受信できる、マンションなどの共同住宅に多いシステムです。

- ① 分波器を使って、VHF/UHFとBSを分ける(④41ページ)
- ② VHF/UHFとBSをつなぐ(④41ページ)
- ③ 電源コードをつなぐ
- ④ テレビチャンネルを設定する(④43ページ)
- ⑤ BS受信の設定をする(④46ページ)

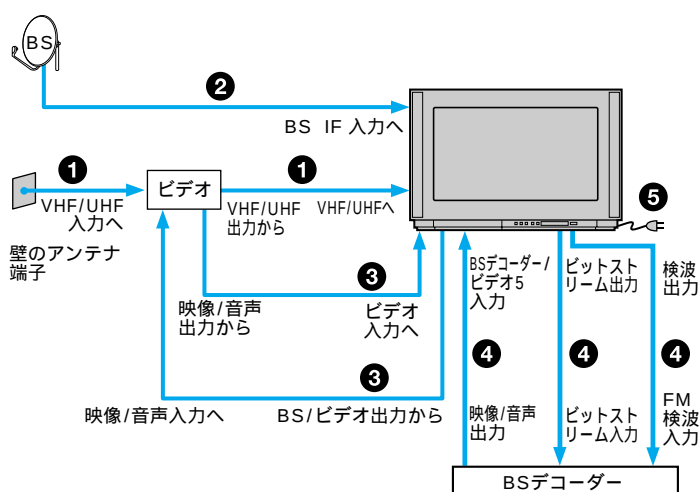
マンションなどの共同受信システム*1 + ビデオ



★1 壁のアンテナ端子ひとつでVHF/UHFとBSの両方を受信できる、マンションなどの共同住宅に多いシステムです。

- ① 分波器を使って、VHF/UHFとBSを分ける
(④41ページ)
- ② テレビアンテナを、ビデオを経由してテレビにつなぐ(④55～58ページ、およびビデオの取扱説明書)
- ③ BSアンテナをつなぐ
 - ③-a BSチューナーのないビデオのとき:
BSアンテナをテレビにつなぐ(④42ページ)
 - ③-b BSチューナー内蔵ビデオのとき:
BSアンテナをビデオを経由してテレビにつなぐ(④42ページ、およびビデオの取扱説明書)
- ④ ビデオをつなぐ(④55～58ページ)
- ⑤ 電源コードをつなぐ
- ⑥ テレビチャンネルを設定する(④43ページ)
- ⑦ BS受信の設定をする(④46ページ)

テレビ + WOWOW + ビデオ*2



- ① テレビアンテナをビデオを経由してからテレビにつなぐ(~~⑤~~55～58ページ)
- ② BSアンテナをつなぐ(~~④~~42ページ)
- ③ ビデオをつなぐ(~~⑤~~55～58ページ)
- ④ BSデコーダー(WOWOW)をつなぐ(~~⑥~~59～61ページ)
- ⑤ 電源コードをつなぐ
- ⑥ テレビチャンネルを設定する(~~④~~43ページ)
- ⑦ BS受信の設定をする(~~⑤~~46ページ)

*2 BSチューナー内蔵ビデオのときの接続は、左の図とは異なります。「BSデコーダー(WOWOW)をつなぐ:BSチューナー内蔵ビデオのとき」(P.60ページ)の接続を行ってください。

ケーブルテレビ

ケーブルシステムによって接続や準備のしかたが異なります。ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

テレビは壁から10cm以上離して設置してください

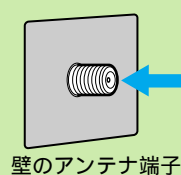
壁から10cm以上離して置いてください。風とおしをよくするためです。壁などに近づけ過ぎて、空気の対流が悪くなると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。また、通風孔がふさがれると、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

手順1: テレビアンテナを つなぐ

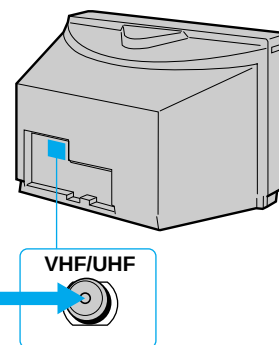
テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、つないでください。

いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

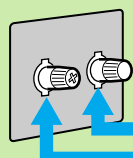
VHF/UHF混合、
またはVHF、
またはUHF



アンテナ接続ケーブル(付属)

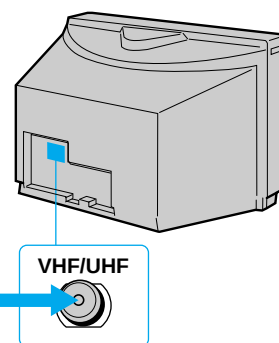


VHF、
またはUHF



変換コネクタ
(別売りEAC-24Aなど)

アンテナ接続ケーブル(付属)



VHF

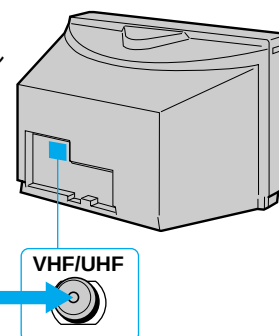
UHF

壁のアンテナ端子

同軸ケーブル(別売り)

アンテナ接続ケーブル
(付属)

中継コネクタ
(別売りEAC-40など)



アンテナ混合器(別売りEAC-68など)

フィーダー線
(別売り)

つなぎかた

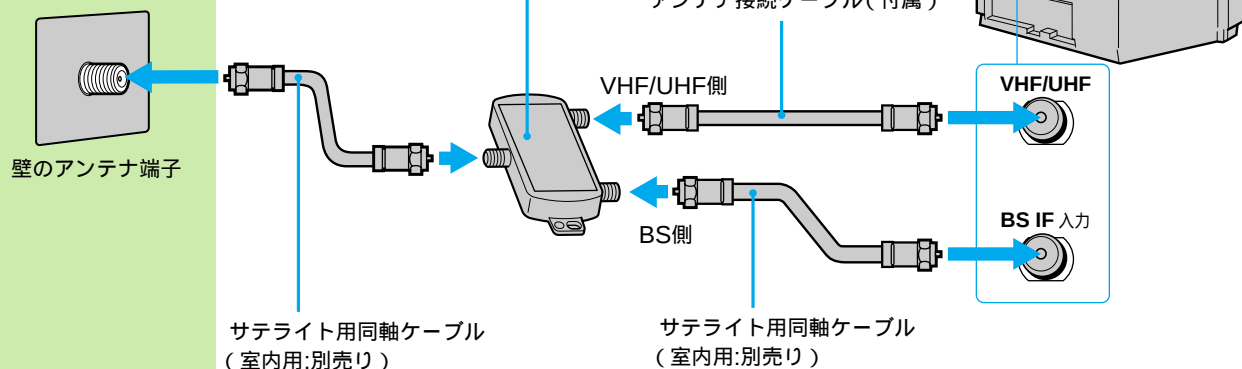
UHFのフィーダー線

ネジをゆるめて芯線を巻き
つけ、ネジを締める

VHFの同軸ケーブル

マンションなどの共同受信システム

(VHF/UHF/BS混合)



きれいな画像をお楽しみいただくために

本機には、多くのデジタル回路による新テクノロジーが搭載されています。このため、安定した画像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実にを行い、妨害電波を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- 本機後面のVHF/UHF端子への接続は、アンテナ線がフィーダー線または同軸ケーブルのどちらであっても、必ず付属のアンテナ接続ケーブルを使ってください。
- アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。万が一、フィーダー線をご使用になる場合は、テレビからできるだけ離してください。
- BS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブル(室内用:別売り)をつないでください。BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源(DC 15V)が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
- サテライト分波器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ(別売りEAC-BC2またはEAC-BC4など)を必ずお使いください。特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給するサテライト分波器を使うと、BSチューナー内蔵ビデオでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。

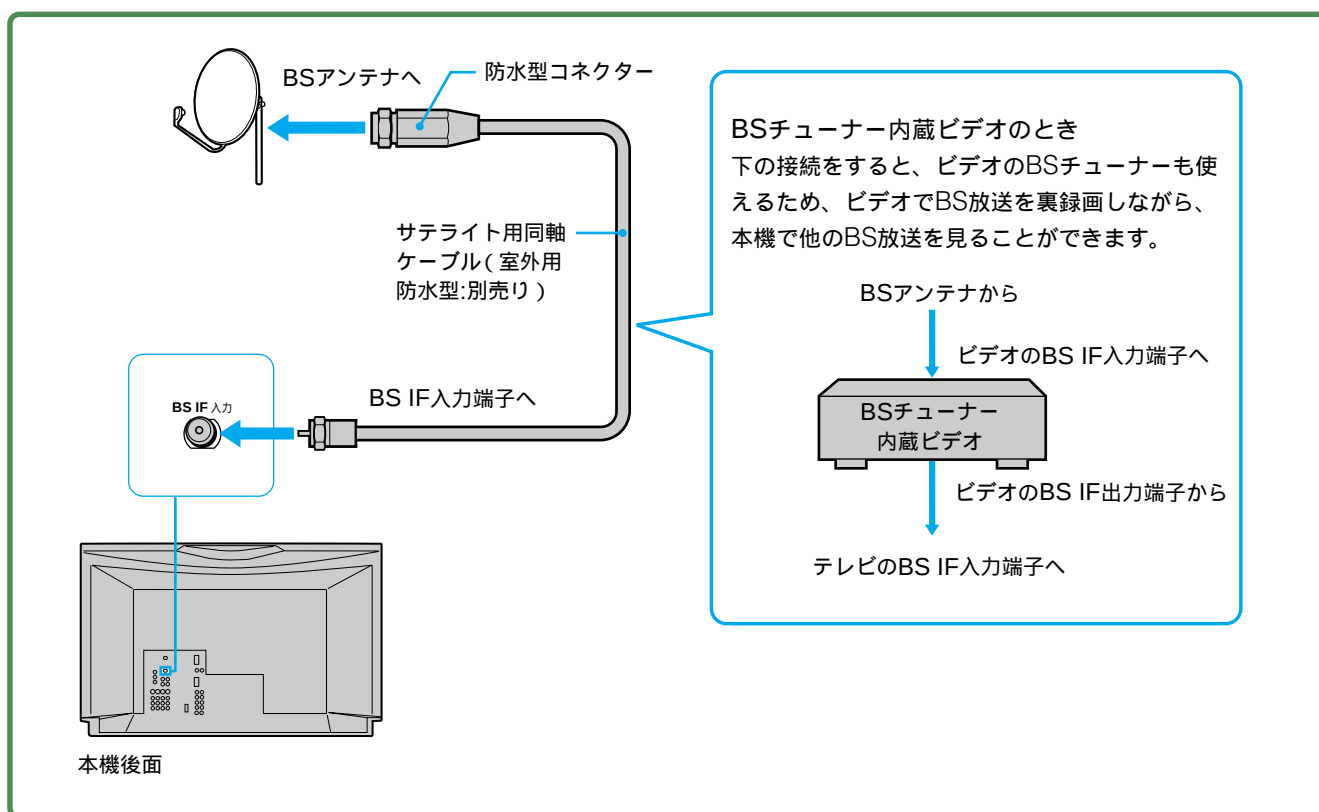
ちょっと一言

マンションなどの共同受信システムで、BS放送の受信電波が弱くノイズが出るときは、サテライトブースター(別売りBO-BC20など)をつないでください。また、設定メニューの「 (BS設定)」で「BSアンテナ電源」を「切」にしてください(46ページ)。

手順2: BSアンテナを つなぐ

BSアンテナをテレビに直接つなぎます。マンションなどの共同受信システムなどVHF/UHF/BS混合のときは、④41ページをご覧ください。BSアンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。

WOWOWをご利用になるときは、「BSデコーダー (WOWOW) をつなぐ」(④59ページ) もあわせてご覧ください。



ご注意

- BS IF 入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブルをつないでください。BS IF 入力端子からはBSアンテナ用の電源 (DC 15V) が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。

推奨ケーブル

- 室外用防水型:SAK-C10/C20/C30など
- 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
 - 雷、雨、強風などの悪天候のとき
 - BSアンテナに雪が付着しているとき
 - 強風などでアンテナの向きが変わったとき (BSアンテナの向きを調整してください。④47ページ)
 - 春分や秋分、日食など、太陽と地球とBS衛星が並んだ (食) とき
- BS IF 入力端子につないだサテライト用同軸ケーブルの芯線と端子のまわりの金属部分が触れて、ショートしないようにご注意ください。

- サテライト分波器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ (別売りEAC-BC2またはEAC-BC4など) を必ずお使いください。特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給するサテライト分波器を使うと、BSチューナー内蔵ビデオでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。
- BSアンテナをつなぐときは、工具を使わずに手でしっかりと締めてください。工具を使うと、端子を傷めることがあります。

「BSアンテナ電源を確認してください」という表示が出たら

- マンションなどの共同受信システムのときは、設定メニューの「 (BS設定)」で、「BSアンテナ電源」を「切」にしてから、いったんテレビの電源を切ってください (④46ページ)。
- BSアンテナをつないでいるときは、BSアンテナのアンテナ線がショートしています。テレビ本体の電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

手順3: チャンネルを設定 する

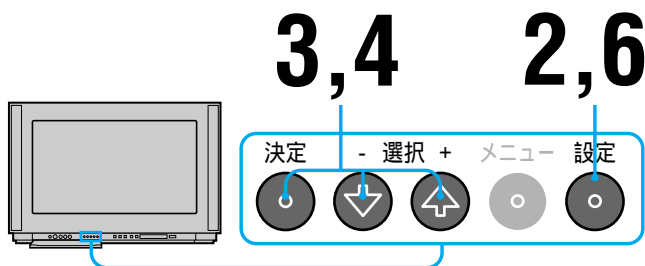
VHF/UHF放送は、自動でも手動でも受信設定
できます。はじめに自動設定することをおすす
めします。

自動設定する

受信できるVHF/UHF放送を、リモコンの数字
ボタンに自動的に設定します。

放送のある時間帯に行ってください。BS放送
はお買い上げ時に設定されています。

自動設定したチャンネルを変更したり、放送の
ないチャンネルをとばすときは、**44**、**45**
ページをご覧ください。



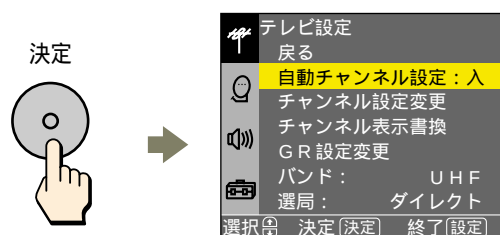
本体のボタンを使います。

1 電源を入れ、VHF/UHF放送を
映す。

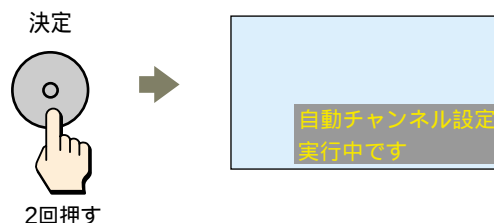
2 設定ボタンを押す。



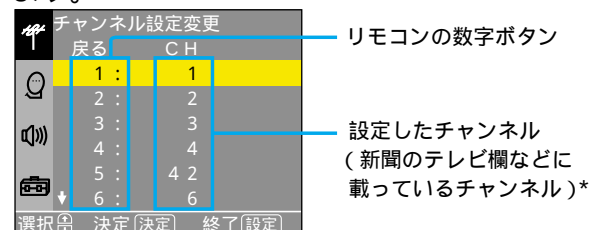
3 「**入**」マークが黄色になっている
ことを確認した後、決定ボタン
を押す。



4 「自動チャンネル設定」が選ばれ
ていて(黄色になっている)
「入」になっていることを確認し
た後、決定ボタンを2回押す。
「切」になっているときは、決定ボタンを
1回押した後、選択 $\triangle$ / ∇ ボタンで「入」を
選び、決定ボタンを押す。



「自動チャンネル設定実行中です」と表示
され、自動的に設定が始まります。
設定が終わると、下のメニューに変わリ
ます。



* 地域によっては、これまでご覧になっていたチャ
ネル番号と異なる場合があります。

5 設定されたチャンネルを確認す
る。

手動で設定し直したいときは

44ページをご覧ください。

ゴーストの少ない画像にしたいときは

49ページをご覧ください。

6 設定ボタンを押して、設定メ
ニューを消す。

チャンネル設定を途中でやめるには

手順4で「自動チャンネル設定実行中です」の
メッセージが出ている間に、設定ボタンを押す。

次のページにつづく

手順3:

チャンネルを設定する(つづき)

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。本機では、C13～C35までのケーブルテレビチャンネルを受信できます。

詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

本体のボタンを使います。

- 1 ダイレクト選局になっていることを確認する(④48ページ)。
- 2 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 3 選択 $\triangle$ /決定 $\square$ ボタンで「 $\uparrow$ (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 $\triangle$ /決定 $\square$ ボタンで「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 選択 $\triangle$ /決定 $\square$ ボタンで「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
- 6 選択 $\triangle$ /決定 $\square$ ボタンで「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
- 7 選択 $\triangle$ /決定 $\square$ ボタンでケーブルテレビを映したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。
- 8 選択 $\triangle$ /決定 $\square$ ボタンで「CH」の数字をケーブルテレビのチャンネルにし、決定ボタンを押す。
ケーブルテレビのチャンネルには、表示の前に「C」がつきます。
例:C24

- 9 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ご注意

- ケーブルテレビとUHF放送を同時に受信したり、チャンネル設定したりすることはできません。
- ケーブルテレビで「10キー選局」(④48ページ)をするときは、上記で受信設定をした後、「10キー選局」に切り換えてください。

手動設定する

自動設定したチャンネルを変えたり、表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばすことができます。

1～12のチャンネル数字ボタンと、BS5、7、9、11のBSチャンネルボタンの合計16チャンネルのすべてを、手動で設定できます。

ご注意

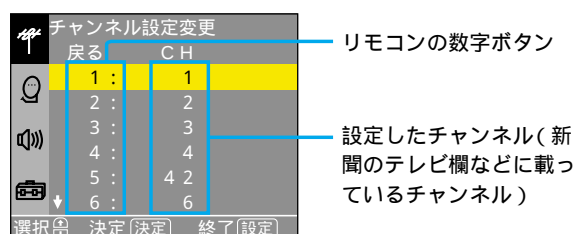
BS5、7、9、11ボタンは、ボタン名と同じBSチャンネル用としてだけでなく、13、14、15、16チャンネルボタンとしても使えます。ただし、ボタン名と異なる他のチャンネルに設定し直すと、各ボタンを押しても、BS5、7、9、11チャンネルを直接選局できなくなります。

リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには

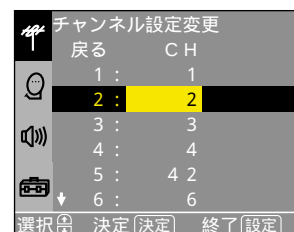
リモコンの数字ボタンに好きなチャンネルが映るように変えられます。

本体のボタンを使います。

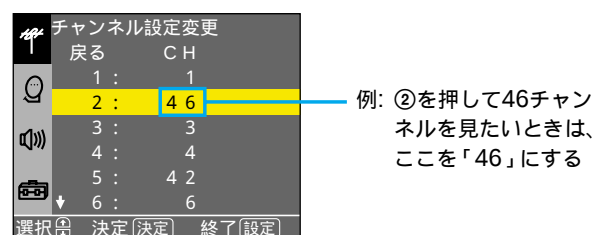
- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択 $\triangle$ /決定 $\square$ ボタンで「 $\uparrow$ (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 $\triangle$ /決定 $\square$ ボタンで「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 選択 $\triangle$ /決定 $\square$ ボタンで変更したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。



- 5 選択 $\triangle$ /決定 $\square$ ボタンで設定したチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。



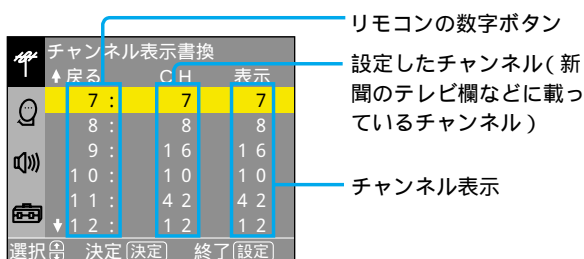
- 6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

チャンネル表示を書き換えるには

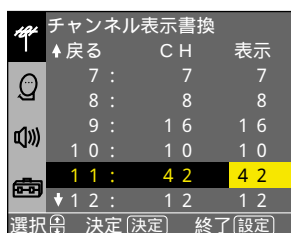
画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などにかき換えることができます。

本体のボタンを使います。

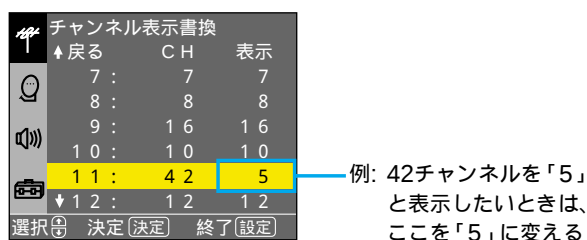
- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択 Δ / ∇ ボタンで「 Ⓐ (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 Δ / ∇ ボタンで「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 選択 Δ / ∇ ボタンで書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。



- 5 選択 Δ / ∇ ボタンでチャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。



- 6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ちょっと一言

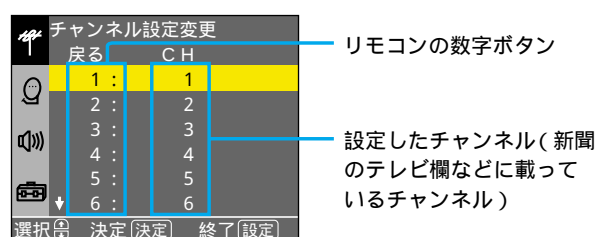
- チャンネルと表示が1対1で対応するように、チャンネル表示を書き換えてください。複数のチャンネルを同一のチャンネル表示にすることもできますが、おすすめしません。
- BS放送のチャンネル表示は書き換えられません。

放送のないチャンネルをとばすには

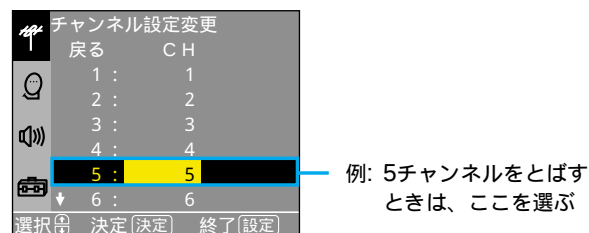
チャンネル+/- ボタンでチャンネルを選ぶときや、チャンネルを一覧表示する(14ページ)ときに、放送のないチャンネルをとばす(選局しない)ように設定できます。

本体のボタンを使います。

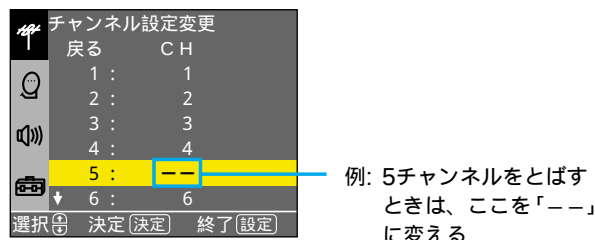
- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択 Δ / ∇ ボタンで「 Ⓐ (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 Δ / ∇ ボタンで「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 選択 Δ / ∇ ボタンでとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。



- 5 選択 Δ / ∇ ボタンで「CH」を「--」に変えて、決定ボタンを押す。



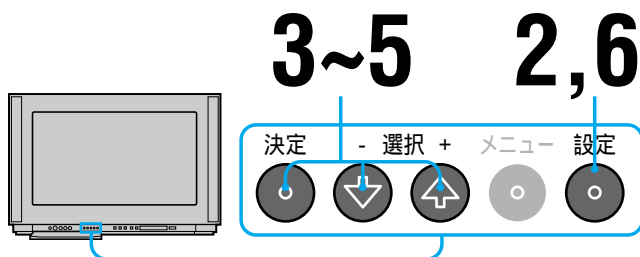
- 6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

手順4: BS受信の設定をする

BS放送を見るときは、BSアンテナ電源の設定と、BSアンテナの向きを調整してください。

BSアンテナ電源を設定する

BSアンテナのつながりかた(マンションなどの共同受信システムか、テレビなどに直接つないでいるかなど)に合わせて、BSアンテナへの電源供給を設定します。



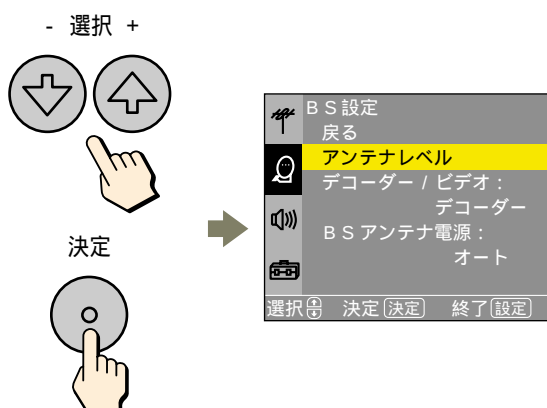
本体のボタンを使います。

1 電源を入れ、BS放送を映す。

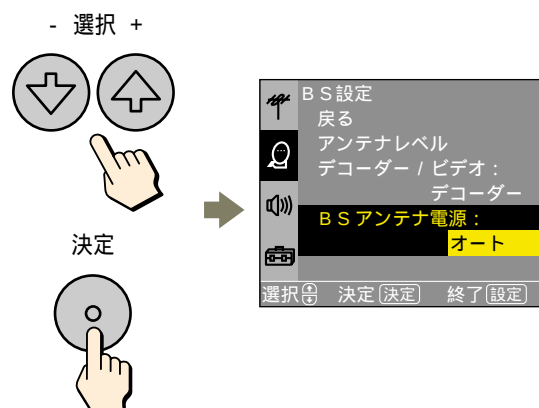
2 設定ボタンを押す。



3 選択/決定ボタンで「📶(BS設定)」を選び、決定ボタンを押す。



4 選択/決定ボタンで「BSアンテナ電源」を選び、決定ボタンを押す。



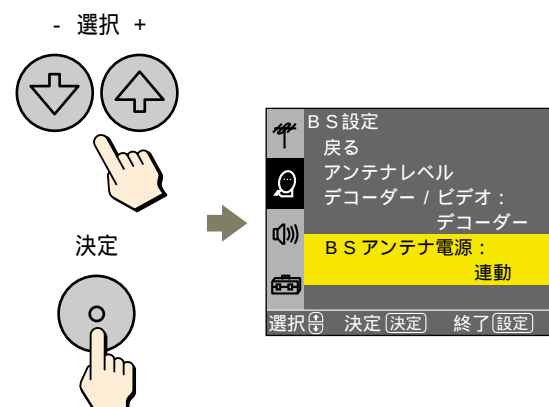
5 マンションなどの共同受信システムの場合は

選択/決定ボタンで「切」を選び、決定ボタンを押す。

BSアンテナをつないでいるときは
選択/決定ボタンで「オート」または「連動」を選び、決定ボタンを押す。

設定	BSアンテナへの電源供給のしかた
●オート	テレビの電源が入っているときに、テレビがBSアンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断する。テレビの電源が切れているときは供給しない。
連動	テレビの電源が入っているときはつねに電源を供給する。テレビの電源が切れているときは供給しない。BSが映ったり消えたりするときに選んでください。
切	電源を供給しない。

●：お買い上げ時の設定



6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ご注意

- 「オート」にしても、BSアンテナの電源供給システムによっては、うまく働かないことがあります。このときは「連動」にしてください。
- 1本のBSアンテナに分波器などをつないでBS電波を分け、本機と他のテレビやビデオ機器の両方でBSを受信できるようにしているときは、本機を「オート」に、他の機器を「連動」にしてください。このようにしないと、本機の電源を切ると他のテレビやビデオ機器からBSアンテナに電源が供給されないことがあります。他の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

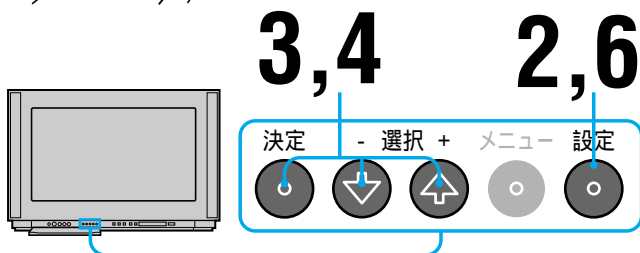
BSアンテナの向きを調整する

BSアンテナをテレビに直接つないだときは、アンテナの向きを2人で調整します。1人がテレビ画面の画像とレベル表示を見て、もう1人がレベル表示が最大になるように、BSアンテナを動かしながら調整します。

向きや角度については、BSアンテナの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

「BSアンテナ電源」が「切」になっているときは、「BSアンテナ電源」を「オート」または「連動」にしてください(46 ページ)。



本体のボタンを使います。

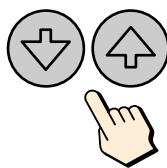
1 電源を入れ、BS放送を映す。

2 設定ボタンを押す。

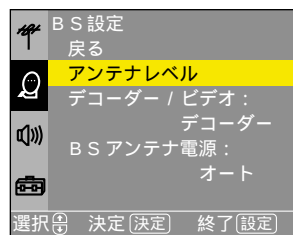
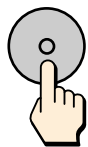


3 選択/決定ボタンで「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

- 選択 +

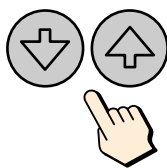


決定

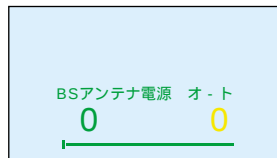
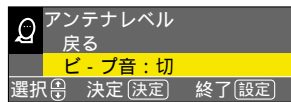


4 選択/決定ボタンで「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。

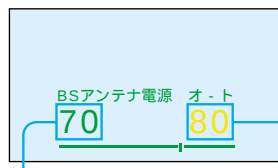
- 選択 +



決定



5 BSアンテナを動かして調整する。受信中のアンテナレベルが最大値と一致、または一番近づいたところでBSアンテナを固定します。



受信中のアンテナレベル
(緑色の数字)

最大値(黄色の数字)

6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

音を聞いて調整するには

画面で確認できないときに便利です。

1 手順4のあと、選択/決定ボタンで「ビープ音」を選び、決定ボタンを押す。

2 選択/決定ボタンで「入」を選び、決定ボタンを押す。

3 手順5で連続した最大音になるよう、BSアンテナを調整する。

ちょっと一言

1つのBSチャンネルで調整すれば、他のBSチャンネルの調整は不要です。

数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ(10キー選局)

お買い上げ時は「ダイレクト選局」になっています。「ダイレクト選局」は、リモコンの数字ボタンと同じチャンネルが映る選局方法で、受信できるチャンネル数は最大16局です。

そのため、ケーブルテレビなど見たいチャンネルの数が16局を越えるときは、「10キー選局」に変えてください。

「10キー選局」では、数字ボタンを十の位・一の位の順に押した後、⑫(=選局)ボタンを押して、チャンネルを選びます。0は⑩ボタンを使います。

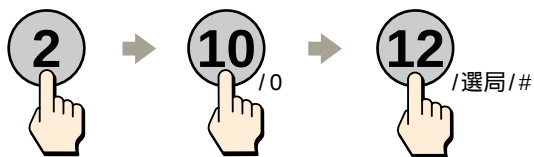
ちょっと一言

BS放送は、「10キー選局」に変えても、リモコンのBS5～11ボタンを押して、直接選べます。

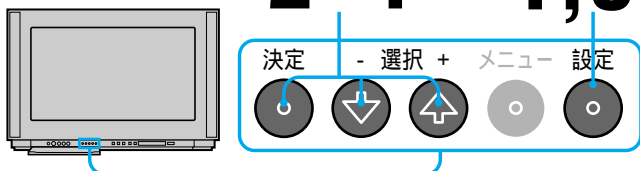
例) 14チャンネル



20チャンネル

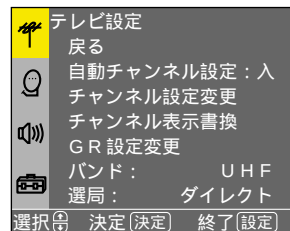
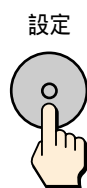


2~4 1,5



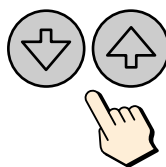
本体のボタンを使います。

1 設定ボタンを押す。

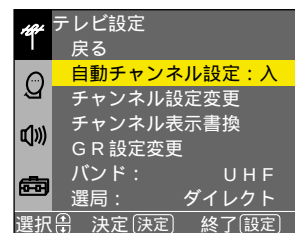


2 選択⇅ボタンで「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。

- 選択 +

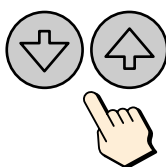


決定

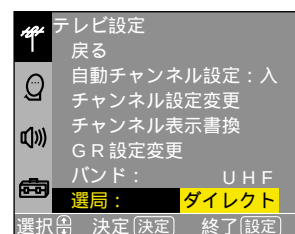


3 選択⇅ボタンで「選局」を選び、決定ボタンを押す。

- 選択 +

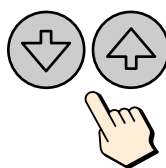


決定

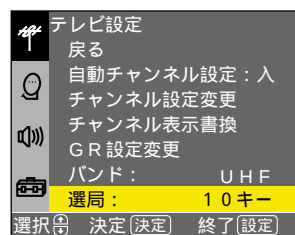


4 選択⇅ボタンで「10キー」を選び、決定ボタンを押す。

- 選択 +



決定



5 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ダイレクト選局に戻すには

手順4で「ダイレクト」を選ぶ。

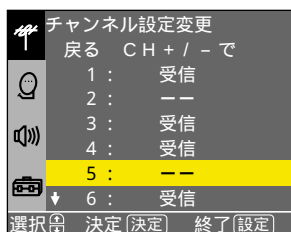
ご注意

- チャンネルを自動設定する(㊦43ページ)ときは、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順2(㊦48ページ)の後に下記の操作をした後、手順3以降を行ってください。
 - 1 選択 $\uparrow/\downarrow$ ボタンで「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
 - 2 選択 $\uparrow/\downarrow$ ボタンで「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
 - 3 手順3以降を行う。

チャンネル+/- ボタンで選ぶ放送を設定するには

お買い上げ時は1～12チャンネルとBS5、BS7、BS9、BS11が順に選ばれるように設定されています。ケーブルテレビなどでこれ以外のチャンネルを選ぶときや、放送がないチャンネルをとばすときは、次のように設定します。本体のボタンを使います。

- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択 $\uparrow/\downarrow$ ボタンで「 $\uparrow$ (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 $\uparrow/\downarrow$ ボタンで「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 $\uparrow/\downarrow$ ボタンで見たいチャンネル、またはとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
- 5 選択 $\uparrow/\downarrow$ ボタンで見たいチャンネルのときは「受信」を、とばしたいチャンネルのときは「--」を選び、決定ボタンを押す。



- 6 複数のチャンネルを設定するときは、手順4と5をくり返す。
- 7 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ゴーストの少ない 画像にする

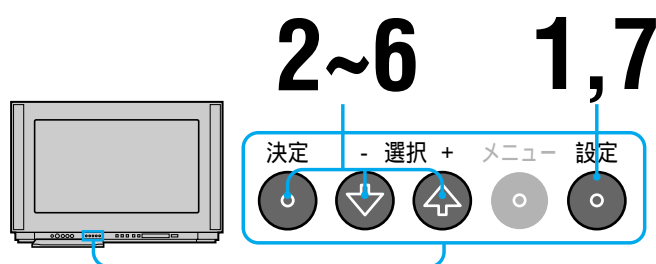
(ゴースト・リダクション)

本機では、建物や地形などによる妨害波で起こるゴーストを、放送局から送信されるゴースト除去基準信号を感知して、少なくする(リダクション)ように、チャンネルごとに設定できます。

「GR」はゴースト・リダクションの略です。

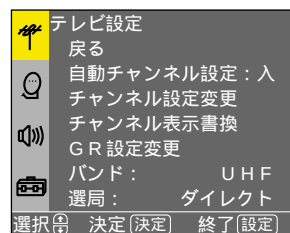
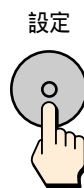
ご注意

- BS放送にはゴースト除去基準信号が含まれていないため、設定できません。
- ビデオ機器の再生画像などテレビにつないだ機器の映像に対しても設定できません。



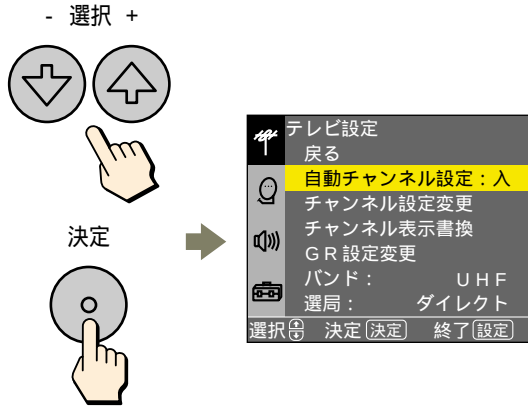
本体のボタンを使います。

1 設定ボタンを押す。

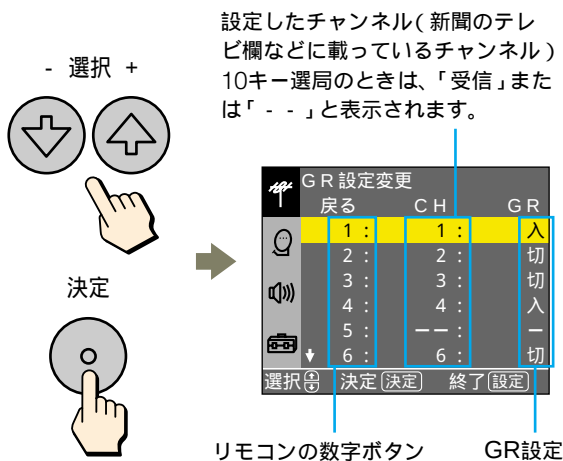


ゴーストの少ない画像にする (つづき)

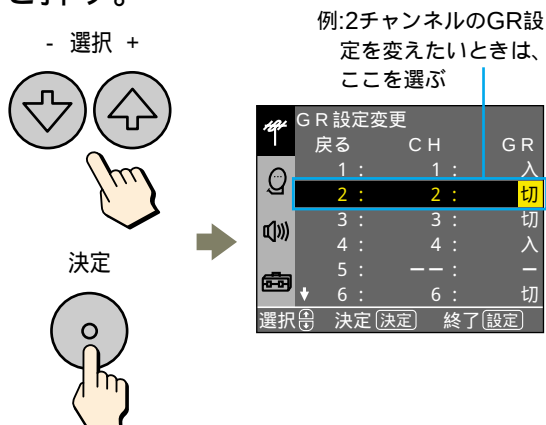
2 選択 $\uparrow/\downarrow$ ボタンで「 $\uparrow$ (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。



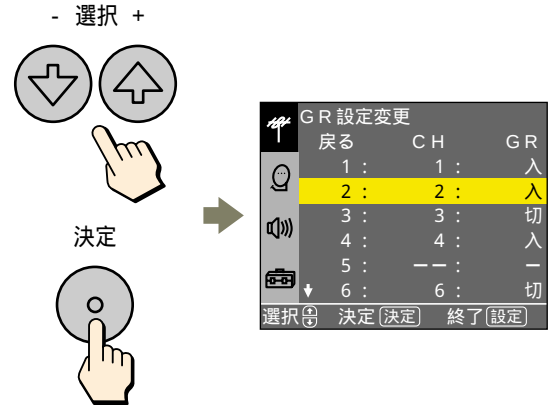
3 選択 $\uparrow/\downarrow$ ボタンで「GR設定変更」を選び、決定ボタンを押す。



4 選択 $\uparrow/\downarrow$ ボタンで設定を変えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。



5 選択 $\uparrow/\downarrow$ ボタンで「入」または「切」を選び、決定ボタンを押す。



6 複数のチャンネルを設定するとき、手順4と5をくり返す。

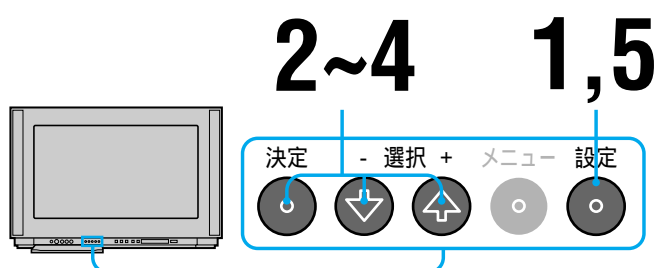
7 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ご注意

- ゴースト・リダクションは、チャンネルを切り換えた後、数秒してから働き、大きなゴーストから順々に少なくなしていきます。このとき、画像が一瞬またたくことがあります。
- 受信している電波が弱いときは、大きなゴーストに働くと別のゴーストが起きることがありますが、徐々に少なくなしていきます。
- アンテナの設置や調整のときは「GR」を「切」にすると、ゴーストの少ない方向を確認できます。
- 次のときは効果が十分に出ないため、「GR」を「切」にしてください。
 - ゴーストが大きすぎるとき
 - ゴーストが同時に10波以上起きているとき
 - 飛行機に反射して起きるゴーストなど、一定でないゴーストのとき
 - 室内アンテナなどアンテナの設置や調整が適切に行われていないとき
- 2画面(11ページ)のときは左画面のみ、インデックス画面(14ページ)のときは親画面のみ、ゴースト・リダクションは働きます。

画像の傾きを補正する

地磁気の影響で、画像が傾いたり、画面の上下位置がずれることがあります。このときは、テレビの向きを変えてみるか、次のように補正してください。

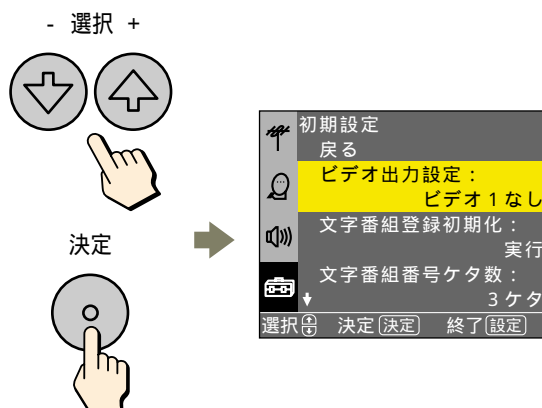


本体のボタンを使います。

1 設定ボタンを押す。



2 選択/方向ボタンで「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。

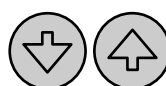


3 選択/方向ボタンで「方角補正 回転」または「方角補正 上下」を選び、決定ボタンを押す。

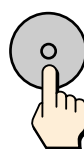
「方角補正 回転」「方角補正 上下」は、選択/方向ボタンを押し続けると出てくる画面にあります。

画像が傾いているときは「方角補正 回転」を、画面の上下位置がずれているときは「方角補正 上下」を選びます。

- 選択 +



決定



4 選択/方向ボタンで調整する。

手順3で「方角補正 回転」を選んだとき画像を見ながら、画面内の水平の線ができる限り水平になるようにします。数値は - 7 ~ + 7 の範囲で変わります。

手順3で「方角補正 上下」を選んだとき画面の上下位置を補正します。数値は - 5 ~ + 5 の範囲で変わります。

5 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

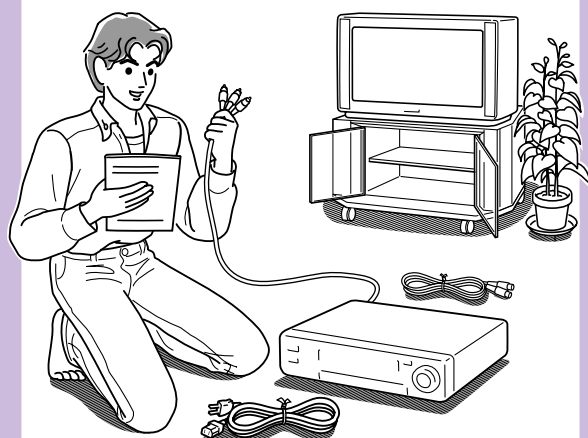
ご注意

高圧線の近くや鉄筋コンクリート造りの家などでは、磁界の影響のため、うまく補正されないことがあります。このときは、ソニーサービス窓口またはお買い上げ店などにご相談ください。

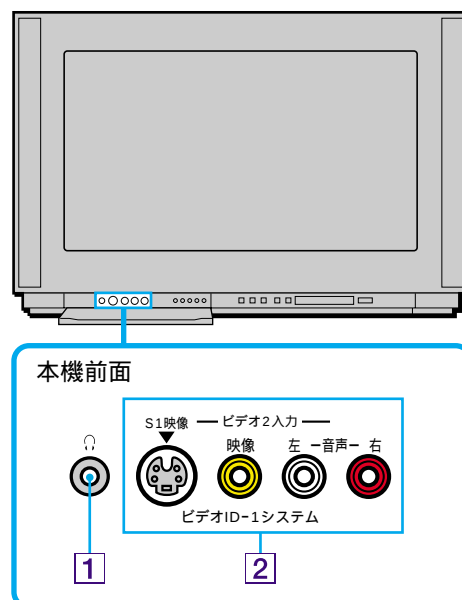
また、テレビの近くに大きなスピーカーがあると、うまく補正されません。スピーカーからテレビを離して置いてください。それでも、うまく補正されないときも、ご相談ください。

他機との接続

ここでは、接続端子の名前とはたらき、およびビデオデッキなど他の機器のつなぎかたについて説明しています。テレビを見るための接続と準備については、「テレビの接続と準備」(㊦37～51ページ)をご覧ください。



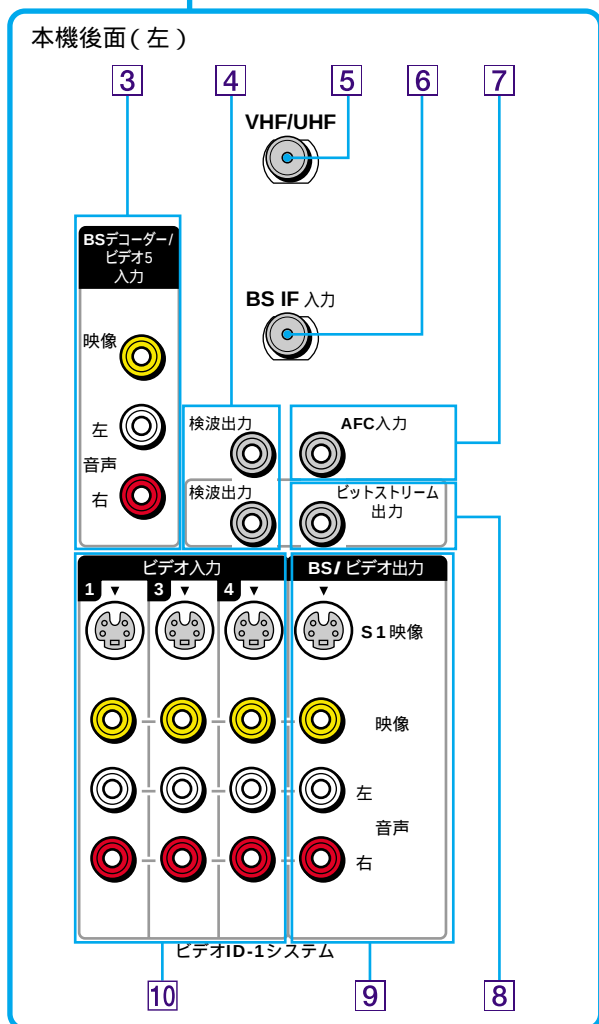
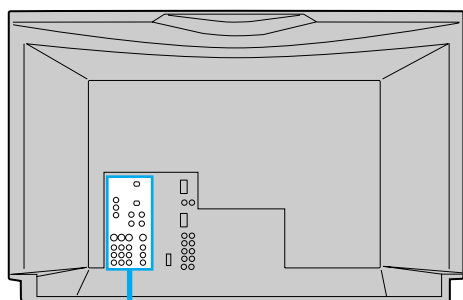
接続端子の名前とはたらき



㊦のページに詳しい説明があります。

- 1 ヘッドホン端子(㊦13ページ)**
ヘッドホンをつなぎます。
- 2 ビデオ2入力端子(S1映像/映像/音声)(ID-1システム)(㊦64ページ)**
テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。
- 3 BSデコーダー/ビデオ5入力端子(映像/音声)(ID-1システム)(㊦59～61ページ)**
設定メニューの「 (BS設定)」の「デコーダー/ビデオ」の設定によって、働きかたが異なります(㊦55ページ)。
「デコーダー」に設定したとき(㊦61ページ)
BSデコーダー入力端子として働きます。
BSデコーダー(WOWOW)の映像/音声出力端子につなぎます。
「ビデオ5」に設定したとき(㊦55ページ)
ビデオ5入力端子として働きます。
ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

本機後面



④のページに詳しい説明があります。

④ 検波出力端子 (④59～61、66ページ)

BSデコーダー (WOWOW) のFM検波入力端子、またはMUSEデコーダーのBS MUSE入力端子につなぎます。

⑤ VHF/UHFアンテナ端子 (④40～41ページ)

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

⑥ BS IF入力端子 (④42ページ)

BSアンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。BSアンテナ用の電源を供給するため、DC15Vの直流電圧が出ています。VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

⑦ AFC入力端子 (④66ページ)

ハイビジョン機器のAFC出力端子につなぎます。

⑧ ビットストリーム出力端子 (④59～61ページ)

BSデコーダー (WOWOW) のビットストリーム入力端子につなぎます。また、将来的に考えられている新放送システムにも対応します。

⑨ BS/ビデオ出力端子 (S1映像/映像/音声) (ID-1システム) (④55～58ページ)

ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。VHF/UHF、BS、ビデオ1～5入力*、AVマルチ入力、MUSE入力の信号を出力します。ハイビジョンは通常のテレビ放送の方式 (NTSC) と同じ画質の信号で出力します。

* ただし、ビデオ1入力の信号については、設定メニューの「初期設定」の「ビデオ出力設定」で出力されるように設定する必要があります (④56ページ)。また、ビデオ5入力の信号のときは、BSデコーダー/ビデオ5入力端子をビデオ入力端子として働くように設定する必要があります (④55ページ)。

ご注意

- BSデコーダー (WOWOW) をつないでいるときは、スクランブルを解除した信号を出力します。
- コンポーネント入力端子につないだ機器の映像信号は出力しません。

BS固定 (④33ページ) のときのご注意

以下の信号を出力します。

- BS固定が「切」のとき:
テレビに映っている映像と音声をS1映像出力端子と映像出力端子の両方から出力します。
- BS固定が「入」のとき:
テレビに映っている映像と音声には関係なく、BS固定したBSチャンネルまたはMUSE入力の映像と音声を出力します。ただし、S1映像出力端子からは、ハイビジョン放送を除いたBS放送の信号を出力しません。

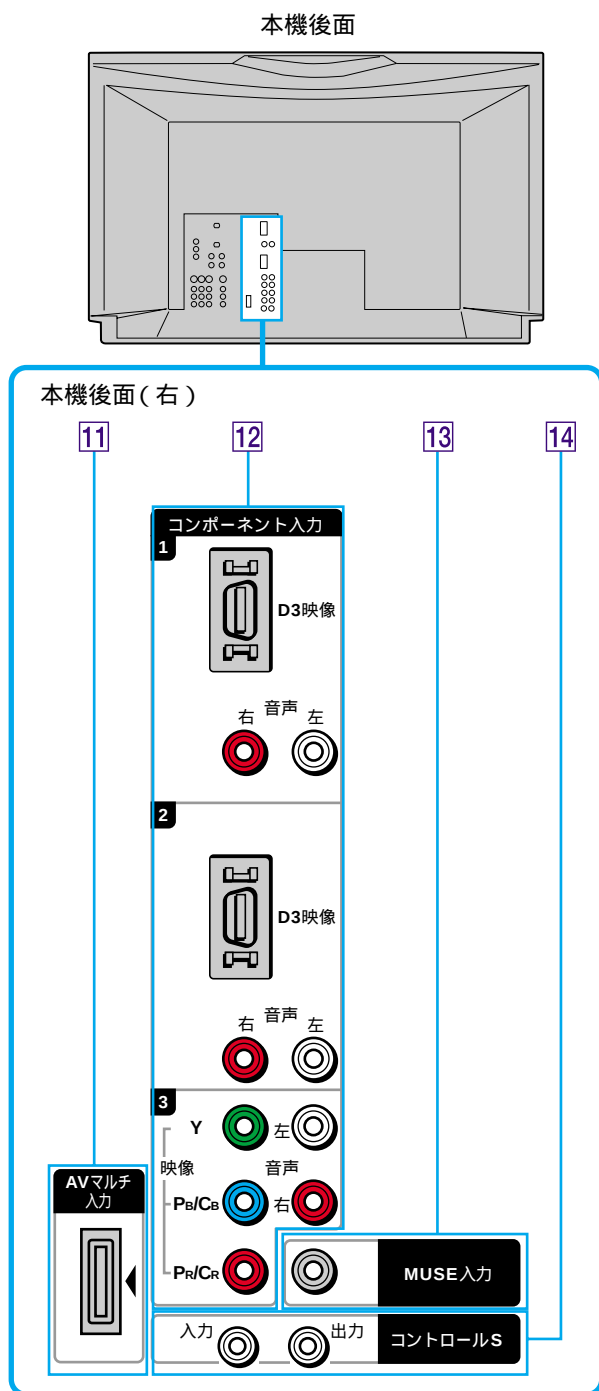
多画面のときのご注意

- 2画面 (④11ページ) のときは、左画面の信号を出力します。
- インデックス (④14ページ) のときは、親画面の信号を出力します。

⑩ ビデオ1、3、4入力端子 (S1映像/映像/音声) (ID-1システム) (④55～58ページ)

ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなど、ビデオ機器のビデオ出力端子につなぎます。

接続端子の名前とはたらき (つづき)



㊦のページに詳しい説明があります。

11 AVマルチ入力端子 (㊦63ページ)

別売りのAVマルチケーブル(VMC-AVM250)を使って、“プレイステーション”のAVマルチ出力端子につなぎます。RGB接続になり、よりきれいな映像でゲームを楽しめます。

12 コンポーネント1、2入力端子 (D3映像/音声) およびコンポーネント3入力端子 (映像/音声) (㊦64、66ページ)

D3映像入力端子 (コンポーネント1、2入力端子)

BSデジタル放送*用の受信アダプターなど将来放送が予定されている機器のD映像出力端子につなぎます。

* BSデジタル放送の受信には、別途、受信アダプターが必要となります。

映像入力端子 (コンポーネント3入力端子)

DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ出力端子 (Y/Cb/Crまたは、Y/B-Y/R-Y、Y/Pb/Pr) またはハイビジョン機器の映像出力端子につなぎます。

音声入力端子

コンポーネント1、2入力端子ではBSデジタル放送用の受信アダプターやビデオ機器の音声出力端子に、コンポーネント3入力端子ではDVDプレーヤーまたはハイビジョン機器の音声出力端子につなぎます。

D3映像入力端子と映像入力端子の対応信号について
525i (480i) と525p (480p) 1125i (1080i) の信号フォーマットに対応しています。iはインターレース、pはプログレッシブの略です。()内は有効走査線数で数えたときの別称です (㊦75ページ)。

コンポーネント入力端子につないだ機器の画像について (HDモード)

コンポーネント1、2入力端子では、D3映像入力端子からの識別制御信号を自動的に判別して、現行ハイビジョン放送 (BS9) と将来予定されているデジタルハイビジョン (HD) 放送の画像を自動的に切り換えます (「HDモード:オート」)。お買い上げ時は、「HDモード:オート」になっているため、設定を変える必要はありません。また、D3映像入力端子からの識別制御信号がないときの画像や、コンポーネント3入力端子につないだ機器の画像は、「HDモード:オート」のとき、有効走査線数1035本の画像で表示します。

なお、メニューの「 (各種切替)」で、「HDモード」を次のように固定することもできます。

- 現行ハイビジョン放送 (BS9) (有効走査線数:1035本) に固定したいときは、「HDモード:1035」にする。
- 将来予定されているデジタルハイビジョン (HD) 放送 (有効走査線数:1080本) に固定したいときは、「HDモード:1080」にする。

13 MUSE入力端子 (㊦65ページ)

ハイビジョン・レーザーディスクプレーヤー (MUSE) のMUSE出力端子につなぎます。

本機内蔵のMUSE-NTSCコンバーターを通して通常のテレビ放送 (NTSC) と同じ画質で、見ることができます。

14 コントロールS端子

入力端子

他機のコントロールS出力端子につないで、他機から本機を操作できます。

出力端子

他機のコントロールS入力端子につないで、本機にリモコンを向けて他機を操作できます。

ビデオをつなぐ

ビデオデッキ、ビデオカメラ、またはレーザーディスクプレーヤーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

S1映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

よりよい画質でご覧いただくために、下表の端子につないでください。

つなぐ機器にS映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

つなぐ機器	つなぐ端子
テレビチューナー BSチューナー	映像
レーザーディスクプレーヤー *1	映像
ビデオデッキ*2 ビデオカメラの再生	S1映像
デジタルCSチューナー	S1映像
DVDプレーヤー*3	S1映像
テレビゲーム	S1映像

*1 三次元Y/C分離回路搭載のレーザーディスクプレーヤーのときは、接続による画質の差はほとんど生じません。再生モードにはノーマルを選び、デジタルで再生しないでください。詳しくは、レーザーディスクプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

*2 TBC(タイムベースコレクター)内蔵ビデオデッキでNTSC標準信号化できる場合も含まれます。

*3 コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは、本機のコンポーネント3入力端子につないでください(☞64ページ)。

本機ビデオ1~4入力端子のS1映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは

ビデオの映像信号をどちらの端子から入力するかを、ビデオ入力ごとにメニュー画面で設定できます。お買い上げ時は、S1映像入力端子から入力された画像が映ります。

- 1 ビデオボタンをくり返し押して、切り換えたいビデオ入力を選ぶ。
- 2 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 3  (各種切替)を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 4  で「S映像」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 5 S1映像入力端子から入力された画像を見るときは
 で「入」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
映像入力端子から入力された画像を見るときは
 で「切」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

本機BSデコーダー/ビデオ5入力端子にビデオ機器をつなぐときは

ビデオ5入力端子として働くように、以下の設定をしてください。

本体のボタンを使います。

- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択 $\triangle$ / $\square$ ボタンで「 (BS設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 $\triangle$ / $\square$ ボタンで「デコーダー/ビデオ」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 $\triangle$ / $\square$ ボタンで「ビデオ5」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ビデオをつなぐ(つづき)

ビデオ1入力の信号をBS/ビデオ出力端子から出力するときは

お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号は、BS/ビデオ出力端子から出力されないようになっています。

そのため、BS/ビデオ出力端子につないだオーディオ機器などで、ビデオ1入力の音声を楽しむときなど(67ページ)は、以下の設定をしてください。ビデオ1入力端子につないだ機器の映像および音声はBS/ビデオ出力端子から出力されます。

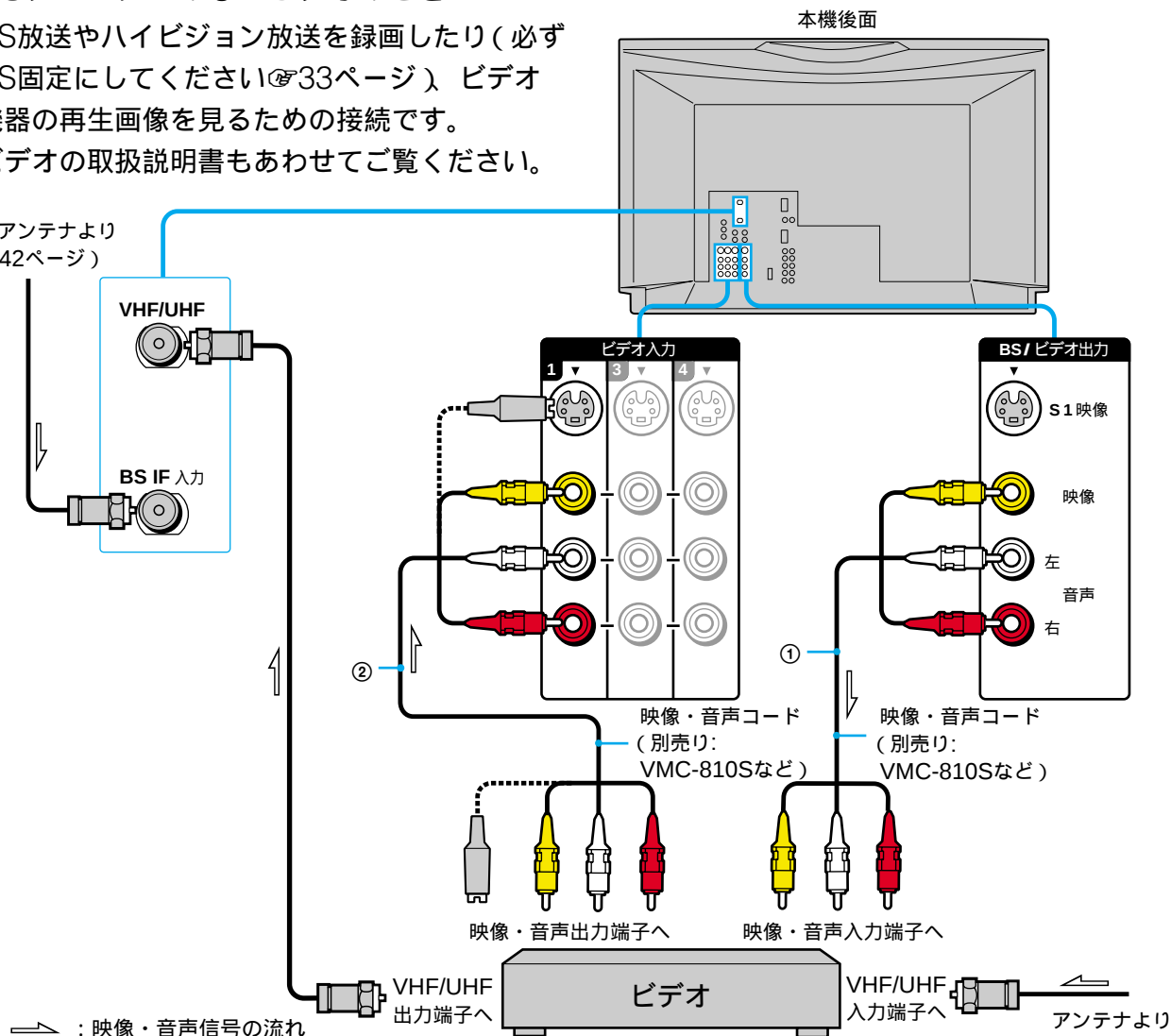
本体のボタンを使います。

- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択 $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ ボタンで「 (初期設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ ボタンで「ビデオ出力設定」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ ボタンで「ビデオ1あり」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

BSチューナーのないビデオのとき

BS放送やハイビジョン放送を録画したり（必ずBS固定にしてください（㊦33ページ））、ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。

BSアンテナより
（㊦42ページ）



①BS放送やハイビジョンをビデオに録画するための接続です（㊦33ページ）。ハイビジョンをよりきれいな画像で録画するときは、必ずS映像コード（別売り:YC-10Vなど）でつないでください。

②ビデオの再生画像を見るための接続です（㊦23ページ）。ビデオにS映像出力端子があるときはS映像・音声コード（別売り:YC-810Sなど）でつなぐと、よりきれいな画像を楽しめます。

ビデオを見るには

ビデオボタンを押して、ビデオをつないだビデオ1入力（「ビデオ1」）を表示させる。詳しくは、㊦23ページをご覧ください。

ご注意

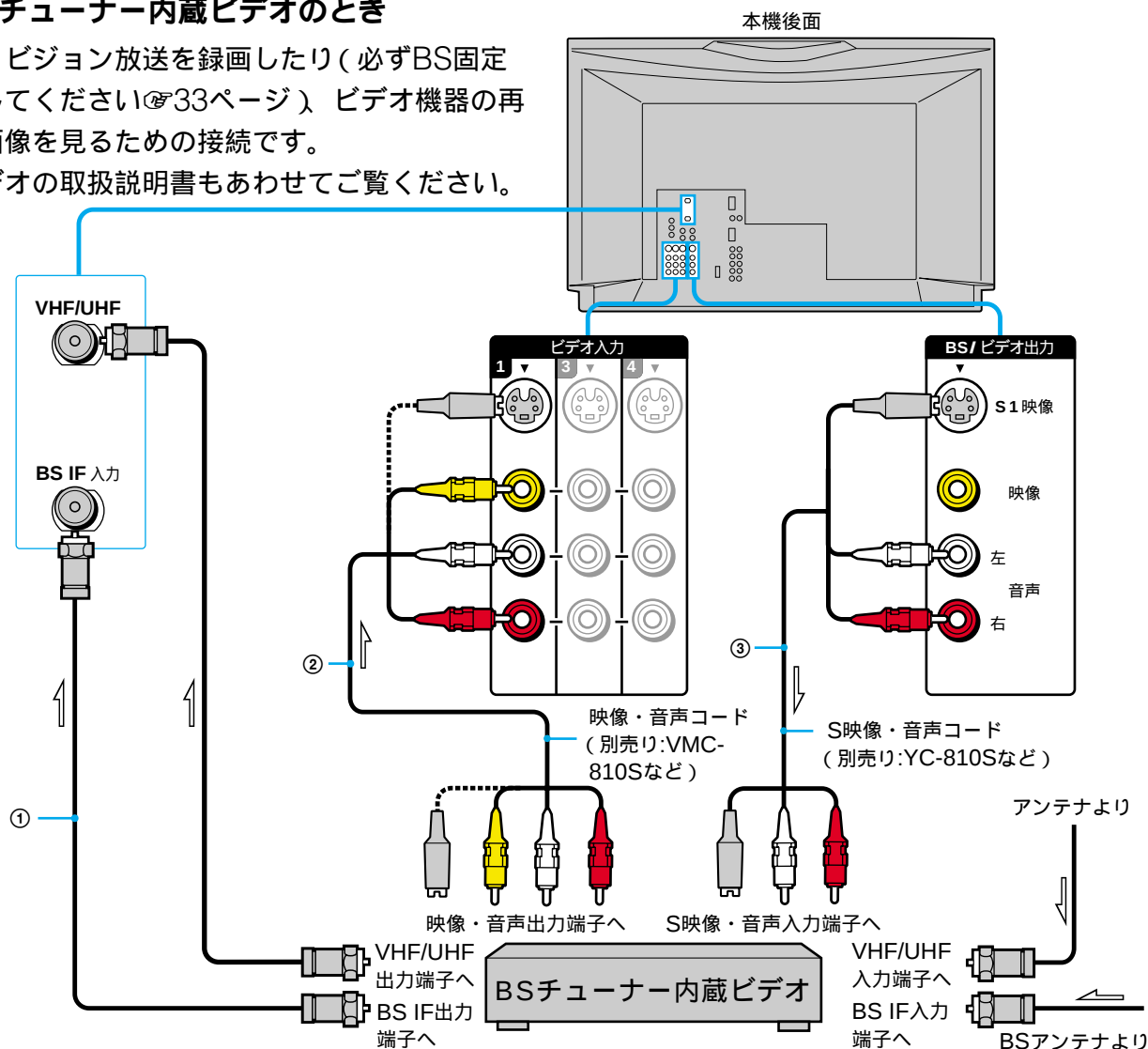
- BS放送やハイビジョンを録画するときは、BS固定をしてください（㊦33ページ）。BS固定をすると、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、本機で受信しているBS放送やハイビジョンがビデオに正しく録画されているかをチェックできます。BS固定をしないと、チャンネルを選んだり、インデックス画面を操作したときなどに、画像が乱れることがあります。

- ハイビジョン放送は本機内蔵のMUSE-NTSCコンバーターで現行のテレビ方式（NTSC）に変換して、本機のBS/ビデオ出力端子から出力します。
- テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2～4入力端子、またはBSデコーダー/ビデオ5入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はBS/ビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです（㊦56ページ）。

ビデオをつなぐ(つづき)

BSチューナー内蔵ビデオのとき

ハイビジョン放送を録画したり(必ずBS固定にしてください②33ページ)ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。



- ①本機とビデオの両方のBSチューナーを使うときの接続です。ビデオ内蔵のBSチューナーでBS放送を裏録画しながら、本機内蔵のBSチューナーで他のBS放送を見ることができます。
- ②ビデオの再生画像を見るための接続です(②23ページ)。ビデオにS映像出力端子があるときはS映像・音声コード(別売り:YC-810Sなど)でつなぐと、よりきれいな画像を楽しめます。

- ③ハイビジョンをビデオに録画するための接続です(②33ページ)。よりきれいな画像で録画するために、S映像コードでつないでください。ビデオにS映像出力端子がないときは映像・音声コード(別売り:VMC-810Sなど)でつなぎます。
- また、ハイビジョン放送以外のBS放送を録画するときは、ビデオ側でBS放送を受信し、録画してください。

ビデオを見るには

ビデオボタンをくり返し押して、ビデオをつないだビデオ1入力(「ビデオ1」)を表示させる。詳しくは、②23ページをご覧ください。

ご注意

- 本機内蔵のBSチューナーを使って、ハイビジョン放送を録画するときは、BS固定をしてください(②33ページ)。BS固定をすると、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、本機で受信しているハイビジョン放送がビデオに正しく録画されているかをチェックできます。BS固定をしないと、チャンネルを選ん

だり、インデックス画面を操作したときなどに、画像が乱れることがあります。

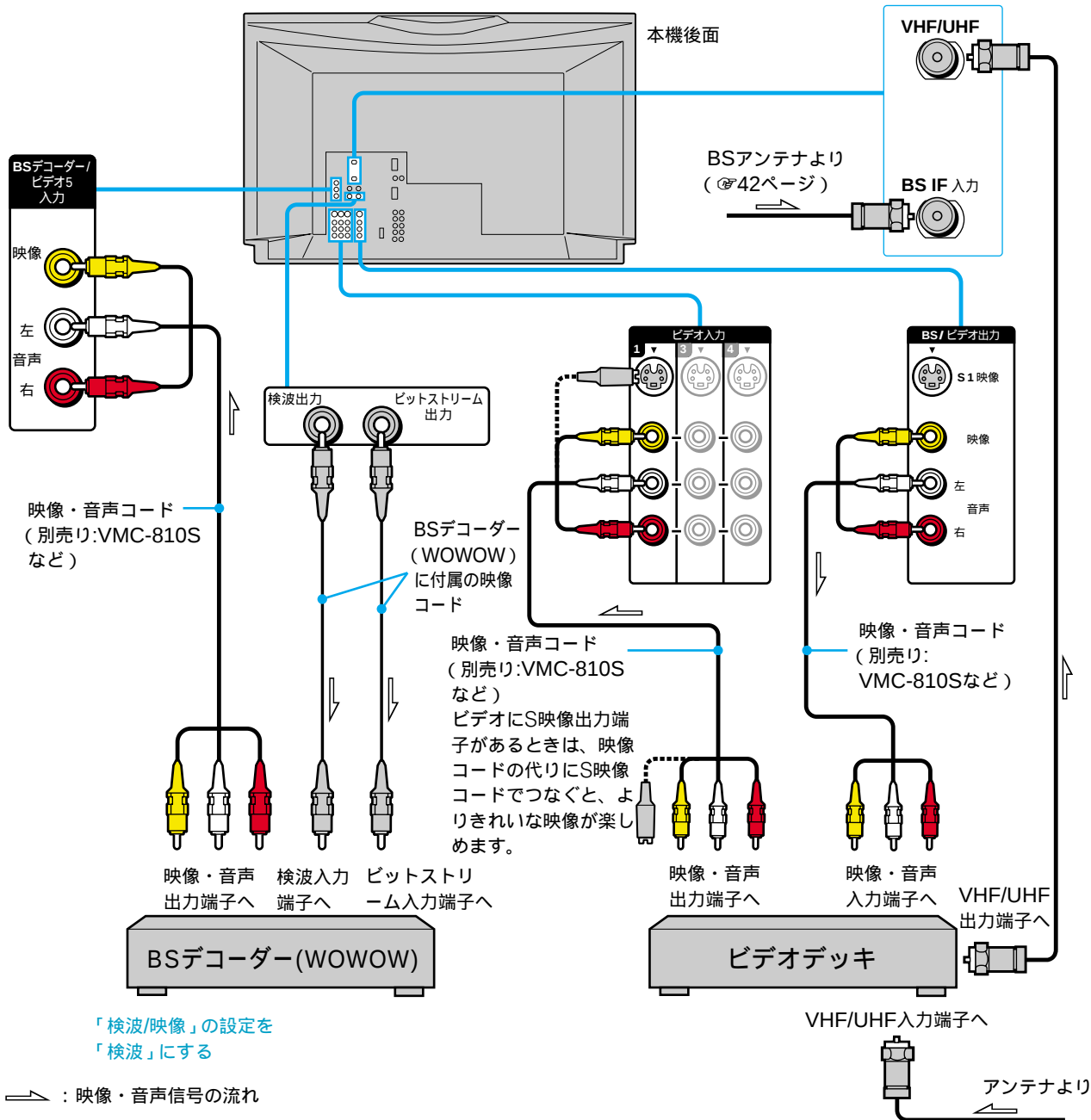
- ハイビジョン放送は本機内蔵のMUSE-NTSCコンバーターで現行のテレビ方式(NTSC)に変換して、本機のBS/ビデオ出力端子から出力します。
- テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2~4入力端子、またはBSデコーダー/ビデオ5入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はBS/ビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです(②56ページ)。

BSデコーダー (WOWOW)を つなぐ

WOWOWを見るには、WOWOWと受信契約が必要です。詳しくはWOWOWへお問い合わせください。WOWOWを見るには、61ページをご覧ください。

WOWOWと受信契約をすると送られてくるBSデコーダー(WOWOW)の取扱説明書もあわせてご覧ください。

BSチューナーのないビデオのとき



他機との接続

ご注意

- WOWOWを録画するときは、テレビ側でWOWOWを受信し、録画してください。
- WOWOWも含めたBS放送を録画するときは、BS固定をしてください(※33ページ)。BS固定をすると、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、本機で受信しているBS放送がビデオに正しく録画されているかをチェックできます。

- BS固定をしないと、チャンネルを選んだり、インデックス画面を操作したときなどに、画像が乱れることがあります。
- BSデコーダー(WOWOW)は、必ず本機のBSデコーダー/ビデオ5入力端子につないでください。BSデコーダー/ビデオ5入力端子以外につなぐと、チャンネルボタン(例:BS5)を押しても選局できません。

次のページにつづく

BSデコーダー/ビデオ5入力端子にBSデコーダー(WOWOW)をつなぐときは

お買い上げ時は、デコーダー入力端子として働くように設定されているため、設定し直す必要はありません。

ビデオ5入力端子としてビデオデッキなどをつないでいた代りに、新たにBSデコーダー(WOWOW)をつなぎ直したときは、設定し直してください。

本体のボタンを使います。

- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択 $\triangle$ / ∇ ボタンで「 (BS設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 $\triangle$ / ∇ ボタンで「デコーダー/ビデオ」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 $\triangle$ / ∇ ボタンで「デコーダー」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

WOWOWを見るには

BSデコーダー(WOWOW)の電源を入れて、本機リモコンのBS5ボタンを押す。

St.GIGAを聞くには

BSデコーダー(WOWOW)をつないでいるときにSt.GIGAを聞くときは、BSデコーダー(WOWOW)側で、音声を独立音声に切り換えてください(テレビで音声は切り換えられません)。ただし、St.GIGAを聞くには、WOWOWとは別に受信契約が必要です(ノンスクランブル放送のときを除く)。また、BSデコーダー(WOWOW)をつながなくても、St.GIGAがノンスクランブルで放送しているときは、下記の操作を行うとSt.GIGAを聞くことができます。

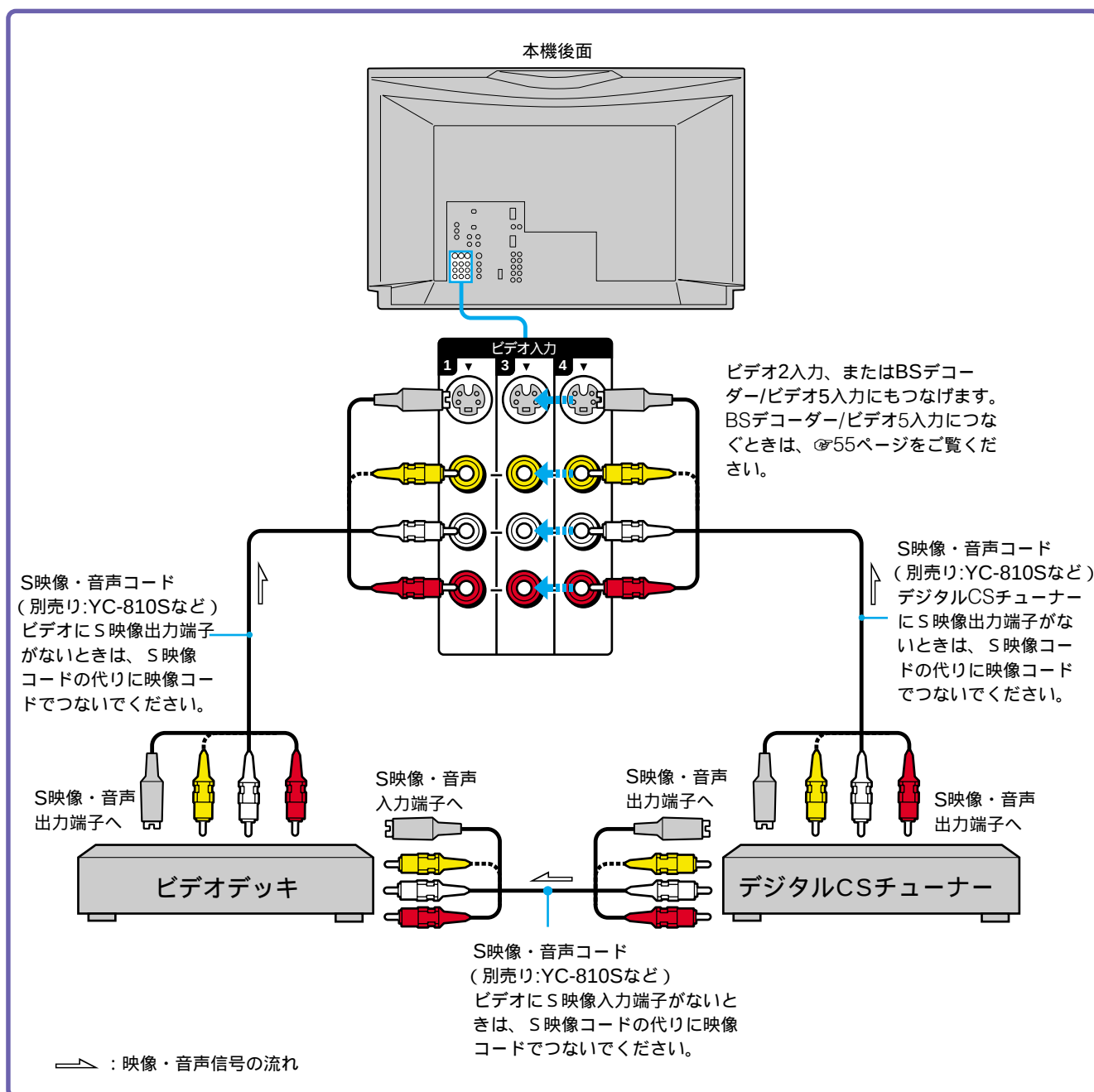
- 1 本機リモコンのBS5ボタンを押す。
- 2 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 3 $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ で「 (各種切換)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 4 $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ で「TV/独立音声」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 5 $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ で「独立」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

1999年6月現在、St.GIGAはBS5チャンネルでのみ放送されています。

デジタルCSチューナーをつなぐ

デジタルCS放送を見るには、デジタルCS放送局と受信契約が必要です。詳しくはデジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。



デジタルCS放送を見るには

ビデオボタンをくり返し押して、デジタルCSチューナーをつないだビデオ入力（「ビデオ1」～「ビデオ5」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、②23ページをご覧ください。

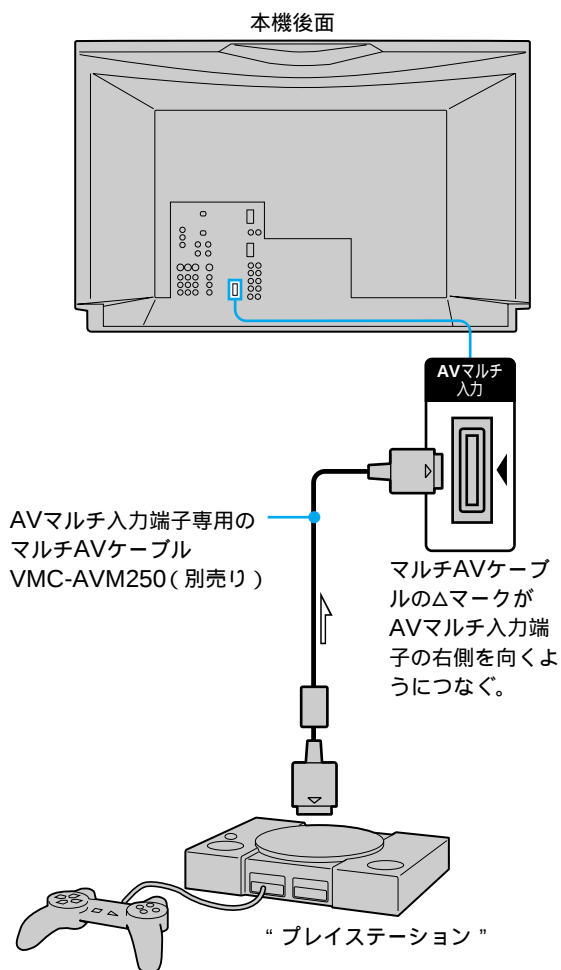
テレビゲームをつなぐ

本機後面のAVマルチ入力端子や、本機前面のビデオ2入力端子にテレビゲームをつなぎます。“プレイステーション”やテレビゲームの取扱説明書もあわせて、お読みください。

“プレイステーション”は、(株)ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

“プレイステーション”をAVマルチ入力端子につなぐ

RGB接続になり、よりきれいな画像でゲームを楽しむことができます。



AVマルチ入力端子専用の
マルチAVケーブル
VMC-AVM250 (別売り)

マルチAVケーブルの△マークが
AVマルチ入力端子の右側を向くようにつなぐ。

“プレイステーション”

→ : 映像・音声信号の流れ

“プレイステーション”をするには

AVマルチボタンを押す。

詳しくは、㊦23ページをご覧ください。

“プレイステーション”の画面の左右位置を調整するには

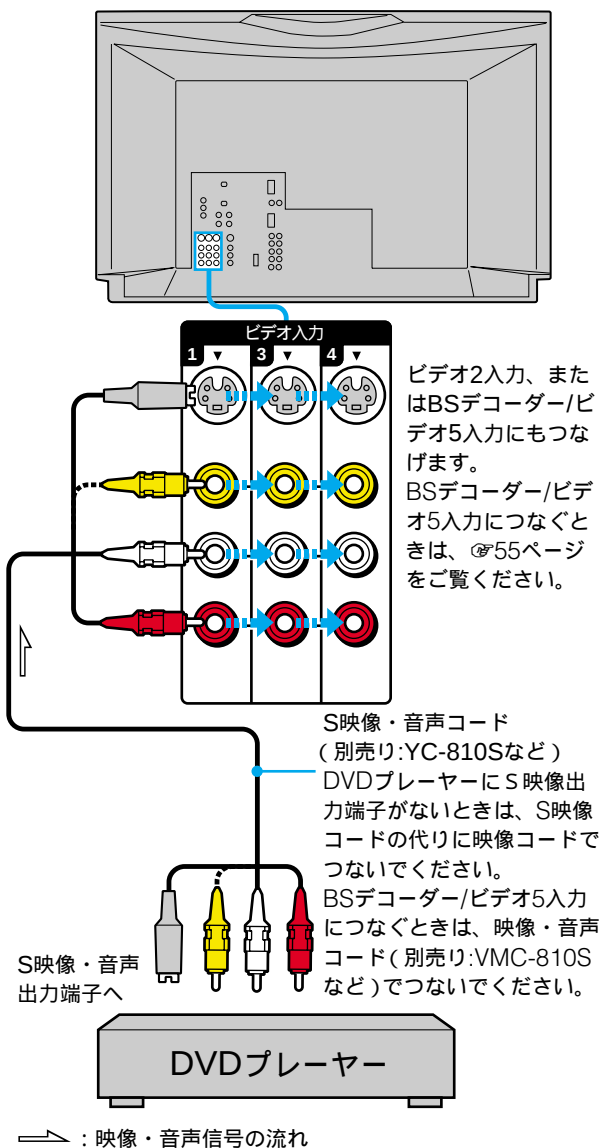
- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 で「 (各種切換)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 3 で「AVマルチ画面位置」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 4 で画面の左右位置を調整する。
- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

- AVマルチ入力端子は、RGB映像信号のため、ビデオ入力端子に比べて色の帯域が広がっています。色あいが異なる場合がありますが、本機に影響はありません。
- 電子的なライフルやガン(銃)などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、本機の画面を使用できないことがあります。詳しくは、ゲームソフトの取扱説明書をご覧ください。
- AVマルチ入力端子につないだ機器の映像のときは、DRC-MFモード切換ボタン(㊦7ページ)が働かないことがあります。テレビゲームの映像がプログレッシブ信号のときは自動的に判断して、プログレッシブモードに固定するためです。
- 「AVマルチ画面位置」は、AVマルチボタンで切り換えた「AVマルチ」の画像でのみ、調整できます。

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

本機後面



DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは
コンポーネントボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだコンポーネント3入力(「コンポーネント3」)を表示させる。

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは
ビデオボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだビデオ入力(「ビデオ1」～「ビデオ5」のいずれか)を表示させる。
詳しくは、㊦23ページをご覧ください。

ハイビジョン機器をつなぐ

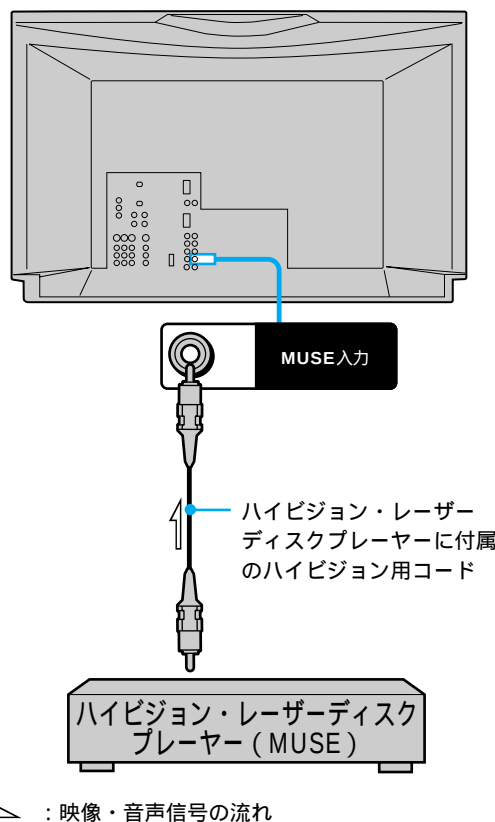
ハイビジョン(MUSEまたはベースバンド)機器をつなぎます。

ハイビジョン機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ハイビジョン・レーザーディスクプレーヤー(MUSE)をつなぐ

本機内蔵のMUSE-NTSCコンバーターで通常のテレビ放送(NTSC)に変換された画質で、見るすることができます。

本機後面



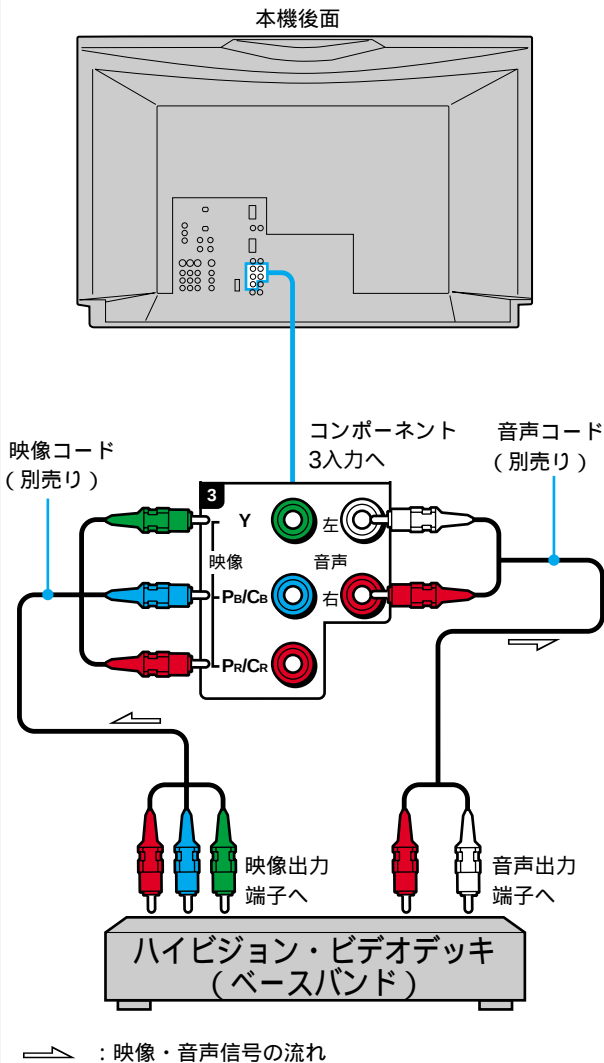
ハイビジョン・レーザーディスクプレーヤー(MUSE)を見るには

MUSEボタンを押す。
詳しくは、㊦23ページをご覧ください。

次のページにつづく

ハイビジョン機器をつなぐ (つづき)

ハイビジョン・ビデオデッキ(ベースバンド)をつなぐ

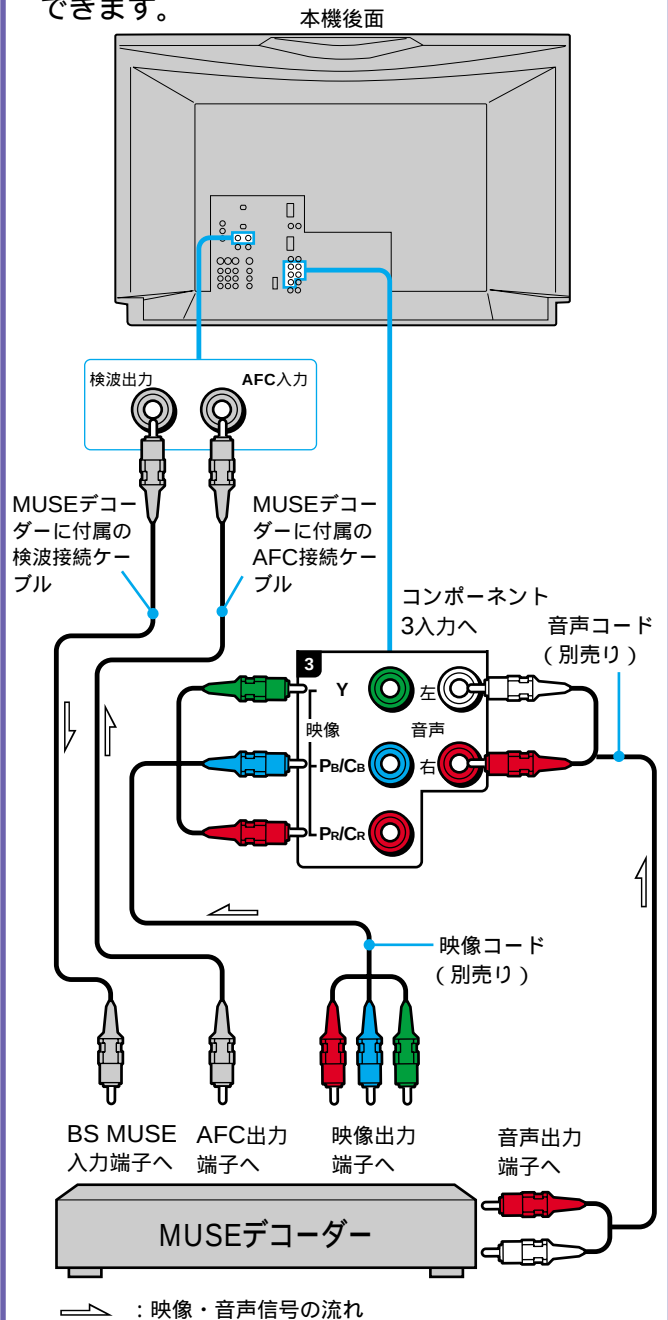


ハイビジョン・ビデオデッキ(ベースバンド)を見るには

コンポーネントボタンをくり返し押して、ベースバンド機器をつないだコンポーネント3入力(「コンポーネント3」)を表示させる。
詳しくは、㊦23ページをご覧ください。

MUSEデコーダーをつなぐ

ハイビジョン放送をより高画質で見ることができます。



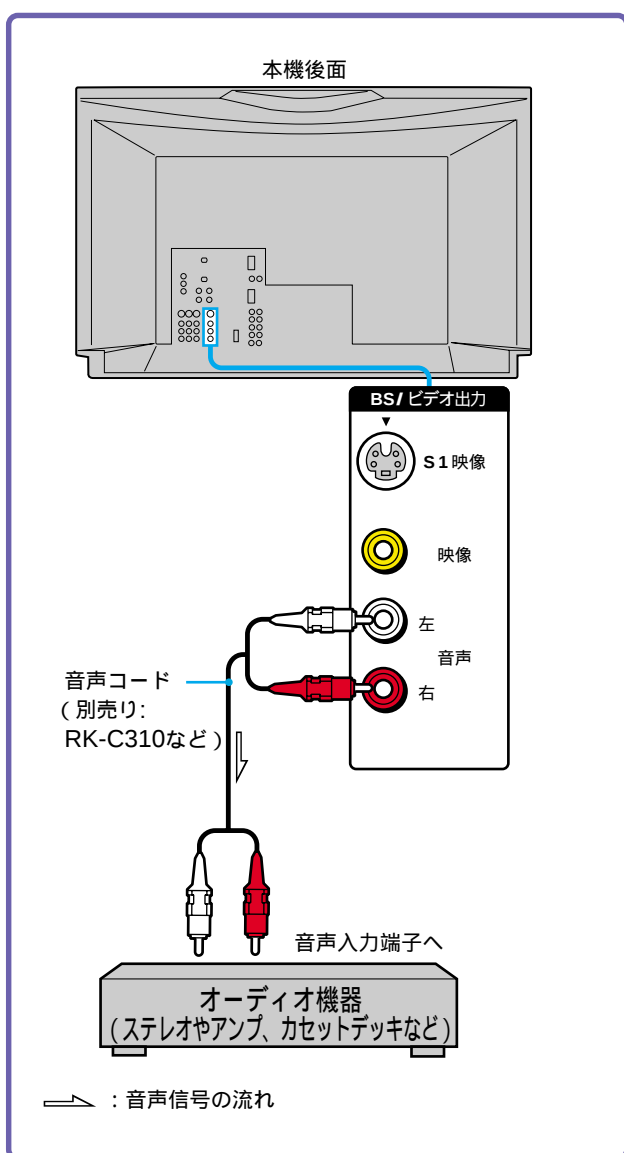
ハイビジョン放送を見るには

- 1 MUSEデコーダーで、本機をつないだ入力を選ぶ。
- 2 本機リモコンのBS9ボタンを押す。
- 3 コンポーネントボタンをくり返し押して、MUSEデコーダーをつないだコンポーネント3入力(「コンポーネント3」)を表示させる(㊦23ページ)。
詳しくは、MUSEデコーダーの取扱説明書をご覧ください。

オーディオ機器をつなぐ

つないだオーディオ機器でテレビの音量を調整したり、つないだスピーカーからテレビの音声を聞いたりできます。

オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



ちょっと一言

- コンポーネント入力につないだ機器の音声信号も出力できます。ただし、映像信号は出力されません。
- お買い上げ時は、ビデオ1入力につないだ機器の信号は出力しない設定になっています。ビデオ1入力につないだ機器の映像および音声を出力するときは、設定メニューの「 (初期設定)」で、「ビデオ出力設定」を「ビデオ1あり」にしてください(㊞56ページ)。

その他

ここでは、本機が正常に動かないときに解決する方法や、お手入れのしかたなどについて説明しています。

また、各部の名前や索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。



故障かな？ と思ったら

自己診断表示 - 画面が消え、スタンバイ/オフタイマーランプが点滅したら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、スタンバイ/オフタイマーランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点滅したら、下の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



スタンバイ/オフタイマーランプ(赤)

- 1 スタンバイ/オフタイマーランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。
たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅...この場合の点滅回数は2回です。
- 2 テレビ本体の電源スイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いてから、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

本機の症状と対処のしかた

症状	対処のしかた
画像が出ない	すべてのチャンネルが映らない。
	- 電源コードをしっかりとつないでください。 - テレビ本体の電源を入れてください。 - アンテナ線をしっかりとつないでください。
	特定のチャンネルだけが映らない。
	チャンネルを合わせ直してください(㊚43ページ)。
	テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた(スタンバイ状態になった)。 - テレビの消し忘れを防ぐため、放送終了後(2画面では操作画面、メモでは左画面、インデックス画面では親画面の放送終了後) または放送のないチャンネルを受信している状態やつないだ機器からの入力信号がない状態で約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイ状態になります。 - オフタイマーを設定していませんか?(㊚35ページ)
BS放送が映らない/乱れる	つないだ機器の画像が出ない。
	- 接続コードをしっかりとつないでください。 - リモコンの入力切換用のボタンを押してください(㊚23ページ)。 - S映像入力の場合は、メニューの「 (各種切換)」で「S映像:入」にしてください(㊚55ページ)。
	モジネット画面が映らない/文字番組が呼び出せない/文字番組が正しく取り込めない。 - 時間帯や放送局によっては、モジネットを放送していない場合があります。放送局にモジネットの放送時間を確認してください。 - 放送局の受信状態が悪いときは、文字情報が正しく取り込めないことがあります。受信状態を確認してください。 引越しやアンテナの設置状況を変更したときなど受信状態が変化したとき - 以下の設定を行ってみてください。ただし、この設定を行うと、登録していた文字番組は消えて、お買い上げ時の設定に戻ります。 1 テレビ/BS放送のアンテナを正しく接続(㊚40ページ)し、テレビ放送のチャンネルを設定(㊚43ページ)する。 2 本体の設定ボタンを押して、設定メニューを出す。 3 選択Δ/∇ボタンで「 (初期設定)」を選び、決定ボタンを押す。 4 選択Δ/∇ボタンで「文字番組登録初期化」を選び、決定ボタンを押す。 5 選択Δ/∇ボタンで「実行」を選び、決定ボタンを押す。 6 登録番組初期化終了後(約3秒後) 設定ボタンを押して終了する。
BS放送が映らない/乱れる	字幕が出ない。
	字幕放送の番組かどうか確認してください(㊚22ページ)。
BS放送が映らない/乱れる	マンションなどの共同受信システムの場合 - 設定メニューの「 (BS設定)」で「BSアンテナ電源:切」にしてください(㊚46ページ)。 - サテライト分波器でVHF/UHFとBSを分けてください(㊚41ページ)。 - ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 BSアンテナを直接つないでいる場合 - 設定メニューの「 (BS設定)」で「BSアンテナ電源」を「オート」または「連動」にしてください(㊚46ページ)。 - BSアンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 - アンテナの大きさが適切かを確認してください。 - アンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。 - アンテナの方向・角度を調整してください(㊚47ページ)。 複数のBS機器をサテライト分波器でつないでいる場合 - BSアンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら (つづき)

症状	対処のしかた	
BS放送が映らない／乱れる	BS放送が映らない／画像が乱れている。(つづき)	その他 • BSの放送時間を確認してください。 • 雨や雪が降ると、映りが悪くなることがあります。 • BS専用のケーブルを使ってください(㊦42ページ)。 • アンテナコネクタ(バルーン)を使っていないかを確認してください。 • WOWOWなどのスクランブル放送でないかを確認してください。
	BS放送のチャンネルが切り換わらない。	• BS固定にしていないかを確認してください(㊦33ページ)。
	WOWOWが映らない。	• WOWOWを見るには、WOWOWと受信契約が必要です。詳しくはWOWOWへお問い合わせください。 • BSデコーダー(WOWOW)は、本機のBSデコーダー/ビデオ5入力端子につないでください。 • 設定メニューの「 (BS設定)」の「デコーダー/ビデオ」を「デコーダー」にしてください(㊦61ページ)。
きれいに映らない	画像が二重、三重になる。 	• アンテナ線をしっかりつないでください。 • アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 • 設定メニューの「 (テレビ設定)」の「GR設定変更」で「GR:入」にしてください(㊦49ページ)。
	雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。 	• アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 • アンテナの寿命を確認してください(通常3～5年、海辺では1～2年)。
	斑点や点模様が走る。 	• ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けています。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。
	色が見つからない、色がおかしい、画面が暗い。 	• お好み画質ボタンを押して、画質設定を選んでください(㊦6ページ)。 • メニューの「 (画質/音質)」で画質を調整してください。 • 「消費電力:減」のときは、画面が暗くなります(㊦8ページ)。
	画面がまぶしい。	• お好み画質ボタンを押して、画質設定を選んでください(㊦6ページ)。
	画面の一部に色むらがある。 	• テレビをマンションの壁、金属スタンド、ビデオデッキまたはスピーカーなどから離して置いてください。 • テレビをしばらく見た後、テレビの向きを変えると色むらが発生することがあります。このときは、地磁気の影響を受けています。1度電源を切り、約30分後にテレビを見る向きにしてから電源を入れ直すと、自動消磁回路が働き、地磁気の影響が軽減されます。
	画像が傾いている、上下にかたよっている。 	• 設定メニューの「 (初期設定)」で「方角補正 回転」と「方角補正 上下」を調整してください(㊦51ページ)。
	縞状のノイズが多い。	• 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 • アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 • 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

症状		対処のしかた
きれいに映らない	ビデオの再生/録画時に縦縞状のノイズが出る。	ビデオヘッドが干渉しています。できるだけビデオをテレビから離して置いてください。
	AVマルチ入力端子につないだ“プレイステーション”の画像がずれる。	メニューの「 (各種切換)」で「AVマルチ画面位置」を調整してください(63ページ)。
音が出ない／雑音が多い	画像は出るが、音が出ない。	- 音量が下がりがきいていないか確認してください。 - 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか音量＋ボタンを押して表示を消してください。 - ヘッドホンを抜いてください。
	雑音が多い。	- 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 - アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 - 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 - 設定メニューの「 (音声設定)」で「オートステレオ」を「切」にしてください(31ページ)。
メニューが表示が消えない／メニューが選べない／	メニューで選べない項目がある。	暗い灰色で表示されている項目は選べません(見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています)。
	「BSアンテナ電源を確認してください」の表示が消えない。	- マンションなどの共同受信システムのときは、設定メニューの「 (BS設定)」で「BSアンテナ電源」を「切」にしてから、いったんテレビの電源を切ってください(46ページ)。 - BSアンテナをつないでいるときは、BSアンテナのアンテナ線がショートしています。テレビ本体の電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。
ワイド画面が切り換わる	オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わる。	- CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適なワイド画面を本機が判断しているためです(9ページ)。 - 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになるためです(9ページ)。 - オートワイドが働いているときに、ワイド切換ボタンでワイド画面を切り換えていませんか。チャンネルや入力を変えたりするとオートワイドが働き、自動的にワイド画面に切り換わります。ワイド切換ボタンで切り換えた画面モードで固定したいときは、オートワイドを「切」にしてください(26ページ)。
テレビから異音が出る	「ピシッ」というきしみ音が出る。	周囲の温度変化でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがありますが、本機に影響はありません。
	電源を入れたときにブーンという音がする。	地磁気などの影響を取り除く消磁回路の動作音で、本機に影響はありません。
	テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音がする。	テレビ内部で発生する静電気が原因で、本機に影響はありません。
一瞬光る画面が	暗い部屋で電源を入れたときに、画面周辺が一瞬光って見える。	ブラウン管内で、電源が入る際に発生する高電圧のために、ブラウン管内の蛍光部が光るためです。本機の性能その他に影響はありません。

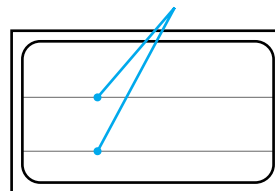
故障かな？と思ったら (つづき)

症状	対処のしかた
リモコンが働かない	• 電池を交換してください。 • 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 • 本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯していないときは、本体の電源スイッチを押してください。 • リモコンをリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 • リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは、離して置いてください。
	リモコンのチャンネル数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。 ダイレクト選局の場合(㊚48ページ) • 設定メニューの「 (テレビ設定)」の「選局」が「ダイレクト」になっているかを確認してください。 10キー選局の場合(㊚48ページ) • 設定メニューの「 (テレビ設定)」の「選局」が「10キー」になっているかを確認してください。 • 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、⑩/選局を押してください。 • チャンネル数字ボタンに続けて⑩/選局を押してください。

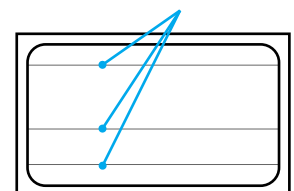
画面に細い横線が出たら(ダンパーワイヤー)

画像によっては、極めて細い水平線が見えることがあります。これは、ダンパーワイヤーと呼ばれる線材の影で、位置は右図に示されているとおりです。ダンパーワイヤーはトリニトロン管内部のアパチャグリルの振動を抑えるために取り付けられており、より高画質な映像をお楽しみいただけるように工夫されたものです。

KV-28DRX9
ダンパーワイヤー



KV-32DRX9
KV-36DRX9
ダンパーワイヤー



ブラウン管表面のお手入れについて

ブラウン管表面が汚れているときは、市販のガラスクリーナー、または研磨剤の入っていない中性洗剤を水で薄め、柔らかい布に含ませ固く絞ってから、拭き取ってください。

表面を傷つけることがあるため、固い布の使用や、から拭きはやめてください。また、塩素系や塩酸などの酸性洗浄液や、クレンザーや歯磨粉など研磨剤入りの洗浄剤も使わないでください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名: KV-28DRX9, KV-32DRX9, KV-36DRX9

故障の状態: できるだけくわしく

購入年月日:

お買い上げ店

TEL.

お近くのサービスステーション

TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式	NTSC方式
受信チャンネル	VHF 1～12チャンネル UHF 13～62チャンネル CATV C13～C35(ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要)
ブラウン管*	BS1、3、5、7、9、11、13、15 KV-28DRX9:FDトリニトロン102度偏向28型 KV-32DRX9:FDトリニトロン102度偏向32型 KV-36DRX9:FDトリニトロン102度偏向36型
* テレビの型(28型など)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。	
画面寸法	KV-28DRX9:57.5×32.4、66cm対角 KV-32DRX9:66.2×37.3、76cm対角 KV-36DRX9:75.1×42.2、86.1cm対角 (幅×高さ、対角径)
使用スピーカー	KV-28DRX9:ウーファー10cm×2 フルレンジスピーカー(4×10cm楕円)×2 KV-32DRX9/36DRX9:ウーファー12cm×2、フルレンジスピーカー(5×9cm楕円)×2
音声出力	音声実用最大出力(EIAJ準拠) フルレンジスピーカー 7W×2(1kHz、10%、8Ω) ウーファー 7W×2(100Hz、10%、8Ω)
入出力端子	
アンテナ端子	VHF/UHF、BS IF 75Ω F型コネクター (コンバーター用電源出力、DC15V最大4W)
ビデオ1、2、3、4入力端子	S1映像: 4ピンミニDIN Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 C:0.286Vp-p(パースト信号) 75Ω 映像: ピンジャック、1Vp-p、 75Ω、不平衡、同期負 音声: ピンジャック、2チャンネル、 500mVrms、インピーダンス 47kΩ以上
BSデコーダー/ビデオ5入力端子	映像: ピンジャック、1Vp-p、 75Ω、不平衡、同期負 音声: ピンジャック、2チャンネル 500mVrms 入力インピーダンス 47kΩ以上
コンポーネント1、2入力端子	D3映像: Y:1Vp-p(0.3V負同期付き) C _B /C _R : ±350mVp-p 入力インピーダンス 75Ω 音声: ピンジャック、2チャンネル、 500mVrms、インピーダンス 47kΩ以上
コンポーネント3入力端子	映像: ピンジャック Y:1Vp-p(0.3V負同期付き) P _B /P _R 、C _B /C _R : ±350mVp-p 入力インピーダンス 75Ω 音声: ピンジャック、2チャンネル、 500mVrms、インピーダンス 47kΩ以上
AVマルチ入力端子	12ピン
BS/ビデオ出力端子	S1映像: 4ピンミニDIN Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 C:0.286Vp-p(パースト信号) 75Ω 映像: ピンジャック、1Vp-p、 75Ω、不平衡、同期負

音声: ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms
インピーダンス 4.7kΩ以下
テレビ放送の音声の100%変調時、またはBS放送、MUSE入力時の最大出力
-12dB時の数値です。

ヘッドホン端子	ステレオミニジャック 負荷インピーダンス16Ω以上
検波出力端子	ピンジャック、75Ω、0.67Vp-p
ビットストリーム出力端子	ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p
AFC入力端子	ピンジャック、75Ω
MUSE入力端子	0.4Vp-p(FM) 入力インピーダンス 75Ω
コントロールS入出力端子	ミニジャック

電源部・その他

消費電力	KV-28DRX9:233W KV-32DRX9:232W KV-36DRX9:255W
消費電力(リモコン待機時)	KV-28DRX9/32DRX9/36DRX9 共通です。

「文字メモリー:切」のとき

BS固定が「切」:0.4W
BS固定が「入」:17.0W

「文字メモリー:入」のとき

BS固定が「切」:13.0W
BS固定が「入」:24.0W

年間消費電力量**	KV-28DRX9:317kW・h/年 KV-32DRX9:313kW・h/年 KV-36DRX9:345kW・h/年
-----------	---

** 年間消費電力量とは:省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4～5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

最大外形寸法	KV-28DRX9:75.4×49.6×52.5cm KV-32DRX9:87.4×56.3×57.2cm KV-36DRX9:95.8×61.3×59.2cm
--------	--

(幅×高さ×奥行き)	
質量	KV-28DRX9:約50.4kg KV-32DRX9:約69.8kg KV-36DRX9:約89.4kg

電源	AC100V、50/60Hz
付属品	リモートコマンダー RM-J233(1) 乾電池 単3形(2) アンテナ接続ケーブル(1) 取扱説明書(1) 保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1) 安全のために(1) 安全点検のおすすめ(1)

別売りアクセサリ

テレビスタンド	KV-28DRX9: SU-F200P、SU-F200、SU-28V KV-32DRX9: SU-F300P、SU-F300、SU-32V KV-36DRX9: SU-F300P、SU-F300
---------	--

ステレオヘッドホン	MDR-AV55
-----------	----------

テレビラック固定ベルト	BLT-R10
-------------	---------

BSアンテナなど 接続ケーブルなど

- 本機は「高調波ガイドライン」適合品です。「高調波ガイドライン」適合品とは、通商産業省・資源エネルギー庁の定めた「家電・汎用高調波抑制対策ガイドライン」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

アンテナレベル

アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

インターレース(飛び越し走査)

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線(262.5本)を1/60秒かけて描き(この1画面を1フィールドという)、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線(262.5本)を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面(フレーム)を作っていく飛び越し走査のことです。本機のDRC-MFモード切替ボタンで選べる「DRC4倍密(標準)モード」は、走査線を通常のNTSC映像の2倍の1050本にして、1フィールド目で走査線の525本全部(本来の1フレーム分)を1/60秒で描き、次のフィールドは、1フィールド目の間を525本で飛び越し走査します。

カ行

ケーブルテレビ(CATV)

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

検波

放送衛星から送られてくるFM電波を復調することです。

ゴースト

放送局からの電波が、テレビアンテナに届く前に、建物や地形の影響で妨害波となり、時間がズレて二重、三重に受信されることです。そのため、正しく送られてきた画像に妨害波の画像が重なって表われた、見にくい画面となります。

サ行

三次元Y/C分離回路

本機で使っている回路の1つで、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

シネマビジョン

画面の横縦比が2.35:1になっている映像ソフトのことです。一般的には黒帯に字幕が入る映画などに使われています。

スクランブル

映像、音声の信号を暗号化することです。民間BS放送(WOWOWなど)では、契約者以外は視聴できないように、電波にスクランブルをかけて(暗号化して)送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、スクランブルを解除する機器(デコーダーなど)が必要です。

走査線

テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

タ行

チューナー

電波を受信して各チャンネルに合わせるための機器です。本機はテレビチューナーおよびBSチューナーを内蔵しています。

デジタル・リアリティー・クリエーション:マルチファンクション(DRC-MF)

テレビ放送やビデオなどのNTSC映像を、ソニー独自のデジタル信号処理アルゴリズムによって、高精細なリアル映像につくり換えます。従来の線形補間方式の処理とは全く異なり、動画部分の輪郭のボケが少なくスッキリとした画像になります。また、映像によって、通常のNTSC映像の4倍の情報量で映し出す「DRC4倍密(標準)モード」と、順次走査を行い、チラツキを抑えた映像にする「DRCプログレッシブモード」を切り換えられます。

デジタルCS放送

通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声デジタル化することで、大量の情報を扱えます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

独立音声放送

民間BS放送(St. GIGAなど)の中には、1つのチャンネルで映像の音声とは別に、音声だけの放送が行われている場合があります。これが独立音声放送です。

ハ行

ビスタビジョン

画面の横縦比が1.85:1になっている映像ソフトのことです。一般的には画像の中に字幕が入る映画などに使われています。

ビットストリーム

BS放送で送られてくる電波のデジタル信号(音声とデータ)です。データ信号は、文字放送などに使われています。

プログレッシブ(順次走査)

飛び越し走査(「インターレース」の項目を参照)をしないで、1フィールド目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフィールドも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

本機のDRC-MFモード切替ボタンで選べる「DRCプログレッシブモード」は、走査線525本の順次走査を行い、静止画の文字やグラフィック、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた映像にします。

マ行

モジネット

文字やイラストで構成されたテレビ番組。モジネットを受信するには、モジネットをデコード(解読)する機能が必要です。本機はモジネットを手軽に楽しむことができます。

ヤ行

有効走査線数

走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。通常のテレビ放送やBS放送では、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。ハイビジョン放送では同じく1125本中1035本、将来予定されているデジタルハイビジョン(HD)放送では、1125本中1080本となっています。なお、有効走査線に含まれていない残りの走査線(映像信号の載っていない走査線)には、画面の横縦比を規定した識別制御信号やモジネット信号などが載っています。

数字・アルファベット順

BSデコーダー(WOWOW)

WOWOWなど民間BS放送の電波にかかったスクランブルを解除する機器です。

D端子

将来予定されているBSデジタル放送などに対応したコンポーネント映像端子です。BSデジタル放送受信アダプターなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。本機にはD3入力端子が付いています。

- D1端子 :525i(480i)の信号に対応
- D2端子 :525i(480i)と525p(480p)の信号に対応
- D3端子 :525i(480i)と525p(480p) 1125i(1080i)の信号に対応

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。

()内は有効走査線数で数えたときの別称です。

ID-1方式(ビデオID-1システム)

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を記録するシステムの名前です。本機はID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1~4入力端子、およびBSデコーダー/ビデオ5入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

MUSE

ハイビジョン放送の帯域圧縮伝送方式です。27MHzのハイビジョン信号を8MHzに圧縮して、BS放送の1チャンネル分で送れるようにしています。

MUSE-NTSC(M-N)コンバーター

MUSE方式のハイビジョン放送を現行の放送方式(NTSC)に変換するための機器です。画質は現行の放送方式(NTSC)と同等になります。本機はMUSE-NTSCコンバーターを内蔵しています。

NTSC方式

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式で、毎秒30コマ、水平走査線数525本などが特長です。アメリカの連邦テレビジョン方式委員会(National Television System Committee)が制定し、1954年に放送が正式に開始されました。欧州や中国などで使われているPAL方式やSECAM方式とは互換性はありません。

S1方式(S1映像)

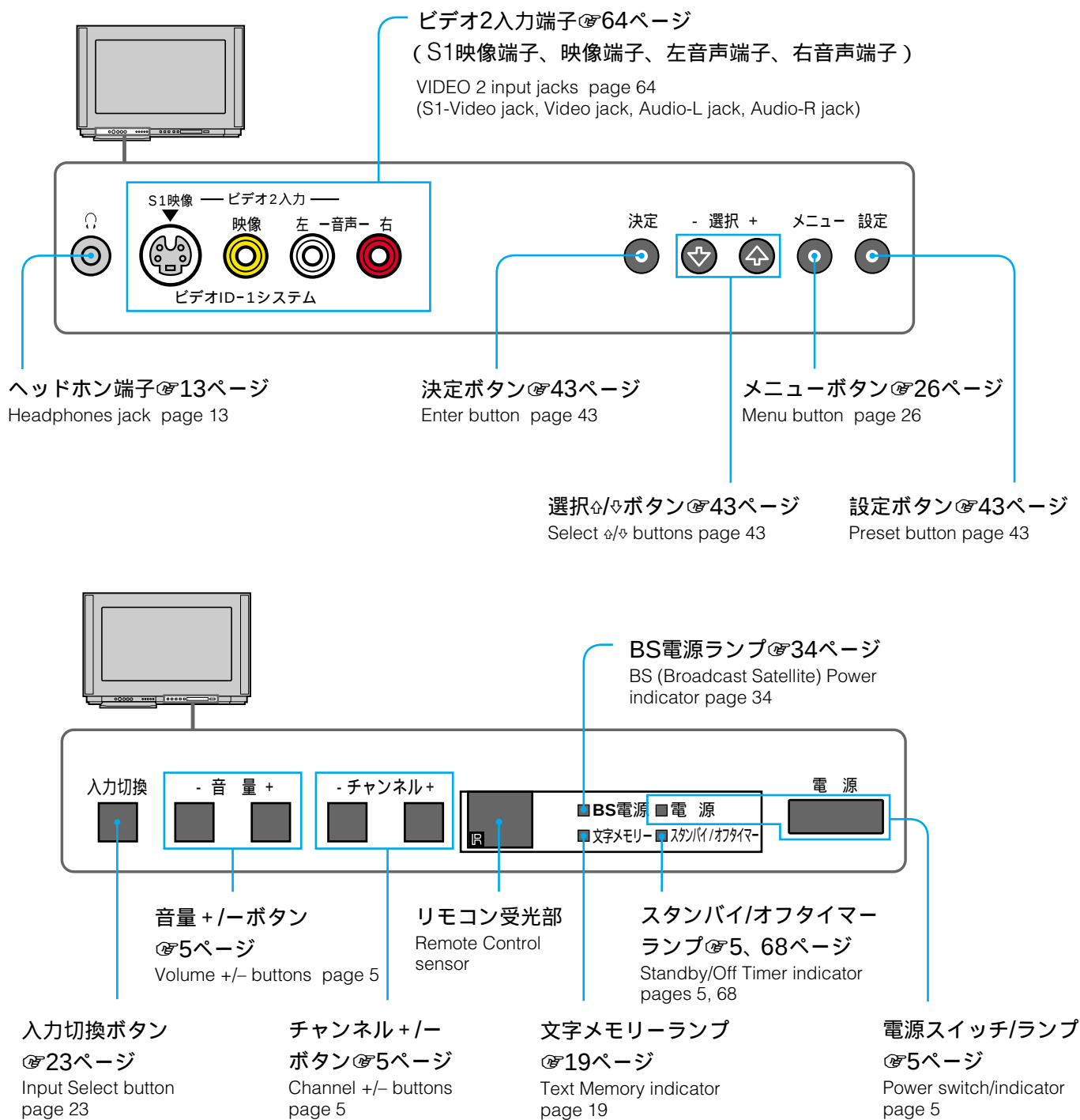
S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより、画面の横縦比(16:9または4:3)の情報を記録するシステムの名前です。本機はS1方式に対応しています。S1映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、本機のS1映像入力端子につなぐと、S1方式の画像となります。

ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

各部の名前/

Identifying parts and controls

本機前面/TV Front Panel



各部の名前/Identifying parts and controls(つづき)

リモコン/Remote Control

画面表示ボタン④ページ

Display button page 4

消音ボタン④ページ

Mute button page 4

字幕ボタン②②ページ

Subtitle button page 22

DRC-MFモード切替ボタン

⑦ページ

DRC-MF Mode Selection button page 7

お好み画質ボタン⑥ページ

Favorite Picture button page 6

メニューボタン②⑥ページ

Menu button page 26

▲/▼/◀/▶/決定/左拡大/右拡大
⑪、②⑥ページ

▲/▼/◀/▶/Select/Left Enlarge/Right Enlarge pages 11, 26

入力切替用ボタン②③ページ

ビデオボタン

コンポーネントボタン

MUSEボタン

AVマルチボタン

Input Select buttons page 23

Video button

Component button

Muse button

AV Multi button

BSチャンネルボタン

⑤、③③ページ

BS (Broadcast Satellite) Channel buttons pages 5, 33

音量 +/− ボタン⑤ページ

Volume +/- buttons page 5

ワイド切替ボタン⑩ページ

Wide Mode Select button page 10

二重音声ボタン③③ページ

Audio Mode (Bilingual) button page 30

電源スイッチ⑤ページ

Power switch page 5

モジネットボタン①⑥ページ

Teletext button page 16

登録番組(番組)ボタン②⑦ページ

Registered Program button page 20

消費電力ボタン⑧ページ

Power Saving button page 8

メモ①⑤ページ

Memo button page 15

インデックスボタン①④ページ

Index button page 14

2画面/左/右ボタン①①、①②
ページ

Picture-and-Picture/Left/Right
Picture Operation buttons pages
11, 12

チャンネル数字ボタン

⑤ページ

Channel Number buttons page 5

チャンネル +/− ボタン⑤ページ

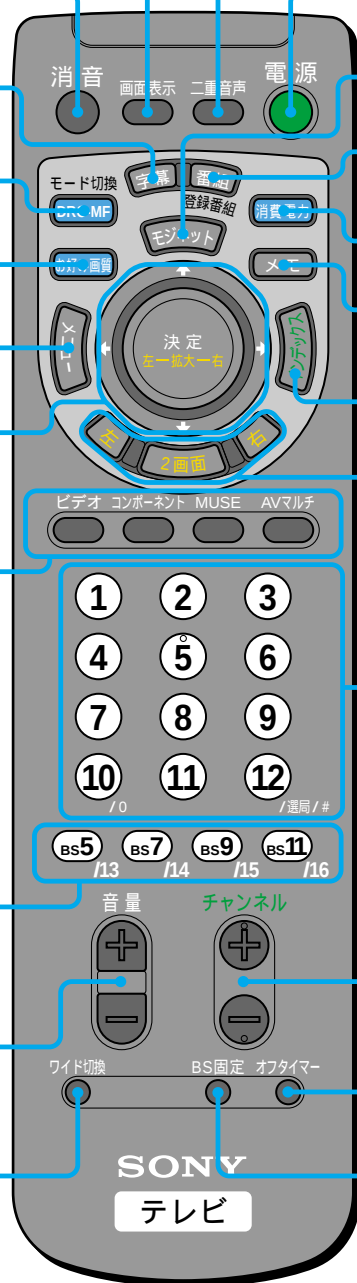
Channel +/- buttons page 5

オフタイマーボタン③⑤ページ

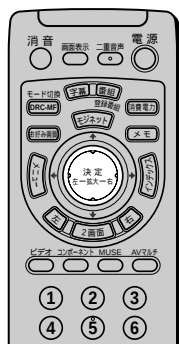
Off Timer button page 35

BS固定ボタン③③ページ

BS Recording button page 33



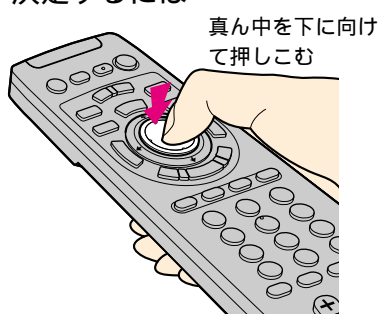
▲/▼/◀/▶の使いかた



選択するには



決定するには



メニュー一覧

リモコンの を押すと出るメニュー

画質調整 (27ページ)

画質 / 音質 (27ページ)

画面モード (26、32ページ)

2画面 (11ページ)

文字 (16ページ)

タイマー (35ページ)

時刻設定 (35ページ)

各種切換 (30、55、61、63ページ)

画質調整 (27ページ)

リビング 画質調整
戻る
ピクチャ -
明るさ
色の濃さ
色あい
シャ - プネス
標準
選択 / 決定 終了(メニュー)

AVプロ 画質調整

↑NR: 入
VM: 弱
色温度: 高
Hホワイト: 切
黒補正: 弱
ガンマ補正: 切
標準
選択 / 決定 終了(メニュー)

音質調整 (29ページ)

音質調整
戻る
高音
低音
バランス
標準
選択 / 決定 終了(メニュー)

オートワイド設定 (26ページ)

オートワイド設定
戻る
オートワイド: 2
4: 3 映像:
ワイドズ - M
選択 / 決定 終了(メニュー)

2画面 (11ページ)

2画面
戻る
2画面: 入
操作入替: 左操作
左拡大 / 右拡大
ヘッドホンモード: 1
選択 / 決定 終了(メニュー)

文字 (16ページ)

文字
戻る
番組番号入力: 切
ページ送り: 自動
字幕放送: 手動
文字メモリー: 入
選択 / 決定 終了(メニュー)

タイマー (35ページ)

タイマー
戻る
オフタイマー: 切
B.S. 固定:
時刻設定
時刻表示:
選択 / 決定 終了(メニュー)

時刻設定 (35ページ)

時刻設定
戻る
--: --
取消
選択 / 決定 終了(メニュー)

各種切換 (30、55、61、63ページ)

各種切換
戻る
消費電力: 標準
二重音声: 主
画面表示: 入
AVマルチ画面位置: 0
H.D.モード: オート
選択 / 決定 終了(メニュー)

各種切換
↑画面表示: 入
AVマルチ画面位置: 0
H.D.モード: オート
TV / 独立音声: TV
音響定位: 強
S映像: 入
選択 / 決定 終了(メニュー)

本体の を押すと出るメニュー

テレビ設定 (43ページ)

テレビ設定
戻る
自動チャンネル設定: 入
チャンネル設定変更
チャンネル表示書換
GR設定変更
バンド: UHF
選局: ダイレクト
選択(設定) 決定(設定) 終了(設定)

チャンネル設定変更 (44ページ)

チャンネル設定変更
戻る CH
1: 1
2: 2
3: 3
4: 4
5: 4 2
6: 6
選択(設定) 決定(設定) 終了(設定)

チャンネル表示書換 (45ページ)

チャンネル表示書換
↑戻る CH 表示
7: 7 7
8: 8 8
9: 16 16
10: 10 10
11: 42 42
↑12: 12 12
選択(設定) 決定(設定) 終了(設定)

GR設定変更 (49ページ)

GR設定変更
戻る CH GR
1: 1: 入
2: 2: 入
3: 3: 入
4: 4: 入
5: --: 入
6: 6: 入
選択(設定) 決定(設定) 終了(設定)

BS設定 (46ページ)

BS設定
戻る
アンテナレベル
デコーダー / ピアノ:
デコーダー
BSアンテナ電源:
オート
選択(設定) 決定(設定) 終了(設定)

アンテナレベル (47ページ)

アンテナレベル
戻る
ビーブ音: 切
選択(設定) 決定(設定) 終了(設定)

音声設定 (31ページ)

音声設定
戻る
オートステレオ: 入
選択(設定) 決定(設定) 終了(設定)

初期設定 (20、51、56ページ)

初期設定
戻る
ビデオ出力設定:
ビデオ1なし
文字番組登録初期化:
実行
文字番組番号ケタ数:
3ケタ
選択(設定) 決定(設定) 終了(設定)

初期設定
↑文字番組登録初期化:
実行
文字番組番号ケタ数:
3ケタ
方角補正 回転: 0
方角補正 上下: 0
選択(設定) 決定(設定) 終了(設定)

- メニューは▲/▼/◀/▶で選び、真ん中を押さるかまたは▶で決定します。
- 黄色で表示される部分が選ばれています。
- 灰色で表示される部分は選べません。

索引

五十音順

あ行

インデックス	14
衛星放送	BS参照
オートワイド	9
切る	26
設定する	26
お好み画質	6
オフタイマー	35
音質調整	29
音声モード(ハイビジョン放送)	31
画像定位	30

か行

各部の名前	77
画質調整	27
画像の傾き補正	51
画面位置調整	
ワイド画像の上下位置調整	32
“プレイステーション”の画面位置調整	63
ケーブルテレビ	44
ゲーム	63
コンポーネント	64、66

さ行

時刻表示	35
自己診断表示	68
字幕入	9
字幕放送	22
主音声	31
消音	4
消費電力	8
ズーム	9

接続する

オーディオ機器	67
端子の名前とはたらき	52
デジタルCSチューナー	62
テレビ(VHF/UHF)アンテナ	40
テレビゲーム	63
ハイビジョン機器	65
早わかり	38
ビデオ機器	55
BSアンテナ	42
BSデコーダー(WOWOW)	59
DVDプレーヤー	64

設定する

選局方法	48
チャンネル	43
S映像切り換え	55

節電

た行

ダイレクト選局	48
縦サイズ調整	32
チャンネル合わせ(設定)	43
自動設定	43
手動設定	44
ダイレクト選局	48
10キー選局	48
チャンネル表示書き換え	45

調整

音質調整	29
画質調整	27
ワイド画面	32
BSアンテナレベル	47

デジタル・リアリティー・

クリエーション:マルチファンクション	
(DRC-MF)	7

デジタルCS放送	62
テレビ(VHF/UHF)アンテナの接続	40
テレビゲーム	63
独立音声放送(St.GIGA)	61

な行

二重音声	30
入力切換	23
ノーマル	9

は行

ハイビジョン放送	
音声切換	31
見る	5
録画のための接続	57
ビデオ	
接続する	55
見る	23
副音声	31
付属品	37
フル	9
ヘッドホンモード	13

ま行

メニュー一覧	79
メモ	15
モジネット	16
文字放送	16

ら行

リモコン	
各部の名前	78
電池を入れる	37

わ行

ワイド切換	10
ワイドズーム	9

数字・アルファベット順

数字

2画面	11
10キー選局	48

アルファベット

AVマルチ画面位置	63
BS(衛星放送)	
裏録画する	33
設定する	46
見る	5
予約録画	33
録画のための接続	57
BS固定	33
BSアンテナ	42
アンテナレベルを調整する	47
接続する	42
BSアンテナ電源	46
BSデコーダー(WOWOW)	59
CATV	44
D端子	54
DRC-MF	7
DVDプレーヤー	64
GR(ゴースト・リダクション)	49
HDモード	54
S映像切り換え	55
St.GIGA	61
VHF/UHFアンテナ	40
VHF/UHFのチャンネル設定	43
WOWOW	59

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル 0570-00-3311
- (全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
- 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311
- Fax 0466-31-2595

受付時間:
月～金
9:00～20:00
土・日・祝日
9:00～17:00

Sony online <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。